

宮崎の畜産

2026



宮崎県農政水産部畜産局

令和7年度の畜産トピックス Part1

○「口蹄疫終息15年」を迎えての意見交換会

平成22年に県内で発生した口蹄疫の終息宣言日から15年となる8月27日（水）に、宮崎県庁の講堂で「口蹄疫終息15年を迎えての意見交換会」を開催しました。

意見交換会には、口蹄疫を経験した生産者3名、県内で畜産を学ぶ高校生と大学生12名及び知事・県議会副議長・JAみやざき副組合長の総勢18名が出席しました。

当時を振り返り、もう二度と発生させないという想いを次世代を担う高校生・大学生へ継承しました。



○みやざき地頭鶏の食育活動

宮崎県を代表する地鶏「みやざき地頭鶏」の理解醸成のため、県内の小学生を対象に講話と炭火焼きの実演、試食を行いました。

児童たちは炭火焼きをおいしそうに食べてくれました。



○「近江牛」宮崎友の会15周年記念式典の開催

平成22年の口蹄疫終息後に設立された「近江牛」宮崎友の会が15周年を迎え、滋賀県近江八幡市で記念式典が開催されました。式典には、両県の知事や生産者など約100名が出席し、知事感謝状の贈呈や功労者表彰が行われ、両県の絆がより深まる交流となりました。



○宮崎ブランドポークEXPO2025

10月10日（トントン）の「宮崎ブランドポークの日」をPRするため、イオンモール宮崎にて宮崎ブランドポークEXPO2025を開催しました。

多くの家族連れが訪れ、本県を代表する安全・安心な宮崎ブランドポークの認知度向上が図られました。



Part2は裏表紙に載せています！





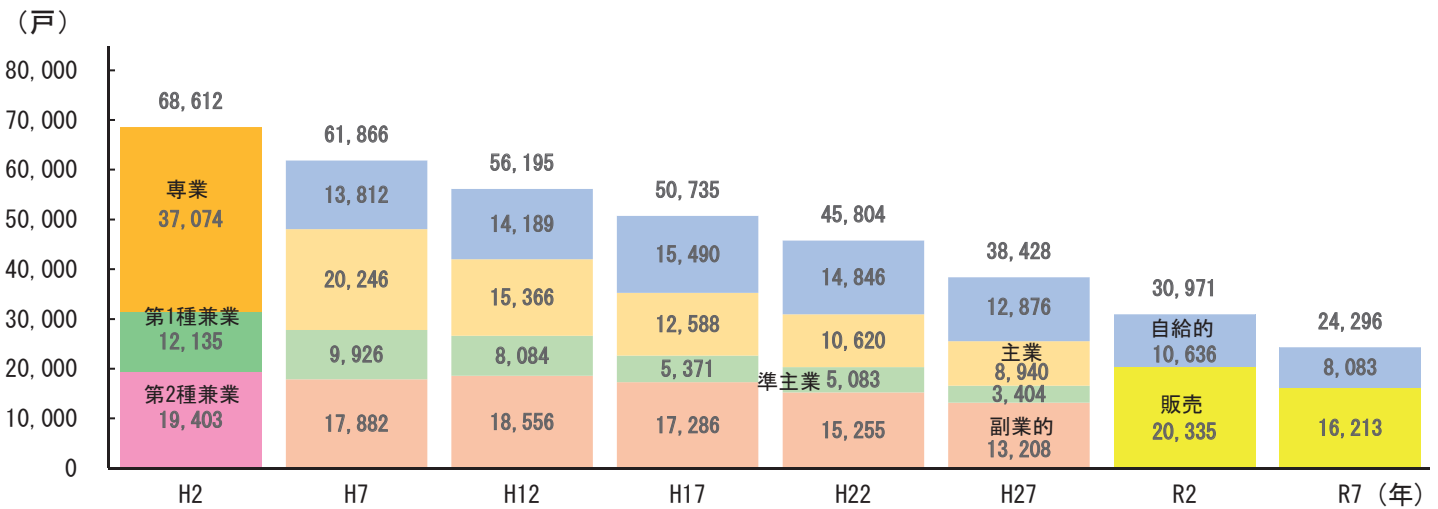
I	農業の概要	1
II	畜産の概要	3
III	みやざき畜産共創プラン	4
IV	畜種別飼養動向	
1	肉用牛	7
2	乳用牛	11
3	豚	13
4	採卵鶏	14
5	ブロイラー	15
6～8	みやざき地頭鶏、重種馬、蜜蜂	16
V	飼料	17
VI	家畜衛生	19
VII	生産費と所得の推移（全国）	25
VIII	環境保全	26
IX	畜産金融	27
X	試験研究	29
XI	資料編	
1	県の畜産関係組織図	31
2	県内畜産関係団体	33
3	統計表	35
○	飼料価格及び物価高騰等の影響に対する支援 ～令和7年度中の取組（R8繰越含む）～	45
○	平成以降の畜産の動き	46
○	畜舎特例法に関する案内	47
○	宮崎県農林水産業ナビ ～ひなたMAFiN～	49

I 農業の概要

1 本県農業の位置づけ

区分	単位	区分					資料
		宮崎	九州	全国	宮/九(%)	宮/全(%)	
農家総数	1,000戸	24.3	191	1,394	12.7	1.7	「2025年農林業センサス」
販売農家	1,000戸	16.2	125	793	13.0	2.0	〃
耕地面積	1,000ha	61.8	498	4,239	12.4	1.5	農林水産省：令和7年耕地面積
田面積	1,000ha	33.1	291	2,300	11.4	1.4	〃
畑面積	1,000ha	28.6	207	1,939	13.8	1.5	〃
農業産出額	億円	3,725	20,445	108,200	18.2	3.4	農林水産省：令和6年農業産出額及び
生産農業所得	億円	1,235	7,605	40,932	16.2	3.0	生産農業所得統計

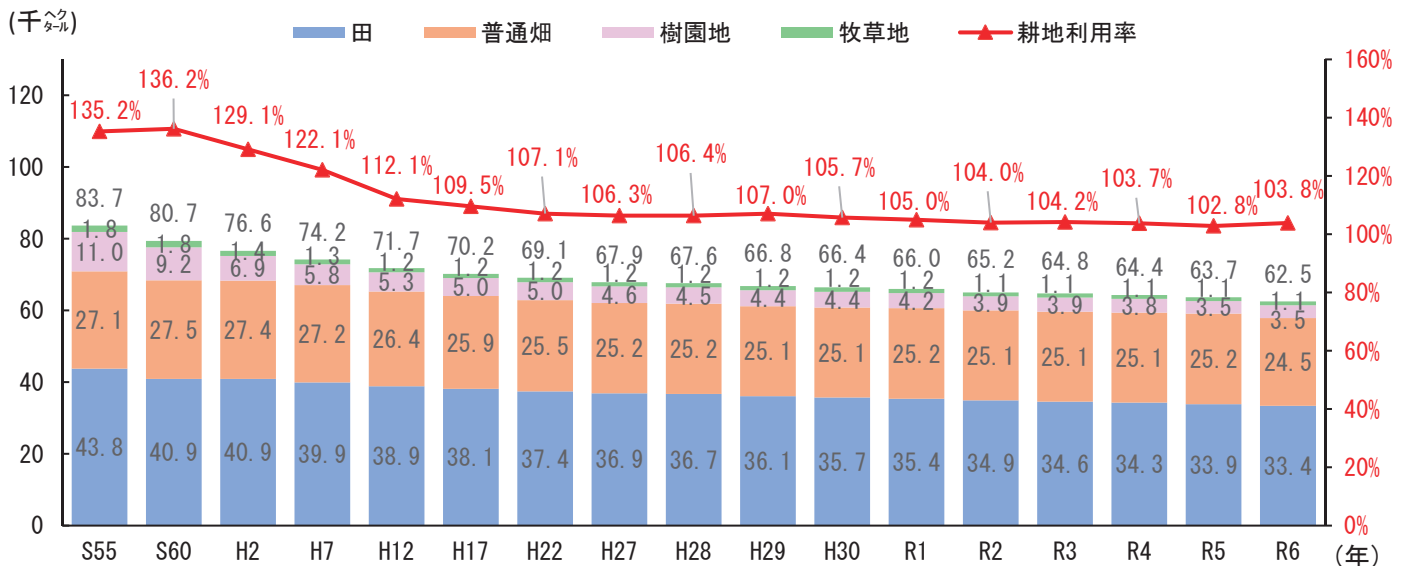
2 農家戸数



※「自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家、
 「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。
 ※「主業農家」とは、農業所得が主（所得の50%以上が農業所得）で、65歳未満の農業従事者60日以上の方がいる農家、
 「準主業農家」とは、農外所得が主で、65歳未満の農業従事者60日以上の方がいない農家をいう。
 「副業的農家」とは、65歳未満の農業従事者60日以上の方がいない農家をいう。
 ※令和2年から主業農家・準主業農家・副業的農家のデータなし。

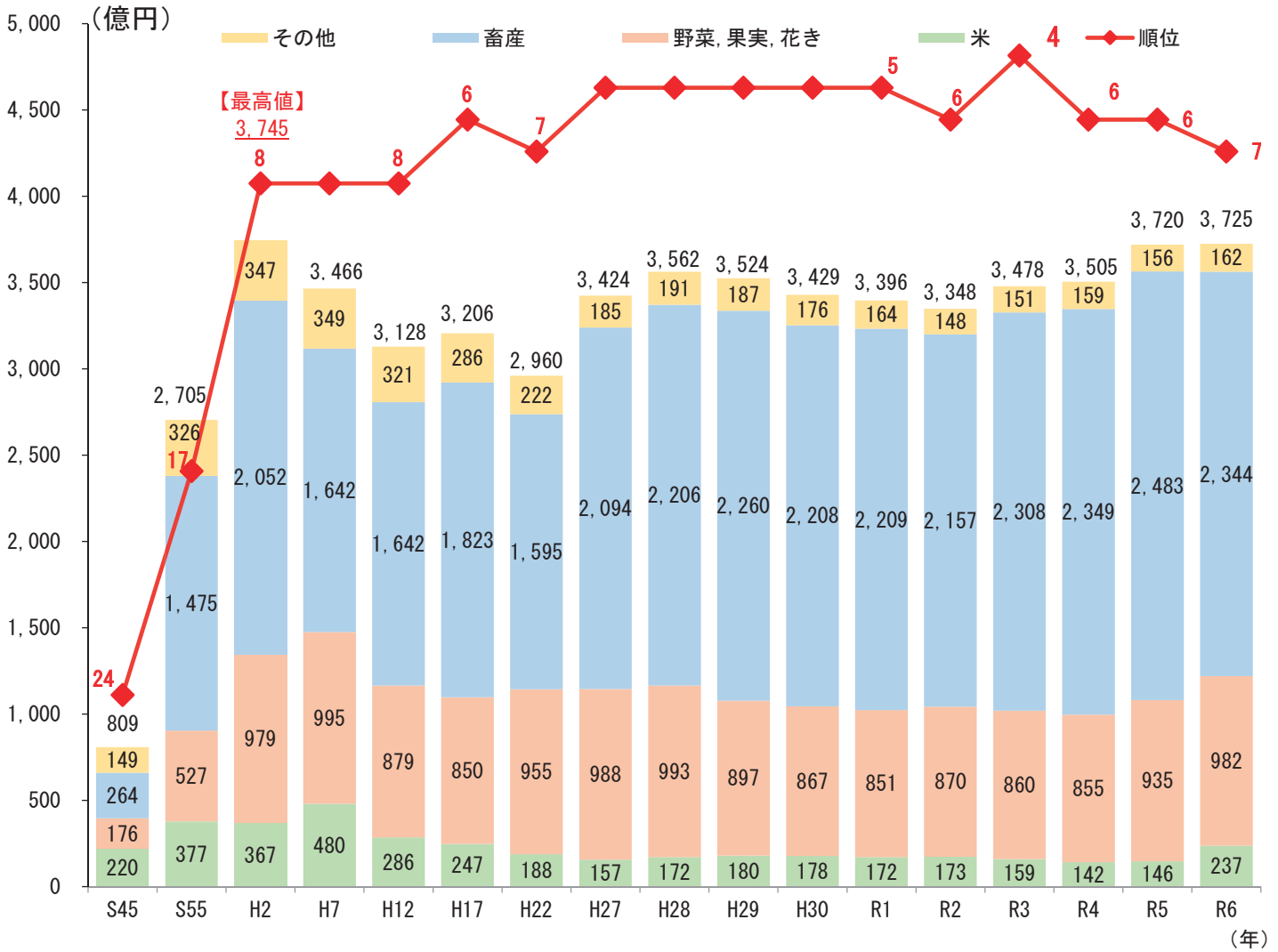
資料：「農林水産省：2020年農林業センサス」
 「農林水産省：農業構造動向調査」

3 耕地面積及び耕地利用率の推移



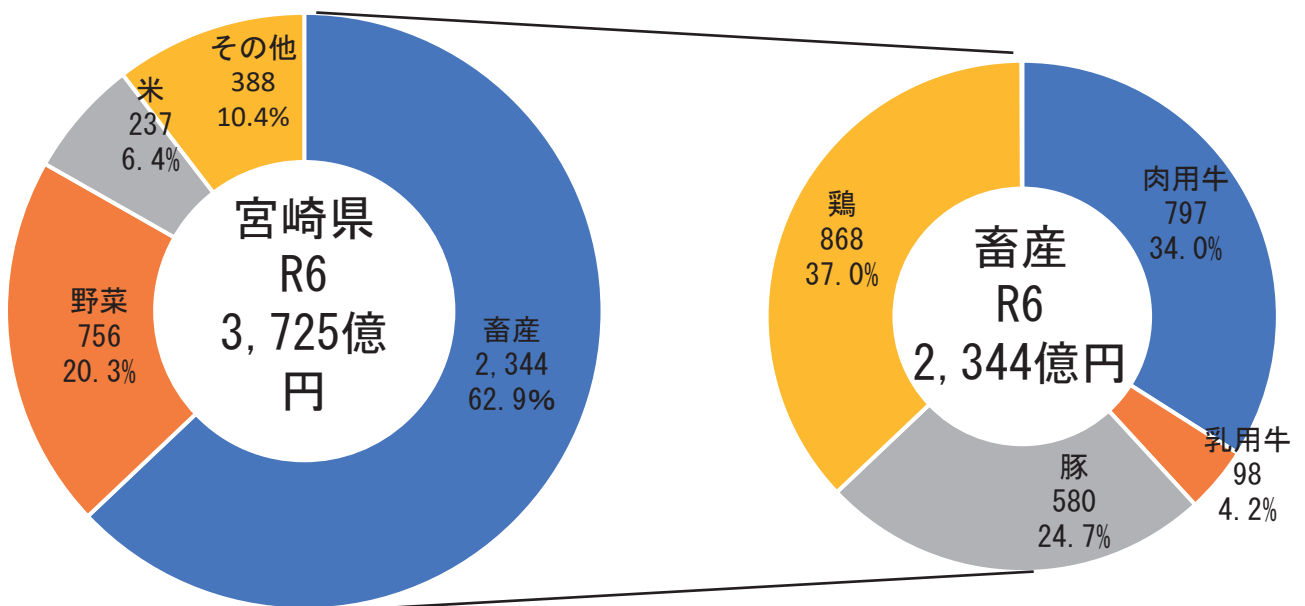
資料：「農林水産省：耕地及び作付面積統計」

4 農業産出額



資料：「農林水産省：生産農業所得統計」

5 宮崎県の産出額の構成



Ⅱ 畜産の概要

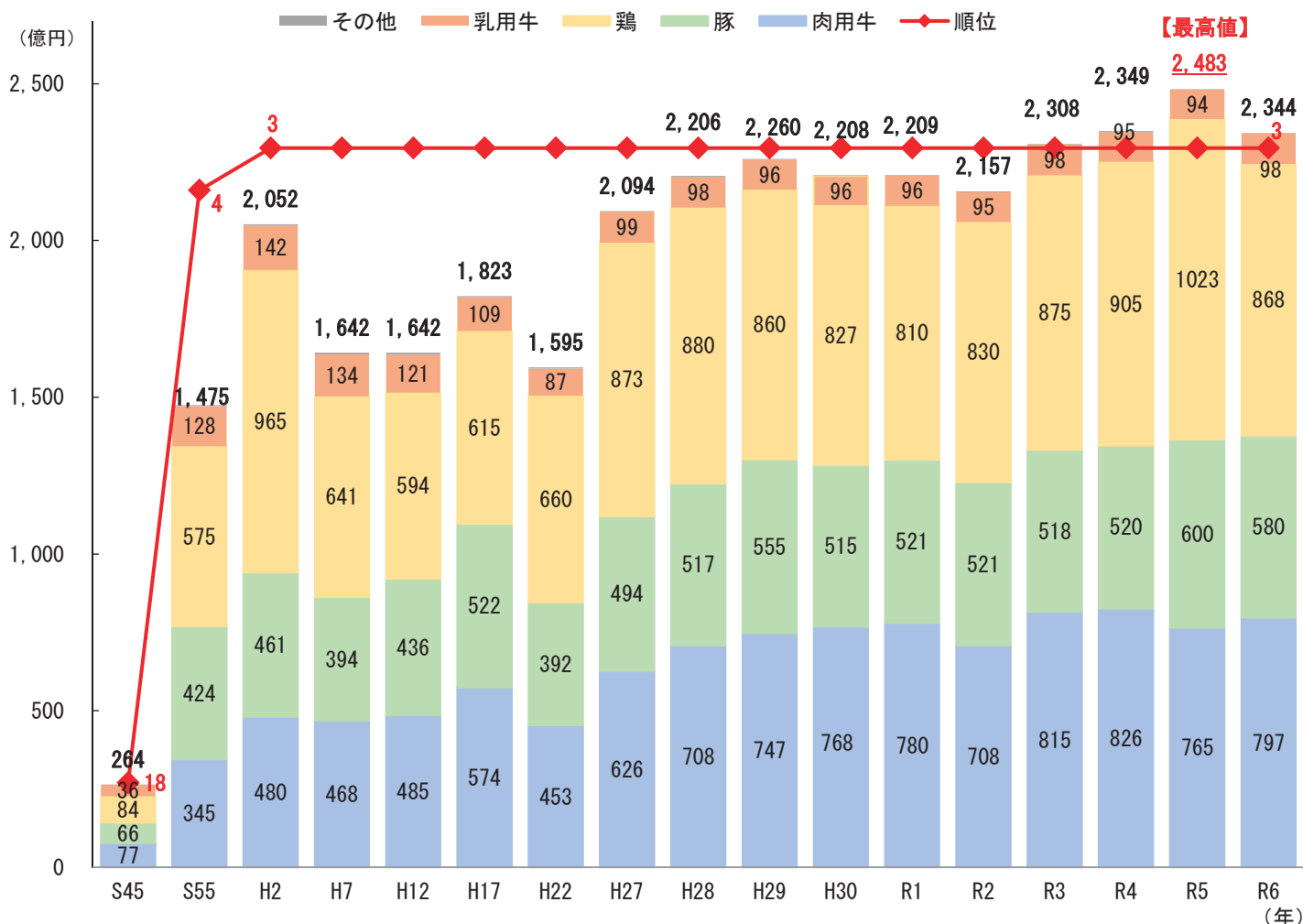
1 全国飼養頭羽数別の順位

令和7年2月1日現在（肉用牛・乳用牛） 令和6年2月1日現在（豚・採卵鶏・ブロイラー） （単位：頭、千羽）

区分	全国	九州	都道府県別順位					備考	宮崎県/ 全国シェア
			1	2	3	4	5		
肉用牛	2,595,000	956,300	北海道 544,700	鹿児島県 360,400	宮崎県 248,400	熊本県 133,200	長崎県 91,100		9.6%
乳用牛	1,293,000	94,200	北海道 816,800	栃木県 51,400	熊本県 41,900	岩手県 37,600	群馬県 31,000	宮崎県 12,400 (12位)	1.0%
豚	8,798,000	2,753,000	鹿児島県 1,200,000	北海道 752,200	宮崎県 721,900	群馬県 610,800	千葉県 580,700		8.2%
採卵鶏 (種鶏を除く)	168,599	21,601	千葉県 14,129	茨城県 12,109	鹿児島 10,196	岡山県 10,036	群馬県 9,602	宮崎県 3,098 (21位)	1.8%
ブロイラー	144,859	74,080	鹿児島県 32,003	宮崎県 28,155	岩手県 23,604	青森県 7,639	北海道 5,531		19.4%

資料：「農林水産省：畜産統計」

2 畜産産出額の推移



資料：「農林水産省：生産農業所得統計」

Ⅲ みやざき畜産共創プラン

プラン（R3年度～R7年度）の概要

次期プランについては
令和8年9月に策定予定

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画畜産版アクションプラン

【ビジョン】

『あらゆる危機事象に負けない畜産』、『賢く稼げる畜産』を畜産農家、関係機関、関連産業並びに県民の皆様と共に創造し、持続可能な魅力ある強くてしなやかな本県畜産業の発展を目指す。

畜産経営の土台となる防疫

家畜防疫の強靱化

防疫力の強化

「水際防疫」・「地域防疫」・「農場防疫」・万一の発生に備えた「迅速な防疫措置」による「みやざきの家畜防疫4本柱」の重点的取組推進

防疫体制の強化

関係者との連携強化等に加え、県民総ぐるみの意識醸成を図り、家畜保健衛生所の機能強化、産業動物獣医師と県職員獣医師の確保・育成の強化等

持続可能な畜産振興への取組

生産力の強靱化

生産基盤の強化

規模拡大に向けた畜産クラスター計画や人・牛プランの推進、効果的な分業化・担い手・省力化対策の積極的な推進等

生産性の向上

事故率低減や省力化等による所得向上に向けたスマート畜産技術の積極的な活用、飼養環境の改善、衛生管理技術の向上等

新技術の普及促進

スマート畜産技術の実装に向けた積極的な導入、試験研究分野と普及分野の連携強化による新技術の推進及び情報発信の強化等

人材力の強靱化

担い手確保

新規就農しやすい環境作り、中心的経営体の規模拡大支援と併せて経営管理能力の優れた経営者の育成、農業大学校における畜産業への定着支援等

働き方改革

定休型ヘルパー組織の体制整備支援、各畜種における分業体制の構築及び推進等

指導者確保

より高いレベルの指導ができる畜産マスターのスキルアップと若手指導者の育成、地域コンサル体制の強化、関係機関一体となった地域ぐるみの担い手育成の強化等

地域資源循環の強化

飼料自給率の向上

人・農地プランの活用等による飼料作付面積の拡大、自給飼料の広域流通、コントラクターの育成やTMRセンター整備の推進等

脱炭素社会を目指した畜産バイオマスエネルギーの利活用と資源循環の推進

脱炭素社会を目指した畜産バイオマスエネルギーの利活用や良質堆肥生産及び耕畜連携による利用拡大の推進等

販売・関連産業の発展に向けた取組

販売力の強靱化

販売戦略

変化する社会情勢と多様化する消費者ニーズ等に対応するため、関係者一体となって付加価値等の向上を目的とした販売戦略を再構築し、積極的な販売活動の推進等

輸出拡大

国が策定した輸出戦略に同調し、成長分野として積極的な戦略を構築し、関係者との連携を更に充実しながら輸出拡大を推進等

関連産業の成長促進

畜産を支える関連産業との連携を十分に図り、情報共有に努めるとともに新たな食肉・食鳥処理場の整備支援、マーケットインを重視した食肉のおいしさの研究推進等

指標の目標値

● 持続可能な畜産振興への取組

(1) 生産力の強靱化					
中項目	分類	小項目	現状値 (R1年度)	目標値 (R7年度)	
①生産基盤の強化	肉用牛	繁殖雌牛頭数	82,900頭	91,000頭	
	肉用牛	子牛取引頭数	66,600頭	73,400頭	
	肉用牛	肉用牛拠点施設整備数	35か所	38か所	
	乳用牛	生乳生産量	77,542t	82,000t	
	乳用牛	育成預託牛頭数 (酪農公社)	650頭	700頭	
	豚	肉豚出荷頭数	1,380千頭	1,460千頭	
	鶏	ブロイラー出荷羽数	136,597千羽	142,500千羽	
	鶏	鶏卵生産量	56,876t	61,500t	
②生産性の向上	鶏	みやざき地頭鶏出荷羽数	431千羽	580千羽	
	肉用繁殖牛	分娩間隔410日以上の繁殖雌牛頭数割合	32.5%	22.5%	
	肉用肥育牛	出荷月齢	29.5ヶ月	27.0ヶ月	
	乳用牛	1頭当たり年間乳量 (牛群検定305日乳量)	9,512kg	10,000kg	
	豚	母豚1頭当たり年間出荷頭数	18.8頭 (21.2頭)	23.0頭 (25.0頭) ※1	
	鶏	ブロイラーの生産率 (回転)	4.84回転	5.0回転	
③新技術の普及促進	鶏	みやざき地頭鶏の育成率	80.5%	91.0%	
	全畜種	スマート畜産導入戸数	1,167戸	2,000戸	
	全畜種	普及成果数	9件	35件	

(2) 人材力の強靱化					
中項目	分類	小項目	現状値 (R1年度)	目標値 (R7年度)	
①担い手確保	人材	新規就農者数 (畜産部門)	137人/年次	160人/年次	
	人材	畜産クラスター事業の取組主体数	214主体	400主体	
	人材	畜産技術・経営分析システム (産地分析) 参加農家数	779件	1,000件	
	人材	農業大学校 (畜産分野) の就農及び農業関係就職率	96% (77%)	100% (80%) ※2	
②働き方改革	人材	定休型ヘルパー組織数	3組織	9組織	
③指導者確保	人材	畜産マスター延べ数	60人	110人	

(3) 地域資源循環の強化					
中項目	分類	小項目	現状値 (R1年度)	目標値 (R7年度)	
①飼料自給率の向上	自給飼料	飼料作付面積 (WCS、飼料用米含む)	33,600ha	35,000ha	
	自給飼料	販売型コントラクター数	15組織	20組織	
	自給飼料	コントラクターの作業面積	4,118ha	5,250ha	
	未利用資源	放牧面積	231ha	270ha	
②脱炭素社会を目指した畜産バイオマスエネルギーの利活用と資源循環の推進	バイオマス	畜産バイオマス発電施設数	4施設	7施設	
	資源循環	堆肥の広域流通量 (県外・農外販売)	4,081t	8,000t	

● 販売・関連産業の発展に向けた取組

(1) 販売力の強靱化					
中項目	分類	小項目	現状値 (R1年度)	目標値 (R7年度)	
①販売戦略	牛肉	宮崎牛指定店数	548店舗	600店舗	
	豚肉	宮崎ブランドポーク指定店数	227店舗	250店舗	
	みやざき地頭鶏	みやざき地頭鶏指定店数	210店舗	230店舗	
②輸出拡大	牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵	畜産物輸出額	44億円(1,430t)	66億円(3,850t)※3	
③関連産業の成長促進	製造	畜産物製造業出荷額	2,456億円 (H30)	3,000億円 (R6)	
	製造	新たな食肉・食鳥処理施設の整備数	-	2カ所	
	製造	県内と畜場におけると畜頭数	1,092千頭	1,139千頭	

※1: () は、クラスター事業活用農場平均、※2: () は、卒時就農率、※3: () は、輸出货量

みやざきの家畜防疫対策の4本柱

1 水際防疫



空港での靴底消毒マット設置



空港での防疫啓発

2 地域防疫



市町村自衛防疫推進協議会による
地域の巡回消毒活動



地域での防疫演習
(消毒作業訓練)

3 農場防疫

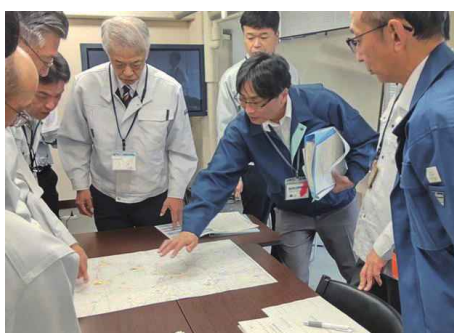


農場における飼養衛生管理基準の
遵守状況確認



豚熱発生子防のための飼養豚への
豚熱ワクチン接種

4 迅速な防疫措置



家畜伝染病発生を想定した
机上防疫演習



畜産試験場を活用した
家畜防疫実働演習

IV 畜種別飼養動向



1 肉用牛

○本県を代表するブランドの「宮崎牛」は、令和4年10月に鹿児島県で開催された「第12回全国和牛能力共進会」で、史上初となる4大会連続の内閣総理大臣賞を受賞。

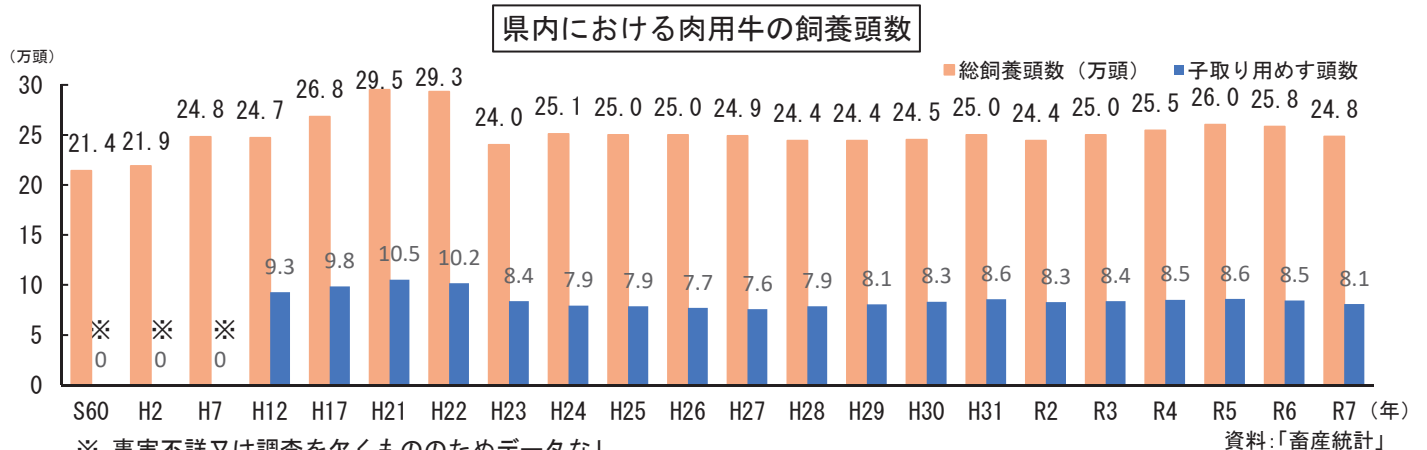
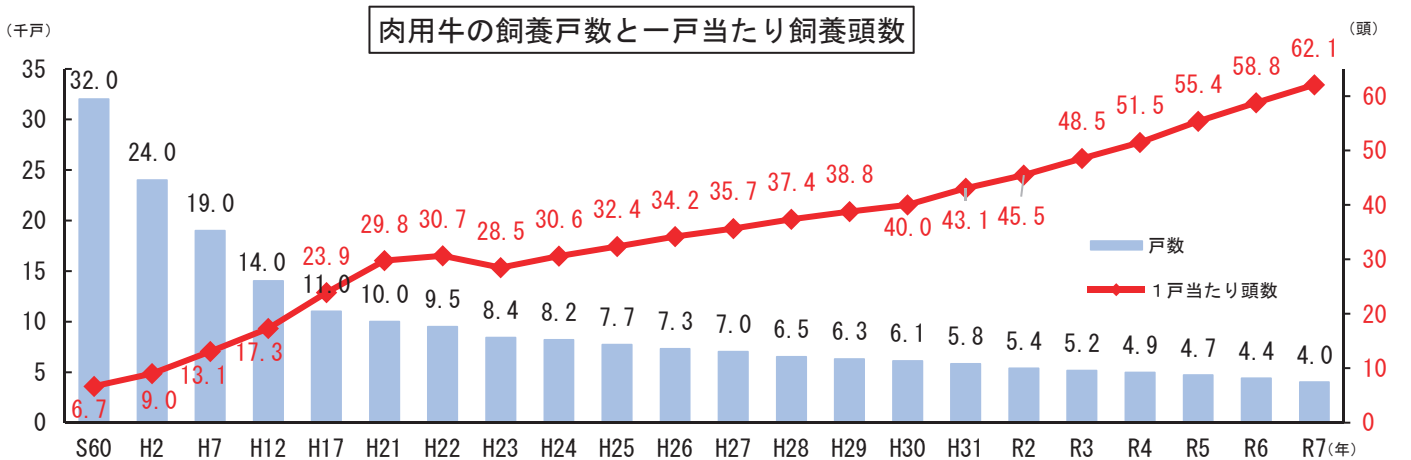
○令和6年の産出額は797億円（対前年比104.2%）で、県農業産出額の21.4%を占めている。

○肉用牛の飼養頭数は、平成22年に発生した口蹄疫の影響により、平成23年は減少したものの、翌年には増加に転じ、その後はほぼ横ばいで推移し、令和7年2月1日現在の飼養頭数は、248,400頭と全国3位となっている。

○人・牛プランに掲げた担い手の育成や分業化システムの構築等、生産基盤の強化を図るとともに、PR活動の展開による「おいしさ日本一宮崎牛」の一層の銘柄確立に努めている。

(1) 肉用牛の飼養状況

戸数と頭数の推移



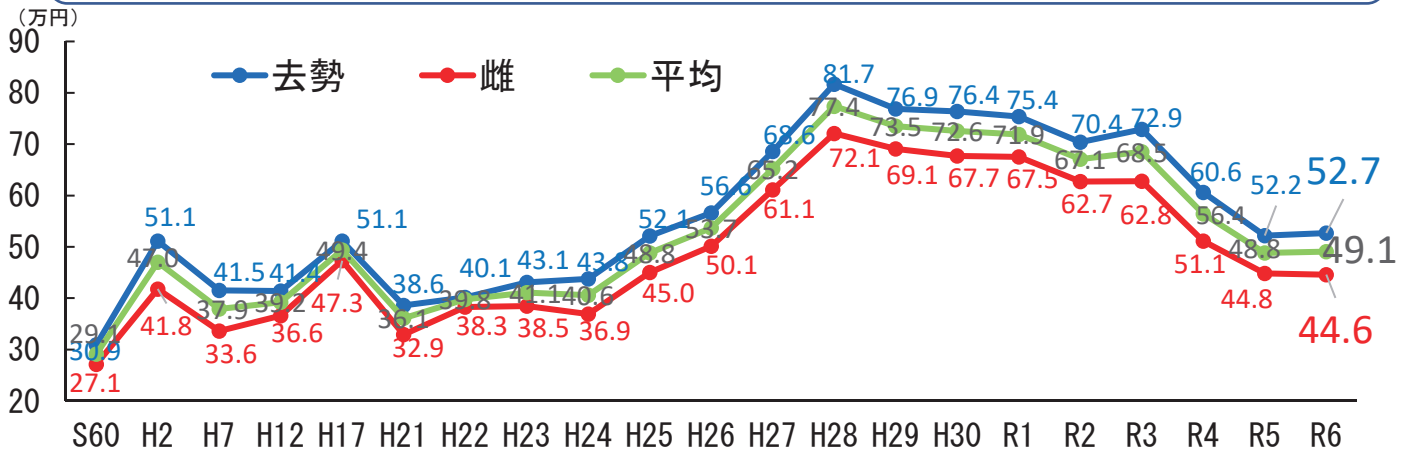
注) 飼養頭数については、令和2年から調査方法が変更になったため、以前の数値とは連動しない。

注) H31, R1の表記については参考としている統計の時点により異なる

(2) 肉用子牛の出荷状況

①価格の推移（税抜）

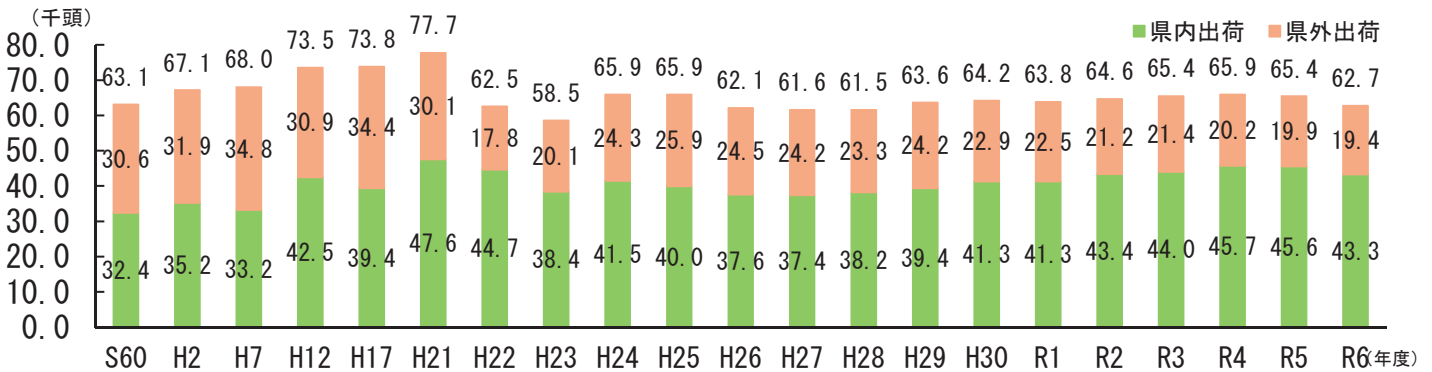
肉用子牛の売却価格は、平成25年度に上昇に転じ、平成28年度には過去最高水準に達した。平成29年度以降はほぼ横ばいで推移していたが、令和3年度以降は枝肉価格の低迷等の影響により、下落が続いている。



②出荷の推移

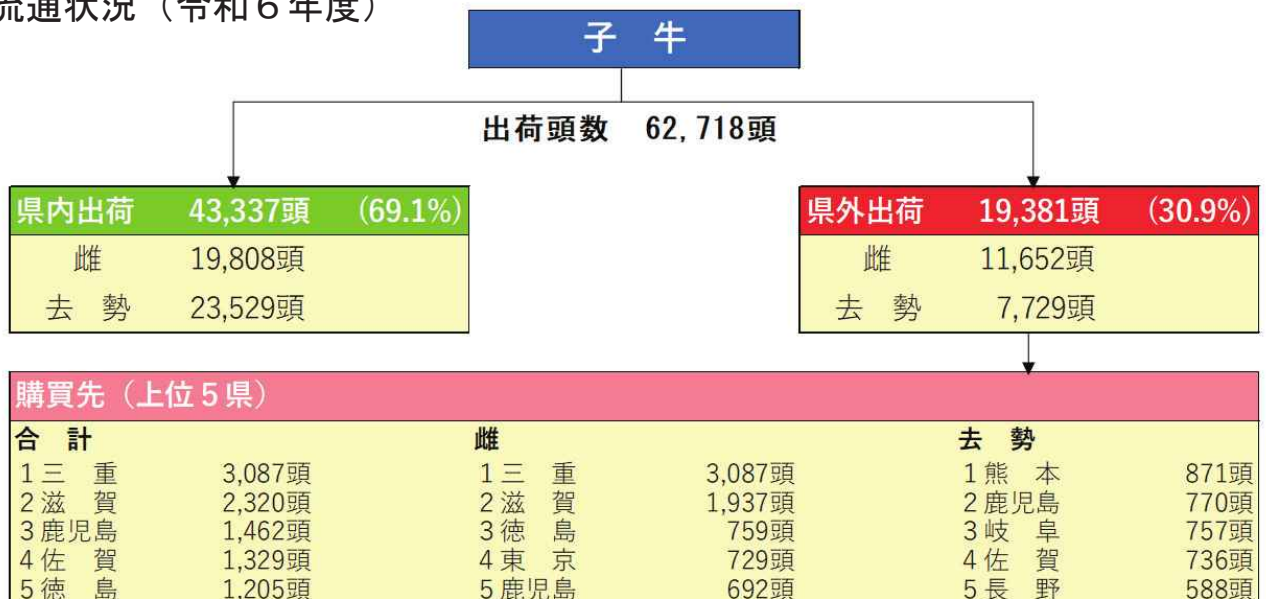
資料：「県畜産振興課調」「宮崎県畜産協会調」

肉用子牛の出荷頭数は、平成22年に発生した口蹄疫により激減したが、平成24年度以降は6万頭台で推移している。平成28年度以降、国庫事業をはじめとした増頭対策により増加した繁殖雌牛の飼養頭数に連動し、安定した推移となっていたが、令和6年度は子牛価格低迷等の要因により前年度から約4.1%減少した。



資料：「県畜産振興課調」「宮崎県畜産協会調」

③流通状況（令和6年度）

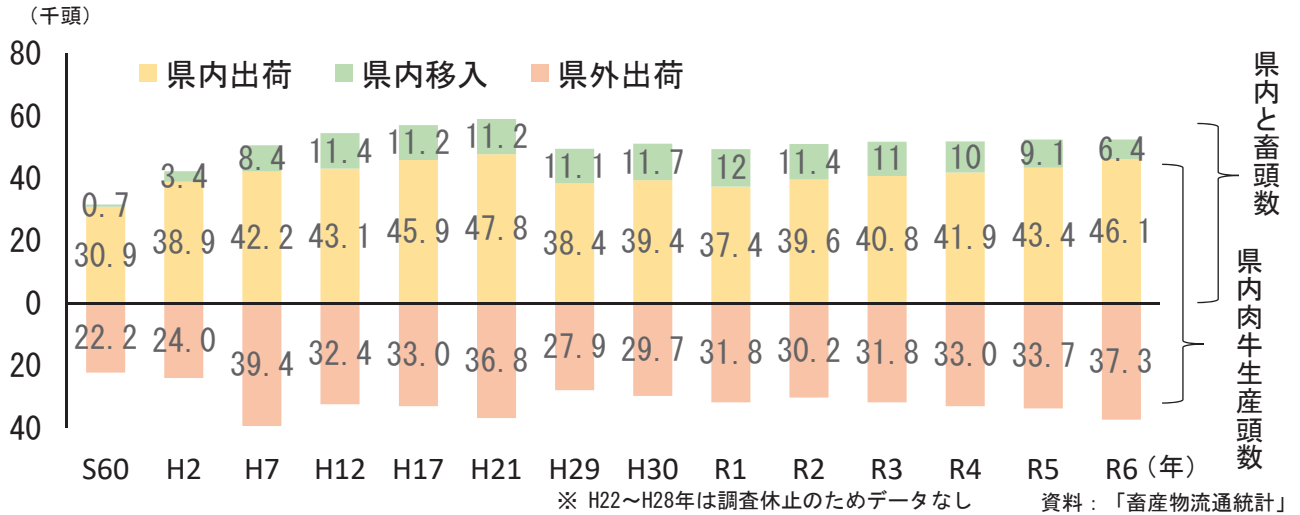


資料：「県畜産振興課調」「宮崎県畜産協会調」

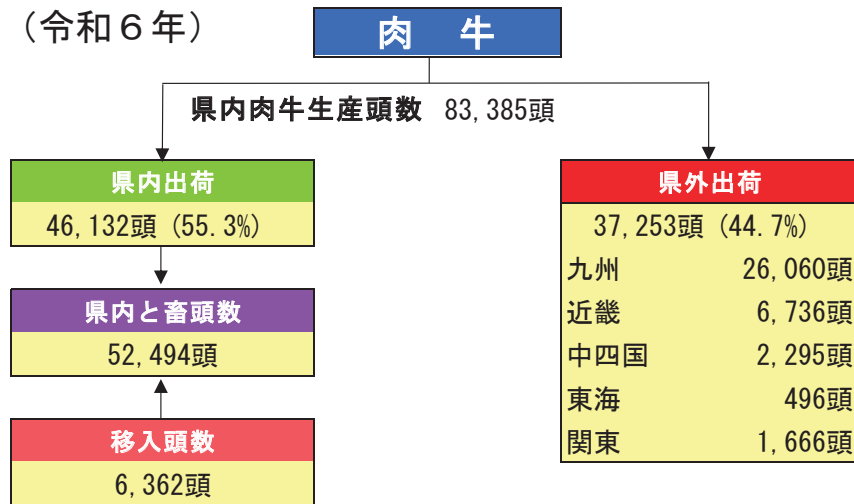
(3) 肉牛の出荷状況

① 頭数の推移

県内における肉牛の出荷頭数は、令和元年以降順調に増加している。
 県内への出荷頭数は約6割であり、県外からの移入頭数は令和元年以降減少している。

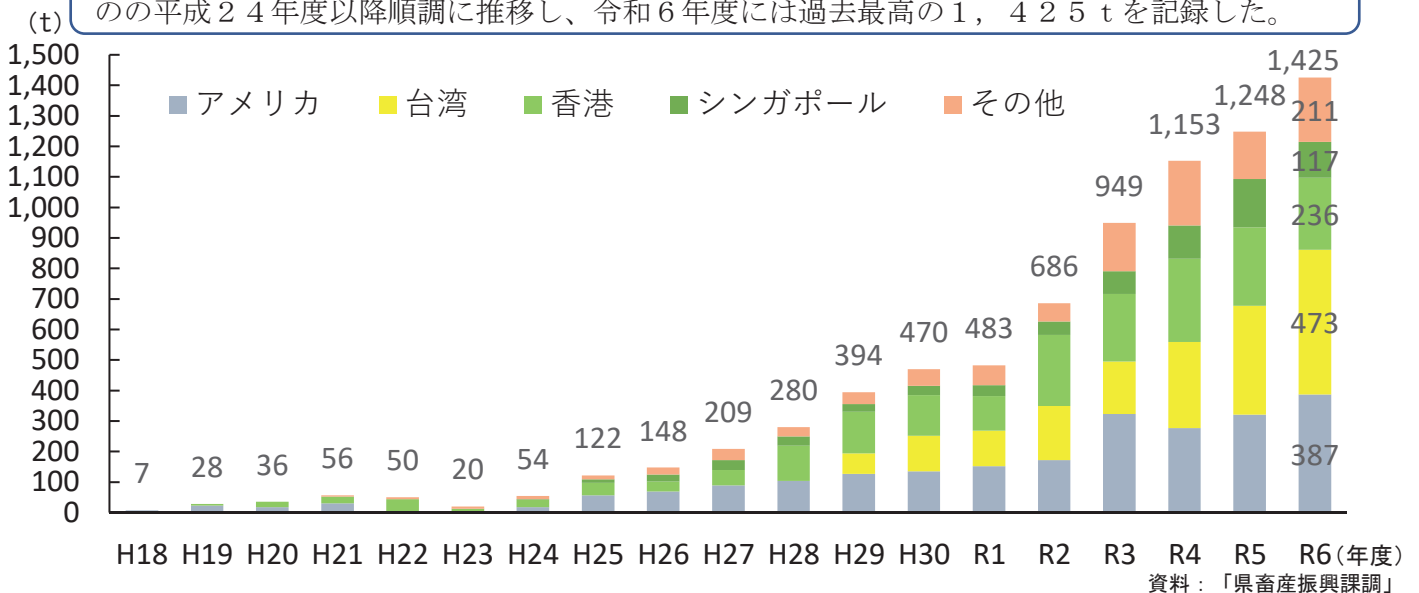


② 流通状況 (令和6年)



③ 県産牛肉輸出量の推移

県産牛肉の輸出は平成2年度に始まり、BSEや口蹄疫の発生により一時的に落ち込んだものの平成24年度以降順調に推移し、令和6年度には過去最高の1,425tを記録した。

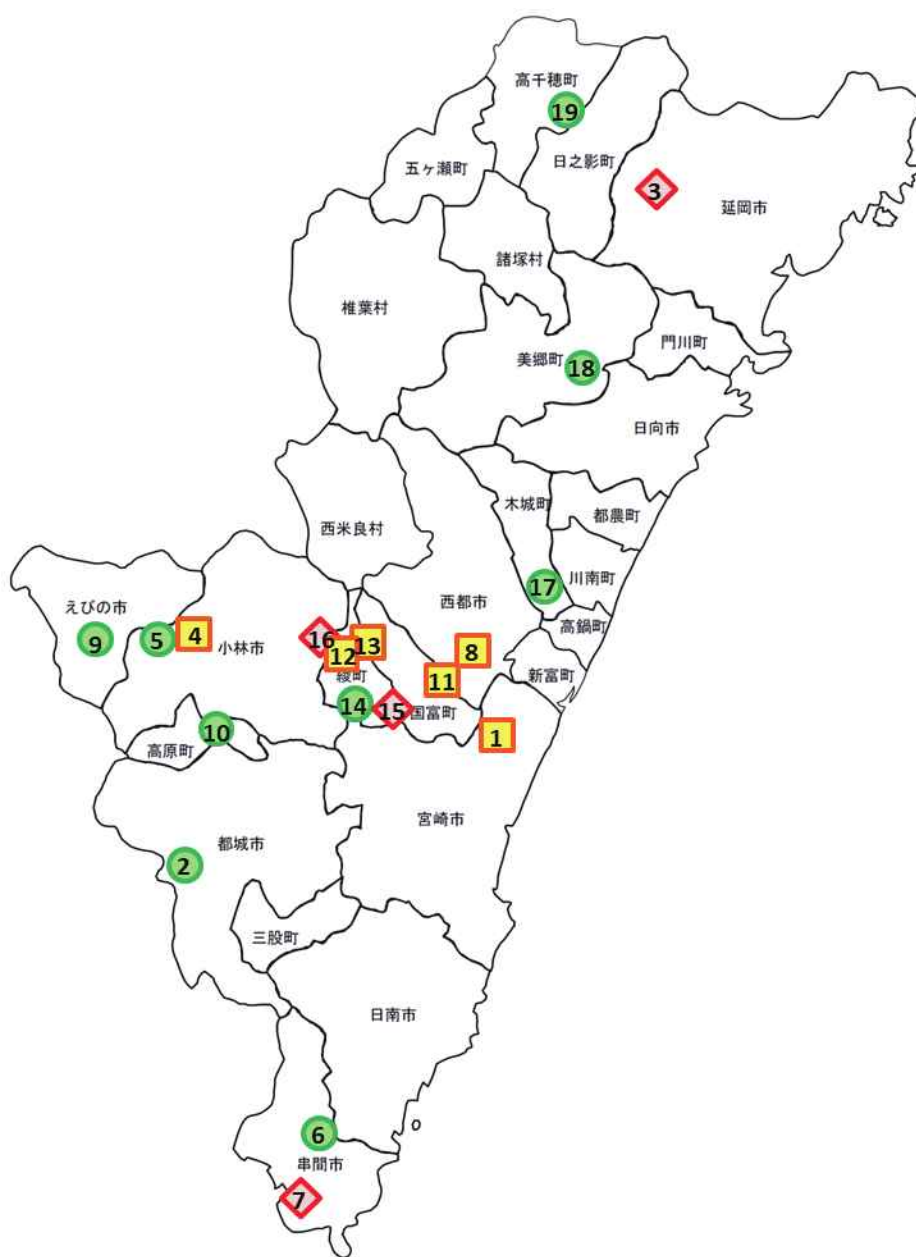


(4) 肉用牛の生産基盤強化に関する取組について

肉用牛農家の規模拡大や肉用牛生産に係る作業の分業化・省力化を推進するため、妊娠牛や子牛を供給する繁殖センターや、セリまでの子牛育成を担うキャトルセンターやキャトルブリーディングセンターの整備を県内一円で展開。

県全域 19か所 (繁殖・育成牛1,929頭、不妊牛26頭、キャトル1,169頭) ※R7年6月時点

● 繁殖センター ◆ キャトルセンター ■ 繁殖+キャトルセンター



No.	市町村	名称 (開始年度)	規模頭数 (頭)
1	宮崎市	J Aみやざき宮崎中央地区本部 宮崎畜産団地 (H25年度、H26年度)	550
2	都城市	J A都城育成牛センター (H29年度)	144
3	延岡市	J Aみやざき延岡地区本部 キャトルセンター (H25年度)	116
4	小林市	小林市営牧場 (S46年度)	70
5		J Aみやざきこぼやし地区本部 第2繁殖センター (H30年度)	165
6	串間市	J Aはまゆう繁殖センター (H24年度)	80
7		笠祇肉用牛生産組合 (H12年度)	20
8	西都市	J Aみやざき西都地区本部 キャトルセンター(H20年度)	197
9	えびの市	えびの市繁殖センター (H29年度)	283
10	高原町	J Aみやざきこぼやし地区本部 御池繁殖センター (H16年度)	125
11	国富町	J Aみやざき宮崎中央地区本部 肉用牛総合ファーム (H14年度)	340
12	綾町	綾町肉用牛総合支援センター (H26年度)	150
13		J A綾町肉用牛総合育成センター (リーリングファーム) (H9年度)	142
14		J Aみやざき本店 妊娠牛供給センター (H19年度)	280
15		J Aみやざき綾町地区本部 キャトルステーション (H5年度 H9年度)	100
16	綾町	J Aみやざき綾町地区本部 哺育センター (H28年度)	20
17	木城町	J Aみやざき本店 肉用牛生産実証農場	160
18	美郷町	J Aみやざき日向繁殖センター (H29年度)	47
19	高千穂町	J A中川繁殖センター (H27年度)	135

資料：「県畜産振興課調」

2 乳用牛

○本県の酪農は、土地利用型農業の重要品目として発展してきたが、生産費高騰による経営状況の悪化や飼養者の高齢化・後継者不足等により飼養戸数及び飼養頭数は減少傾向にあり、令和6年の産出額は98億円（対前年比104.0%）で、県農業産出額の2.6%を占めている。

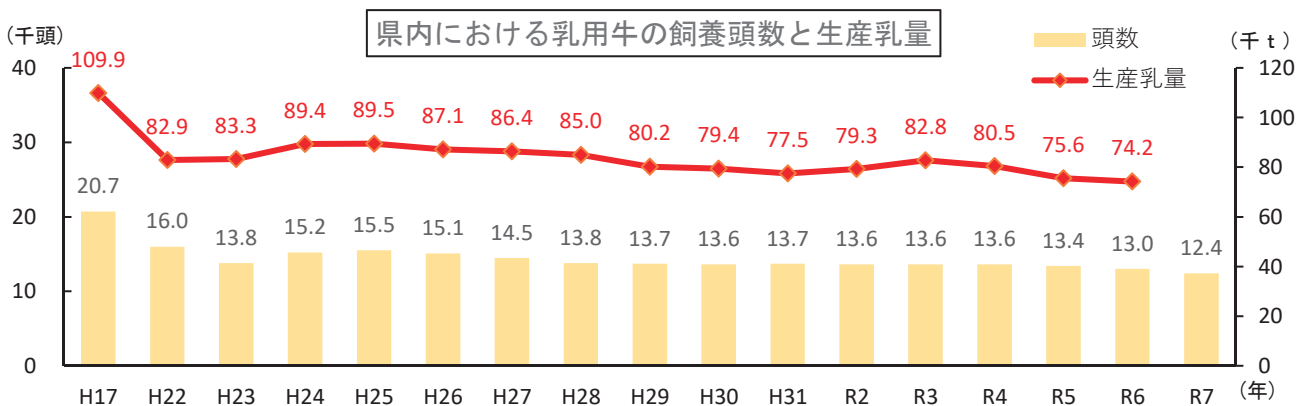
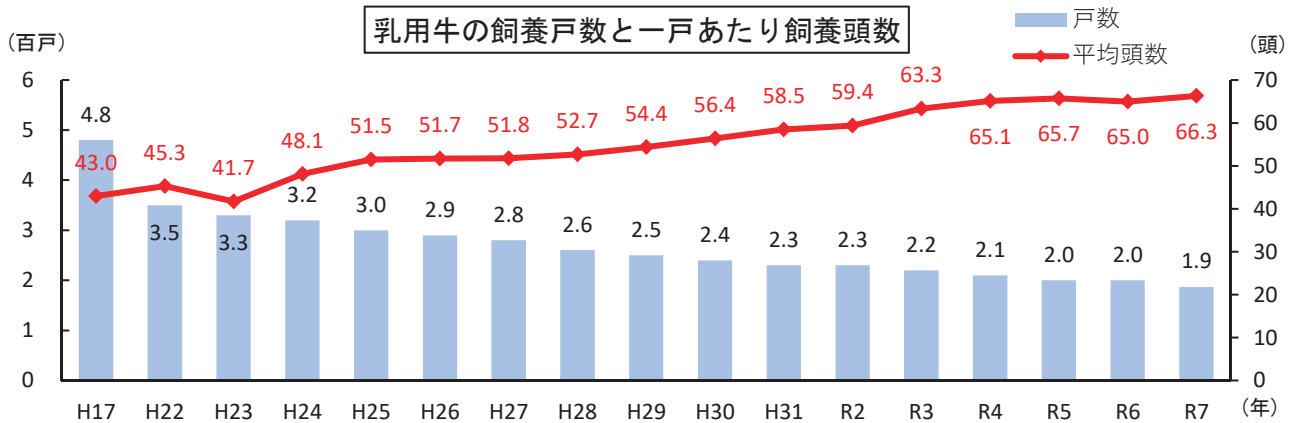
○平成24年以降は戸数の減少に比べ、頭数の減少は緩やかで、一戸当たりの平均飼養頭数が伸びており、規模拡大が進んでいる。

○令和6年の生乳生産量は、7万4,244トン（対前年比98.1%）となっている。

○酪農を担う新たな担い手等の育成を図るとともに、後継牛の確保と導入コストの削減のための育成牛預託等による分業化や省力化のための搾乳ロボット等の導入を進め、生産基盤の強化・生産性向上に取り組んでいる。

（1）乳用牛の飼養状況

戸数と頭数の推移



※ 飼養頭数について、令和2年から調査方法が変更になったため、以前の数値とは連動しない。

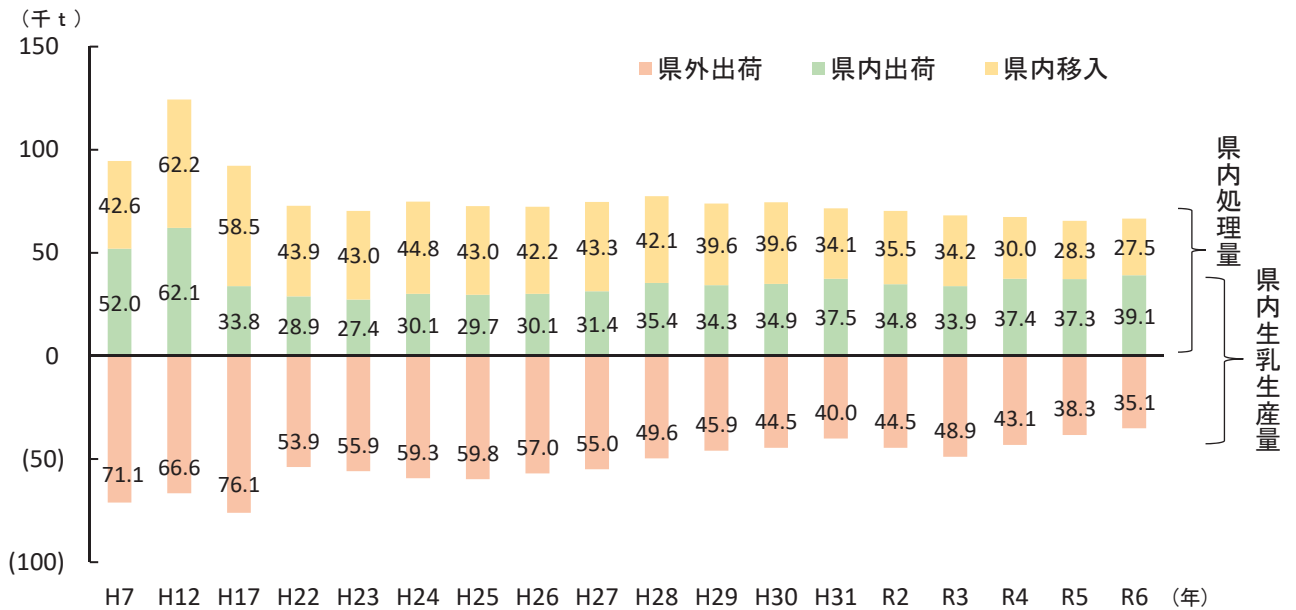
注)H31, R1の表記については参考としている数字の時期により表記が異なる

資料：「畜産統計」
「牛乳・乳製品統計」

(2) 生乳の出荷状況

①出荷の推移

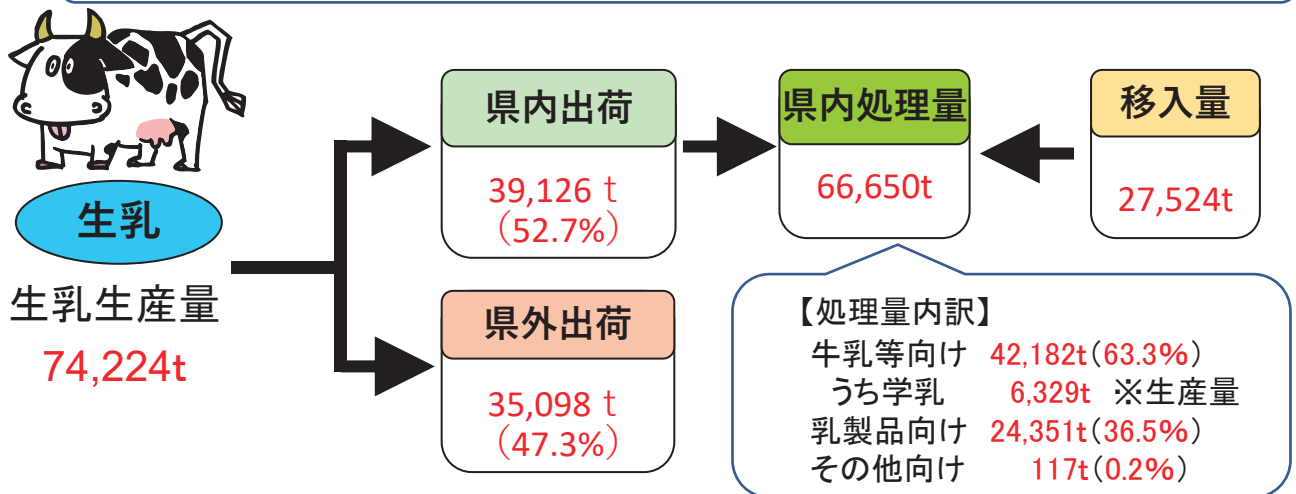
生乳の出荷量は、平成12年をピークに減少傾向にある。県内処理量は県内産と県外から移入してきた分を合わせて、6万t台の処理量となり、ほぼ横ばいの状況となっている。



資料：「牛乳・乳製品統計」

②流通状況（令和6年）

県内で生産された生乳の47%は県外に出荷され、県内で処理される生乳の63%が牛乳等向けとなっている。



資料：「牛乳・乳製品統計」

(3) 県産牛乳・乳製品の消費拡大に向けた取組

「父の日に牛乳を贈ろう」
キャンペーンにかかる知事表敬



みやぎミルクフェア2025



3 豚

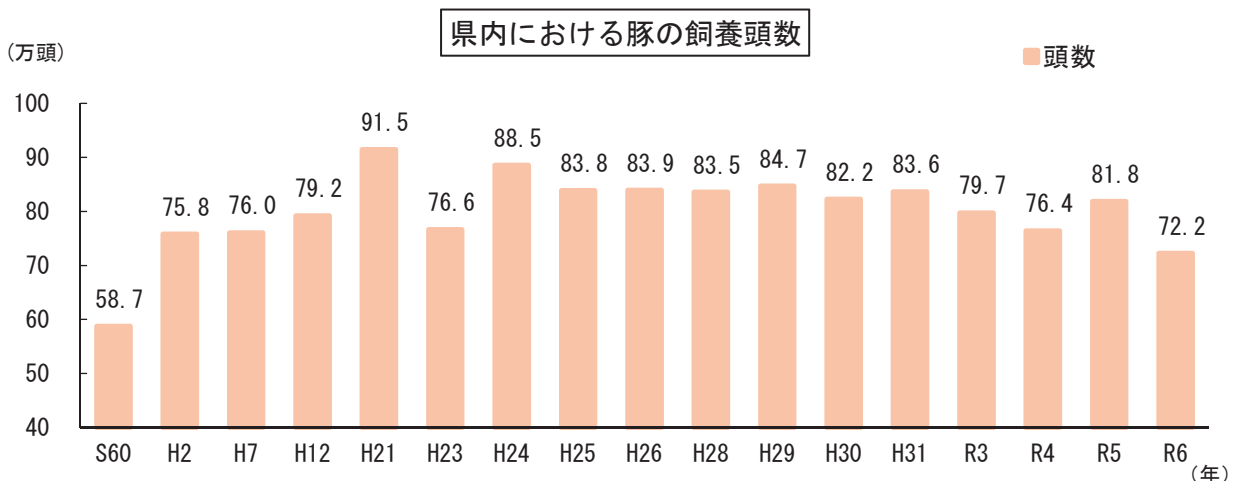
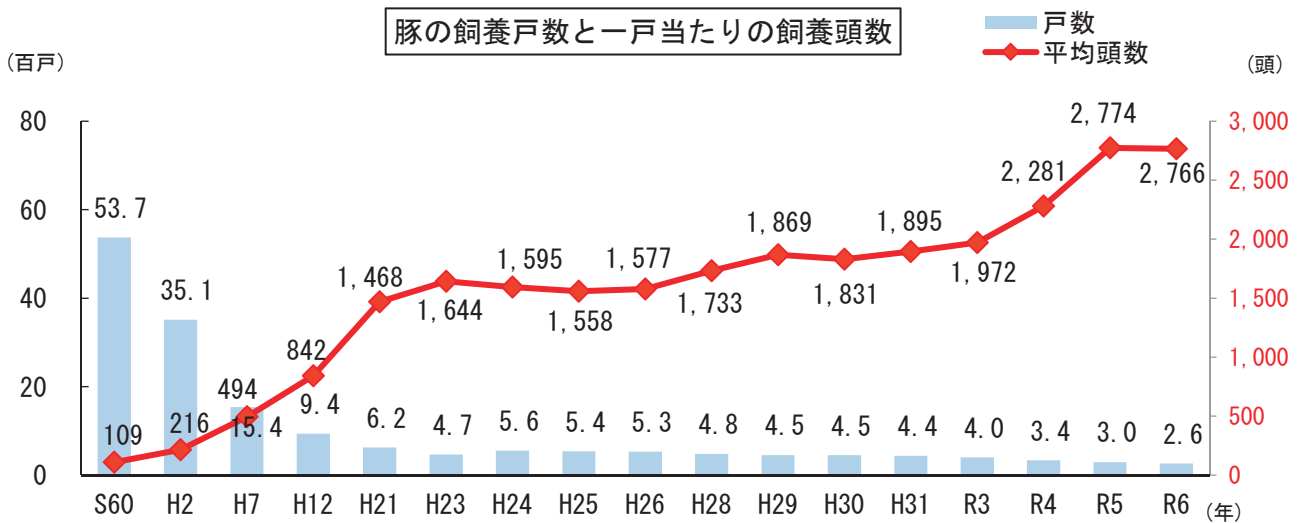
○本県の養豚の飼養頭数は、令和6年には全国3位となっており、農家戸数は減少傾向が続くものの、1戸当たりの飼養頭数は2,700頭を維持し、規模拡大が進んでいる。

○規模拡大に伴い、効率的な生産体制として、地域内一貫生産体制やマルチサイト方式（繁殖・哺乳育成・肥育部門の独立）の導入等に取り組む生産者も増えてきている。

○平成22年の口蹄疫で22万7,949頭もの豚が殺処分され、平成23年には76万6,200頭まで飼養頭数が減少し、その後回復したものの、令和6年2月1日現在では72万1,900頭となった。

○口蹄疫からの再生・復興・新生に向けた取組等により、令和6年の産出額は580億円（対前年比96.7%）で県農業産出額の15.6%を占めており、さらなる生産基盤の強化や生産性の向上を進めている。

戸数と頭数の推移



※平成17・22・27年・令和2・7年は調査休止のためデータなし

資料：「畜産統計」

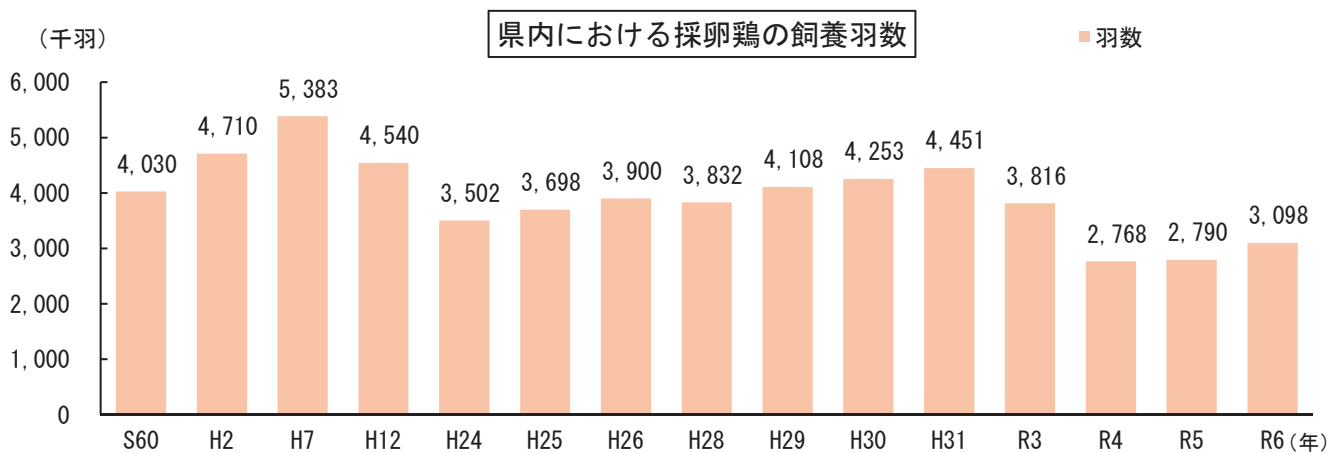
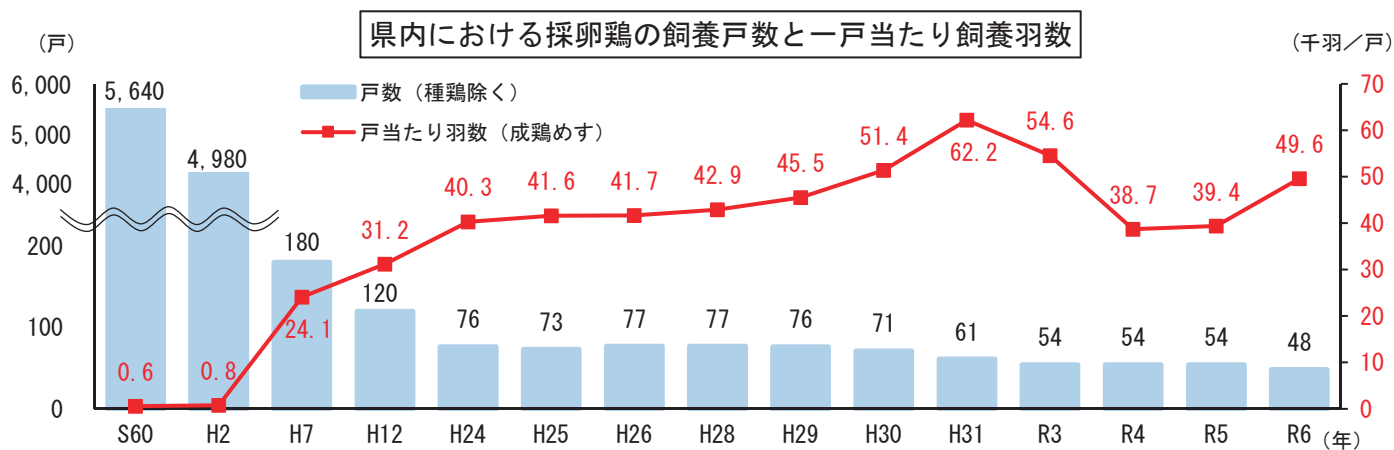
4 採卵鶏

○本県の鶏卵は、GPセンター（鶏卵を洗浄、選別、包装する施設）を核とした企業の経営による規模拡大が進み、1戸当たりの飼養羽数は約5万羽となっている。

○令和6年の鶏卵の産出額は約82億円（対前年比49.3%）で、県農業産出額の2.2%を占めている。

○鶏卵は栄養豊富な食品で、国民の食生活に深く根ざしているが、より一層の安全・安心を確保する観点から高度GPセンターの整備が進められている。

戸数と羽数の推移



※平成27年・令和2年・令和7年は農林業センサス実施年のため調査休止

資料：「畜産統計」

5 ブロイラー

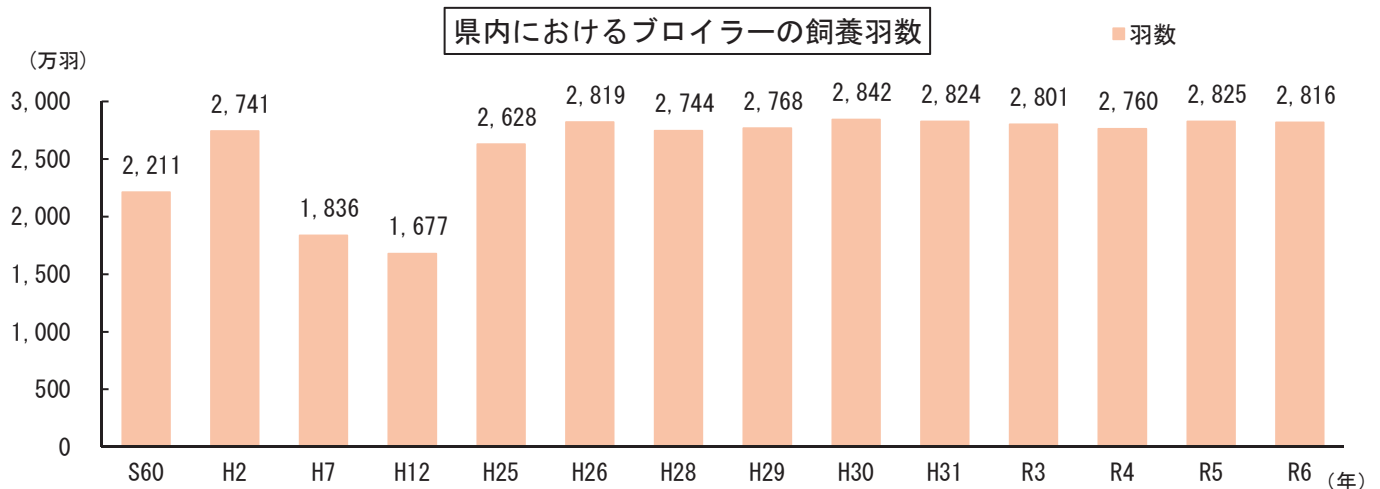
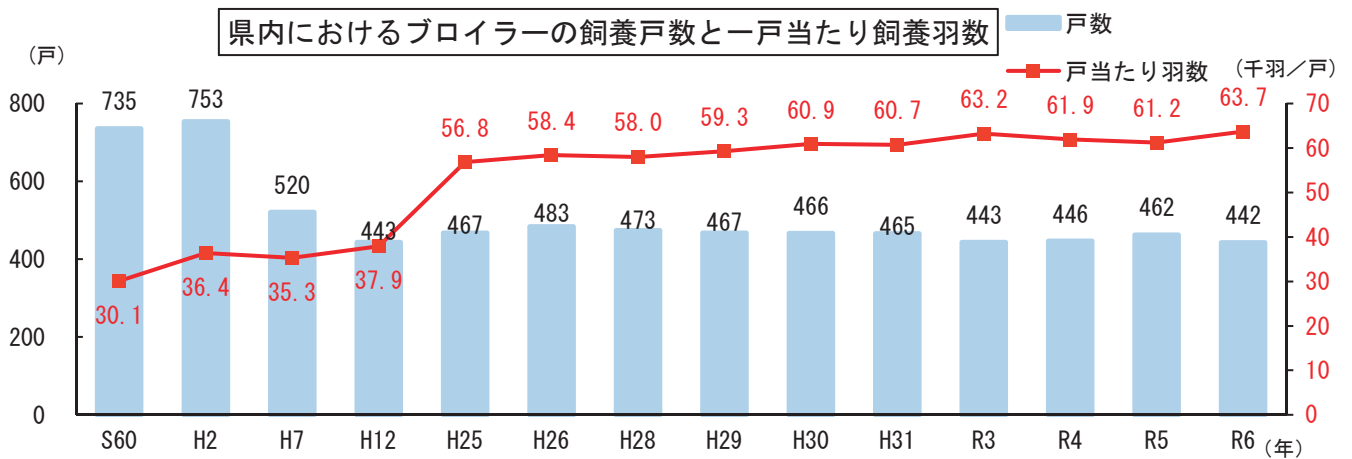
○本県のブロイラーは、生産・流通に関わる様々な部門を統合した大規模生産・流通システムであるインテグレーション化が進んでおり、近年の飼養羽数は横ばいとなっている。

○飼養戸数の減少は他の畜種に比べて緩やかに推移している。

○令和6年の産出額は756億円（対前年比91.4%）で、県農業産出額の20.3%を占めている。

○令和5年の本県出荷羽数は1億3,692万羽であり、宮崎、鹿児島、岩手の3県で全国の57.2%を占めている。

戸数と羽数の推移



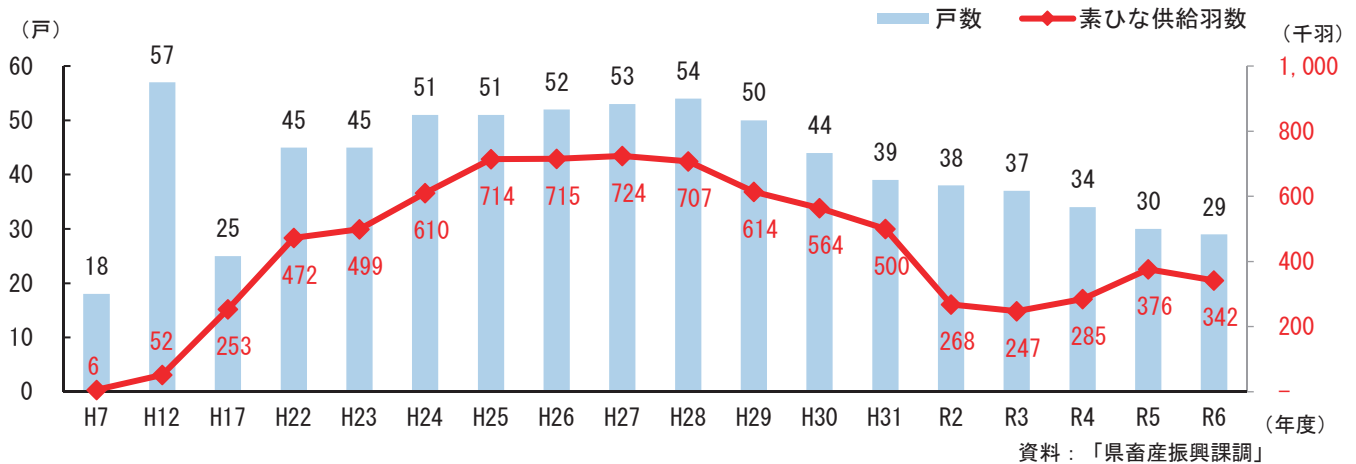
※平成27年・令和2年・令和7年は農林業センサス実施年のため調査休止

資料：「畜産統計」

6 みやざき地頭鶏 じとっこ

平成2年度からみやざき地頭鶏の素ひな供給が開始され、供給羽数は平成17年度から大きく増加し、平成25年度からは70万羽を超えて推移してきた。しかし、平成28年度から減少し、令和2年度からはコロナ禍の影響を受け、令和6年度は34万羽の供給であった。

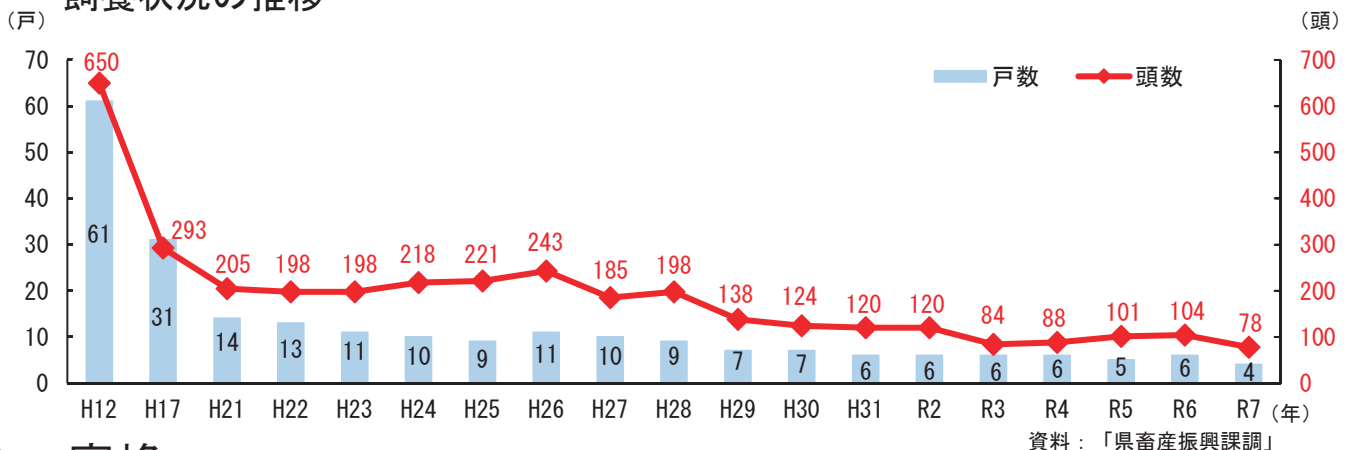
素ひな供給羽数の推移



7 重種馬

飼養頭数及び戸数は減少傾向で、令和7年は、4戸で78頭が飼育されている。

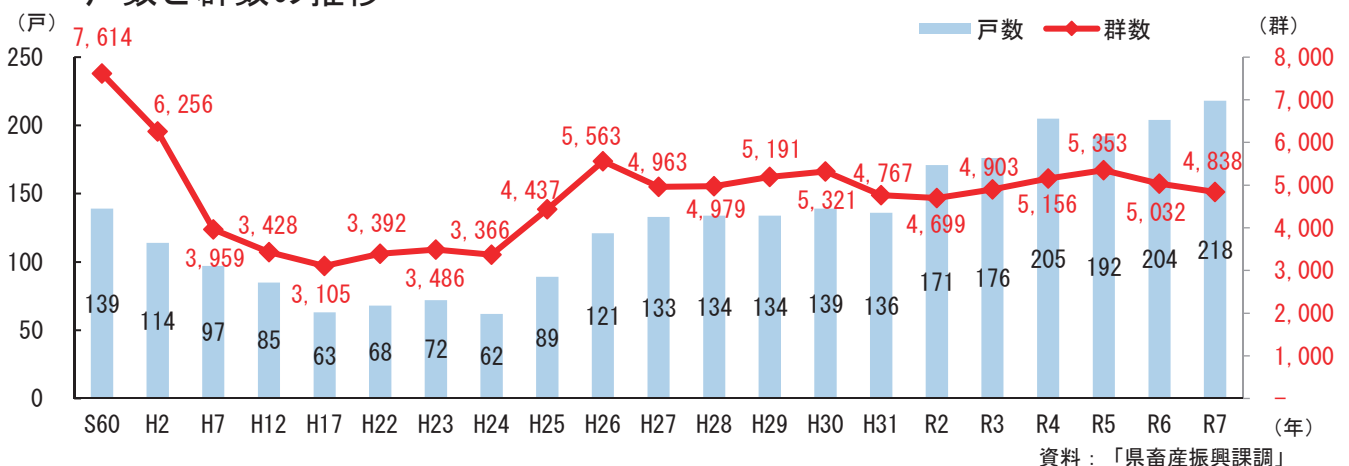
飼養状況の推移



8 蜜蜂

平成25年の法改正を受けて、飼育届出の対象者が拡大されたことに伴い、近年、戸数は増加傾向にある。一方で、養蜂家の高齢化や病害虫の影響により、蜂群数は減少傾向にある。

戸数と群数の推移

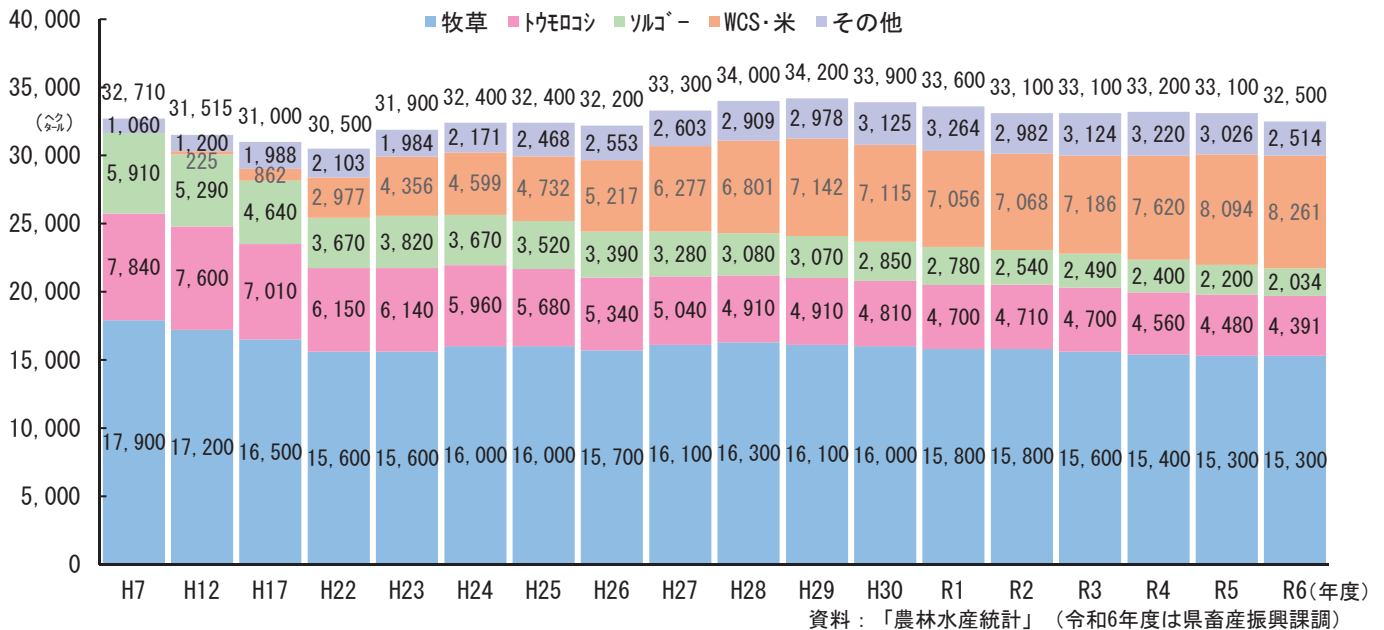


V 飼料

1 自給飼料

水田を活用した飼料用米や飼料用稲の面積は増加しているが、畜産農家戸数の減少や高齢化の影響により全体の作付け面積は近年、減少傾向にある。

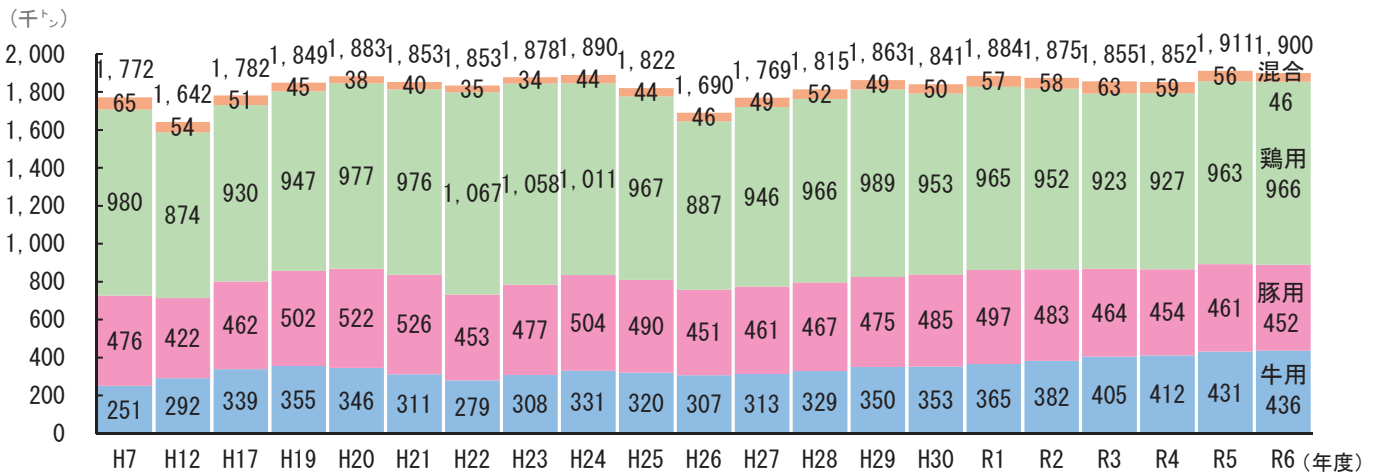
飼料作物作付面積の推移



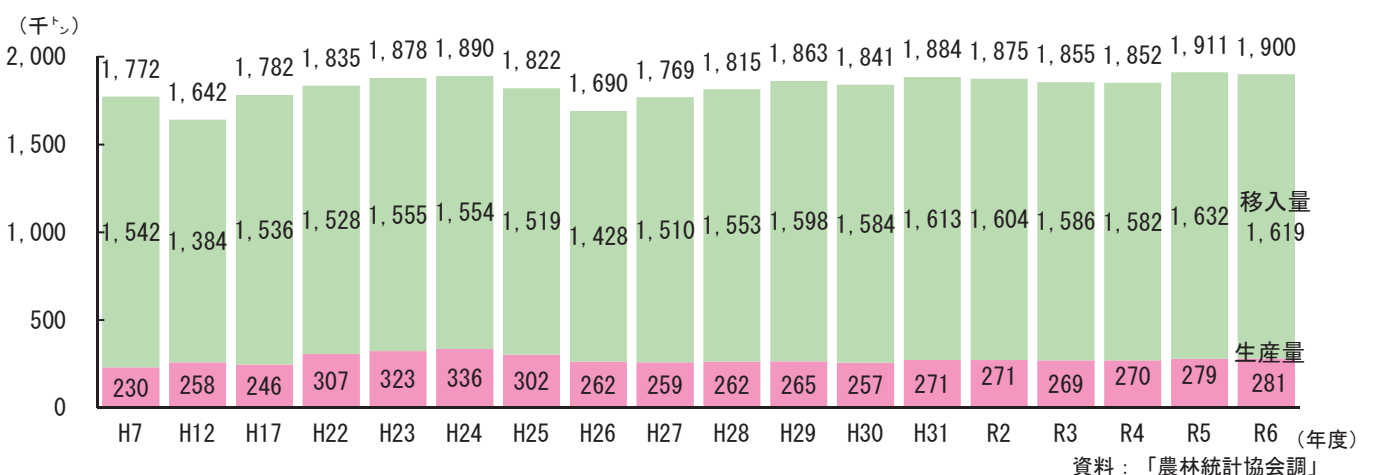
2 流通飼料

毎年190万t程度が消費されており、その約85%が県外からの移入によるものである。

(1) 配・混合飼料の消費量の推移



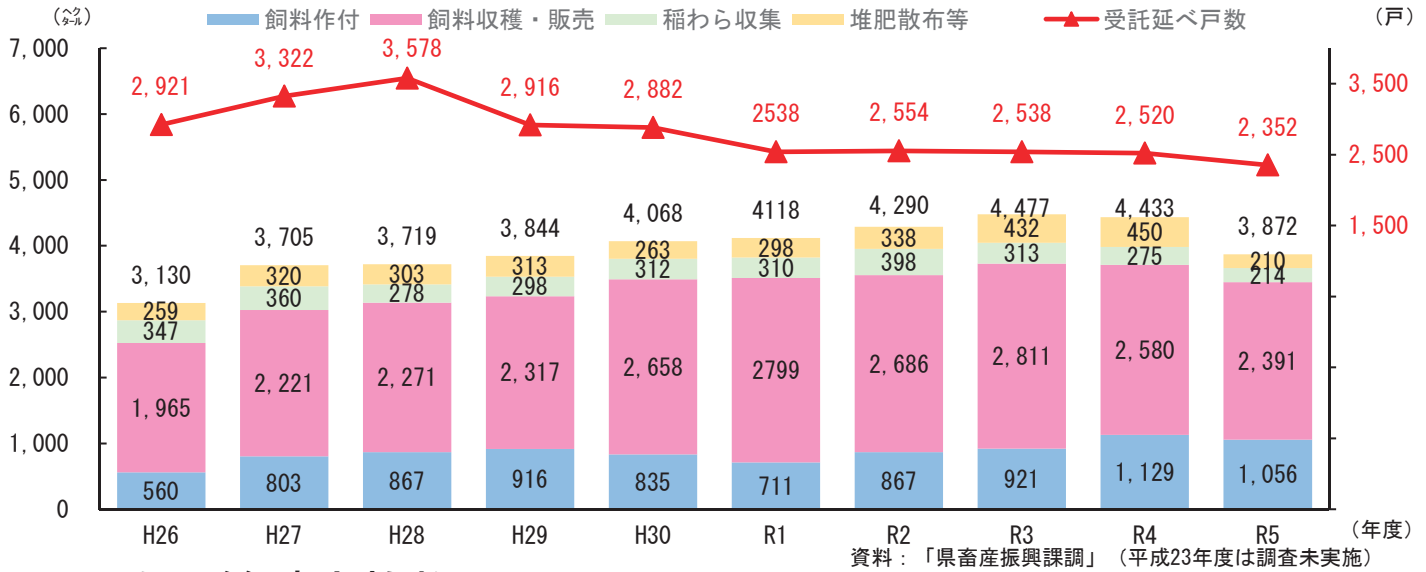
(2) 県内生産量と県外移入量の推移



3 作業受託

コントラクターによる飼料作物関連の作業受託面積は、ここ数年ほぼ横ばいで推移していたが、令和5年度から委託農家の離農や規模縮小により減少に転じた。

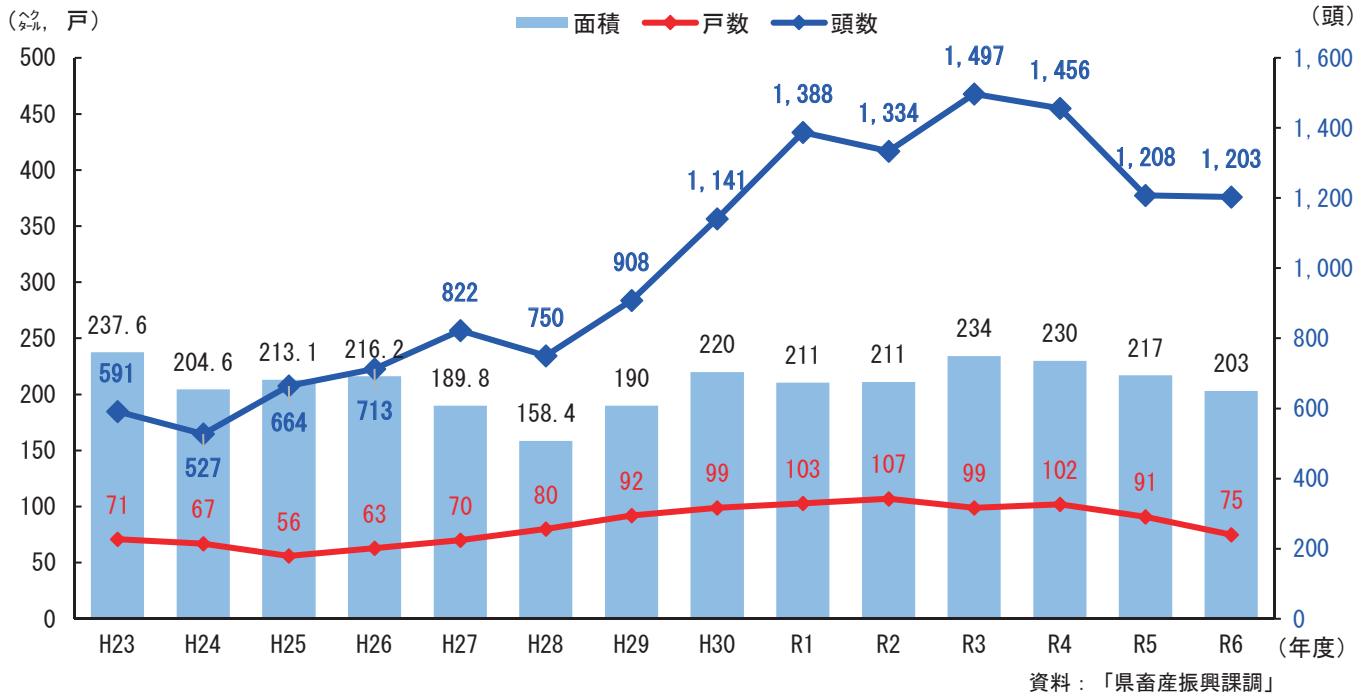
作業受託面積・戸数の推移



4 肉用繁殖牛放牧

平成22年の口蹄疫発生以降、放牧面積・頭数ともに減少した。近年は放牧面積・頭数は増加傾向だったが、令和5年度から減少に転じ、放牧頭数は1,200頭程度で推移している。

放牧面積・戸数・頭数の推移



コントラクター 現地研修会



放牧研修会の様子

VI 家畜衛生

1 検査実施状況（主な監視伝染病）

(単位：頭,羽,群)

病名	年度	H25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
結核		3,059	3,025	2,658	3,318	2,559	3,133	2,713	4,381	650	100	8	0
ブルセラ症		2,656	2,709	2,383	2,860	1,850	2,284	1,748	2,681	55	61	50	17
ヨーネ病（牛）		2,602	2,821	3,617	5,010	3,846	4,513	3,846	2,931	5,154	4,932	5,848	4,745
牛伝染性リンパ腫		4,758	4,690	7,412	13,610	17,624	19,666	19,624	17,568	15,695	14,870	12,577	10,963
豚熱		1,073	1,024	984	913	985	1,024	1,668	1,855	2,340	2,314	8,227	7,641
オーエスキー病		15,935	7,818	10,127	8,816	9,738	7,978	7,337	5,280	4,273	3,374	2,644	1,663
豚繁殖・呼吸障害症候群		6,026	5,910	6,281	5,265	6,165	6,648	5,707	5,989	4,375	1,375	705	584
豚流行性下痢		130	740	968	364	0	0	0	4	0	0	0	0
伝染性胃腸炎		130	130	310	180	0	0	0	0	0	0	0	0
高病原性鳥インフルエンザ		2,384	2,318	1,918	3,567	3,621	2,221	1,849	9,571	1,848	3,501	1,856	4,001
ニューカッスル病		2,385	2,353	2,232	2,603	2,414	1,920	1,920	1,480	690	630	1,145	80
腐蛆病		3,749	3,969	3,701	3,629	3,504	3,403	3,399	3,131	3,314	3,723	3,608	3,302

資料：「県家畜防疫対策課調」

2 家畜伝染病発生状況（主な監視伝染病）

(単位：頭,羽,群（口蹄疫・鳥インフルエンザの上段は殺処分頭羽数、下段は件数）)

病名	年次	H25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
口蹄疫		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヨーネ病（牛）		—	—	2	2	7	1	—	—	1	5	3	—
牛伝染性リンパ腫		64	56	115	101	122	137	160	166	206	184	171	133
牛ウイルス性下痢		—	—	1	4	9	15	16	5	3	13	—	1
豚流行性下痢		16	—	43	29	4	11	2	—	—	—	—	—
伝染性胃腸炎		—	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豚丹毒		19	18	31	32	31	21	24	17	15	23	43	14
高病原性鳥インフルエンザ		—	46,025 (2)	—	116,977 (1)	166,195 (1)	—	—	319,497 (9)	315,019 (3)	305,872 (2)	99,018 (1)	27,172 (1)
腐蛆病		2	5	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—

※H24以前に発生した監視伝染病（最終発生、頭羽数）

流行性脳炎（S58年、1頭）、結核病（S60年、1頭）、馬伝染性貧血（S54年、3頭）、豚コレラ（S55年、741頭）

ニューカッスル病（S57年、10,431羽）、ひな白痢（S53年、589羽）、口蹄疫（H22、297,808頭）

資料：「県家畜防疫対策課調」

3 予防接種実施状況

(単位:千頭)

ワクチン名	年度	H25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
牛呼吸器5種混合		62	60	57	42	39	39	44.1	62	63.2	63.5	61.6	58.9
牛呼吸器6種混合		—	—	—	—	0.2	0.1	0.2	0.004	0.013	0.168	0.18	0.17
牛呼吸器5種・ヘモ混合		—	—	—	18	23	24	18.6	—	—	—	—	—
牛ヘモフィルス・ソムナス		—	—	—	—	—	—	—	22.2	23.2	23.3	22.8	14.9
牛異常産3種混合		50	47	52	53	35	9.4	3.3	2.1	—	—	—	—
牛異常産4種混合		—	—	—	—	26	58	59.0	57.3	58.8	57.9	49.8	46.5
イバラキ病		23	22	21	22	23	23	24.4	25.7	25.2	25.4	25.0	24.0
牛流行熱・イバラキ病混合		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.068	0.059	0.1	0.06	0.1
炭疽		18	17	18	18	18	17	17.4	17.8	18	16.6	14.6	11.7
オースキー病		390	234	84	3.6	3.0	4.7	3.5	2.9	3.5	3.7	3.1	3.2
ARBP・豚丹毒		13	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豚丹毒		177	5.8	8.7	9.7	9.3	8.5	7.8	22.1	2	1.9	1.9	1.6

資料：「県家畜防疫対策課調」
「宮崎県畜産協会調」

4 県内の家畜人工授精成績 (県内で開設する家畜人工授精所のデータを集計)

(1) 肉用牛

(単位:頭)

年次	受胎成績					生産成績						備考	
	雌実頭数	受胎頭数	流死産頭数	不受胎頭数	不明頭数	受胎率	生産頭数	雄	雌	早産、生後へい死	生産率	双子	三子
	A	B	C	D	E	B/(A-E)	F+G+H	F	G	F+G+H/(A-E)			
R1	85,258	68,221	2,225	10,853	6,184	86%	66,504	33,949	31,940	615	84%	506	1
R2	87,857	70,014	2,285	12,228	5,615	85%	68,216	34,689	32,936	591	83%	485	1
R3	89,647	71,248	2,445	11,933	6,466	86%	69,283	35,623	32,984	676	83%	476	2
R4	86,504	68,555	2,268	11,101	6,848	86%	66,825	34,453	31,802	570	84%	530	4
R5	82,795	65,575	2,216	11,049	6,171	86%	63,940	32,684	30,608	648	83%	579	1

資料：「県家畜防疫対策課調」

(2) 乳用牛

(単位:頭)

年次	受胎成績					生産成績						備考	
	雌実頭数	受胎頭数	流死産頭数	不受胎頭数	不明頭数	受胎率	生産頭数	雄	雌	早産、生後へい死	生産率	双子	三子
	A	B	C	D	E	B/(A-E)	F+G+H	F	G	F+G+H/(A-E)			
R1	5,657	3,579	246	1,694	384	68%	3,404	1,530	1,800	74	65%	71	0
R2	5,231	3,321	208	1,562	348	68%	3,180	1,368	1,760	52	65%	67	0
R3	5,571	3,184	194	1,523	864	68%	3,069	1,310	1,701	58	65%	79	0
R4	5,442	3,029	194	1,354	1,059	69%	2,911	1,169	1,690	52	66%	76	0
R5	5,040	2,695	161	1,469	876	65%	2,595	1,035	1,493	67	62%	61	0

資料：「県家畜防疫対策課調」

5 令和7年度の家畜伝染病の発生

(1) 高病原性鳥インフルエンザ

令和7年11月22日に県内1例目となる高病原性鳥インフルエンザが日向市で発生し、翌年1月2日には延岡市で発生があった。

合計約5.4万羽の鶏を殺処分したほか、延べ5箇所の消毒ポイントの設置・運営や発生農場及び制限区域内の農場への支援など、様々な対策を実施した。

防疫作業では、県、地元市町に加え、JA、県建設業協会などの多くの関係団体・企業、国（国土交通省、農林水産省）等の御協力をいただき、発生農場等の防疫措置を迅速に完了することができた。

靴底消毒等に御協力いただいた県民の皆様を含め、関係するすべての皆様に感謝申し上げますとともに、引き続き緊張感を維持しながら、新たな発生を防止する取組を進めていく。

○防疫作業



○掘削作業



○埋却作業



○清掃・消毒作業



○防疫措置の完了



○消毒ポイントでの車両消毒



○ 高病原性鳥インフルエンザ防疫作業への対応状況について

項目	1 例目	2 例目
発生農場の概要	日向市 肉用鶏 約4.8万羽	延岡市 肉用種鶏 約0.6万羽
発生確認 ・通報 ・簡易検査 ・PCR検査 ・疑似患畜確定	11/21(金) 11:30 11/21(金) 13:30、15:20 11/22(土) 6:00 11/22(土) 8:00	1/1(木) 15:30 1/1(木) 18:40 1/2(金) 13:00 1/2(金) 15:00
防疫措置 ・防疫措置開始 ・殺処分終了 ・防疫措置完了	11/22(土) 8:00 11/22(土) 22:10 11/23(日) 11:00	1/2(金) 15:00 1/2(金) 22:05 1/2(金) 23:35
農場防疫動員数	延べ480名 県建設業協会 62名 企業・団体 49名 市職員 5名 県職員 364名	延べ 119名 県建設業協会 5名 J Aグループ 16名 企業・団体 3名 人材派遣 18名 市職員 3名 県職員 74名
区域内農場数 ・移動制限 ・搬出制限	計 58農場 約 233.5万羽 9農場 約 59.2万羽 49農場 約 174.3万羽	計 8農場 約 24.1万羽 0農場 8農場 約 24.1万羽
消毒ポイント ・設置箇所数 ・作業数	4 か所 延べ 363名 市職員(日向市・門川町) 34名 委託業者等 186名 県職員 143名	1 か所 延べ 69名 市職員(延岡市) 6名 委託業者等 43名 県職員 20名
発生状況確認 検 査	令和7年11月22日 移動制限区域内(空舎を除く) 8農場 陰性	—
清浄性確認 検 査	令和7年12月4日 移動制限区域内(空舎を除く) 8農場 陰性	—
搬出制限区域 解除 検 査	令和7年12月4日 搬出制限区域内(抽出) 8農場 陰性	令和8年1月13日 搬出制限区域内(抽出) 5農場 陰性
搬出制限区域 解 除	令和7年12月4日 14時 消毒ポイント3か所終了	令和8年1月13日 13時 全ての消毒ポイント終了
移動制限区域 解 除	令和7年12月15日 0時 全ての消毒ポイント終了	令和8年1月24日 0時
監視強化区域 解除 検 査	令和7年12月22日 監視強化区域内(抽出) 9農場 陰性	令和8年1月31日 監視強化区域内(抽出) 5農場
監視強化区域 解 除	令和7年12月22日 0時 (10km内)	令和8年2月1日 0時 (10km内)

(2) 豚熱

令和7年4月11日、県内で初となる野生イノシシでの豚熱（CSF）感染が確認された。このことを受け、県では直ちに「宮崎県豚熱対策本部」を設置し、野生イノシシにおける感染拡大防止と飼養豚への感染阻止に向けた緊急対策を講じた。

主な対策として、経口ワクチンの散布、イノシシの捕獲及び検査体制の強化、県民への啓発を実施しているが、特に、本県は全国有数の養豚地帯であることから、農場へのウイルス侵入を防止するため、飼養衛生管理基準の遵守徹底と、飼養豚への適時適切なワクチン接種を加速させている。

野生イノシシの陽性事例は、県内の広範囲に及んでおり、依然として厳しい状況が続いている。関係機関や狩猟者団体と緊密に連携しながら、ウイルスの拡散を最小限に食い止めるための「封じ込め対策」を継続し、本県養豚業を守り抜く取組を強化していく。

①オール宮崎での体制整備

経口ワクチン散布

- ◆ 散布実施計画案
- ◆ 散布日、散布地点の決定
- ◆ 経口ワクチン・資材の調整

農業普及技術課 畜産振興課
家畜防疫対策課 畜産協会

- ◆ 散布候補地点の選定
- ◆ ワクチンの散布

支庁・振興局 市町村
猟友会 森林管理署

野性イノシシ対応

- ◆ 感染確認区域をハンターマップへ記載
- ◆ 捕獲重点エリアの設定

自然環境課 家畜防疫対策課

- ◆ 野性イノシシの捕獲
- ◆ イノシシのウイルス検査

家畜保健衛生所 猟友会
宮崎大学

ジビエ対応

- ◆ ジビエ処理施設への連絡・指導

衛生管理課

②啓発活動

- ◆ ホームページ

サーベイランスの検査成績を週1回掲載

- ◆ 防災メール

野生イノシシでの陽性が確認された際はメールを発信

- ◆ テレビ・ラジオ

病気の性質だけでなく個人でできる感染拡大防止対策についても紹介

- ◆ ポスター・ステッカー

『キャンプ場』や『登山道』に設置



ポスター



ステッカー

➡ **生産者、関係者だけでなく県民にも広く周知**

野生イノシシにおける豚熱サーベイランス検査成績について (令和7年4月～)

令和8年3月26日
畜産局家畜防疫対策課

【イノシシ捕獲・発見地点】

令和8年3月26日現在

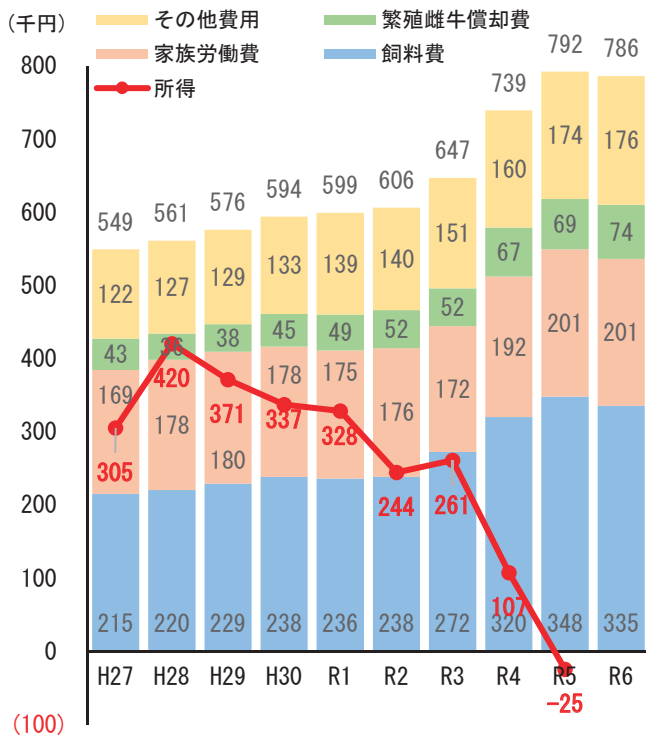
- : 陽性 95頭
- : 陰性 864頭

豚熱経口ワクチン
散布区域

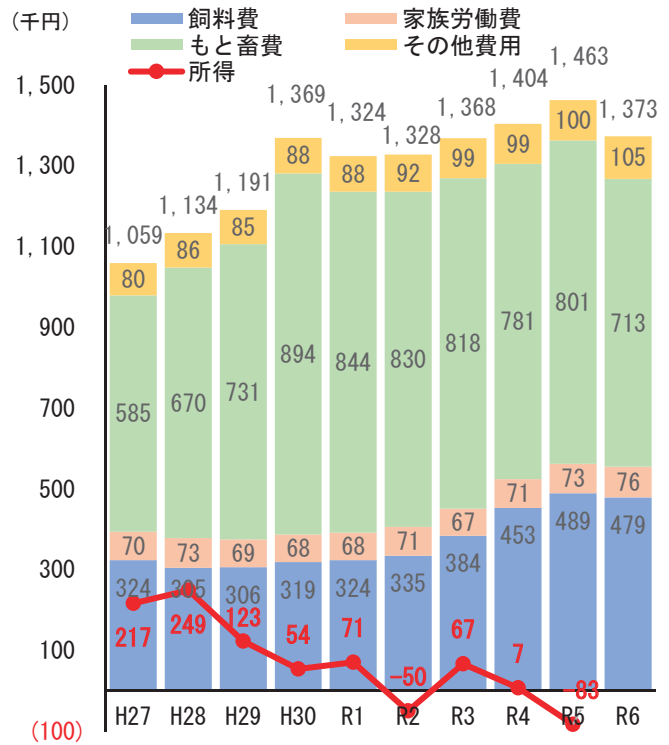


Ⅶ 生産費と所得の推移（全国）

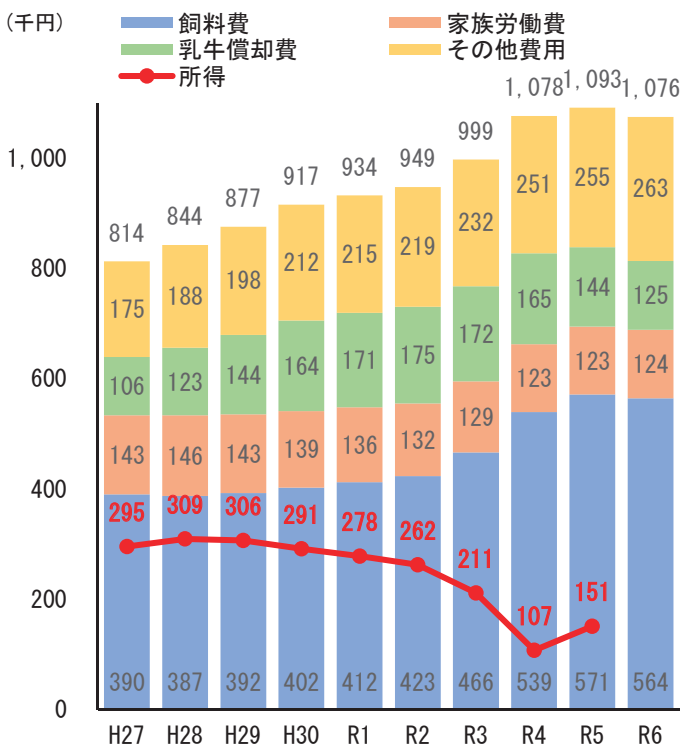
(1) 子牛の生産費（子牛1頭当たり）と所得（繁殖雌牛1頭当たり）の推移



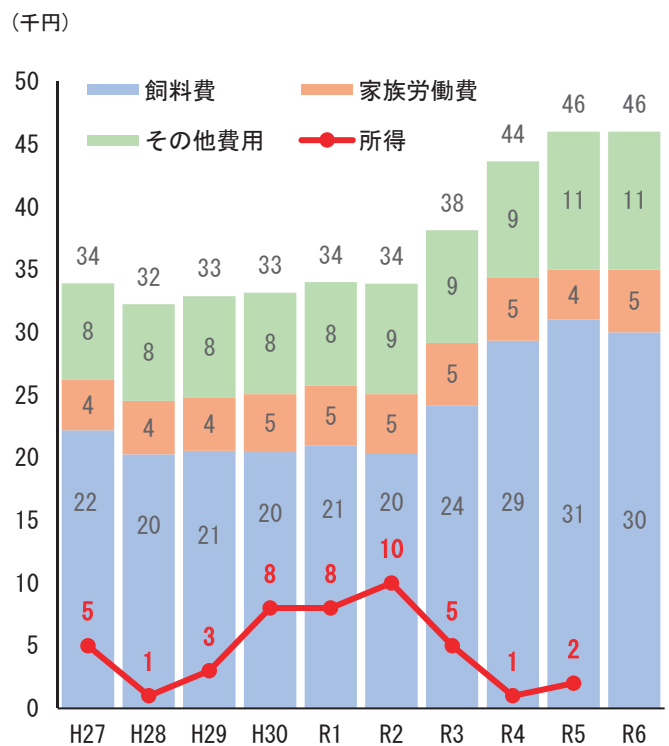
(2) 肥育牛生産費と所得の推移（去勢肥育牛1頭当たり）



(3) 生乳生産費と所得の推移（搾乳牛通年換算1頭当たり）



(4) 肥育豚生産費と所得の推移（肥育豚1頭当たり）

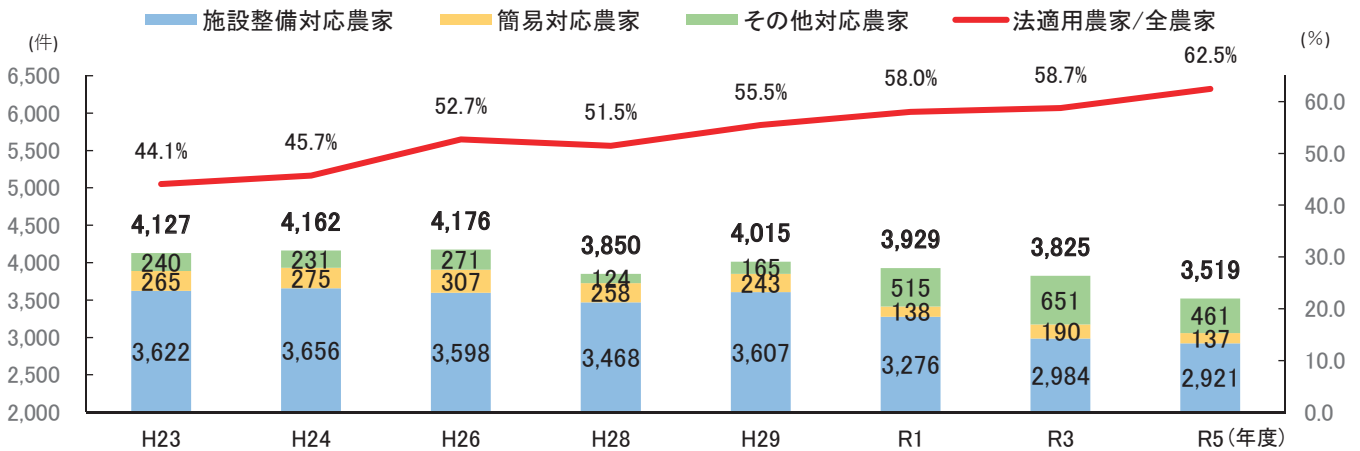


資料：農林水産省「経営統計 畜産物生産費統計」

VIII 環境保全

1 家畜排せつ物法管理基準適用農家の状況

家畜排せつ物法適用農家のうち、8割以上が施設整備による対応で、残り2割が簡易対応とその他対応である。全農家に占める法適用農家の割合は増加傾向にある。



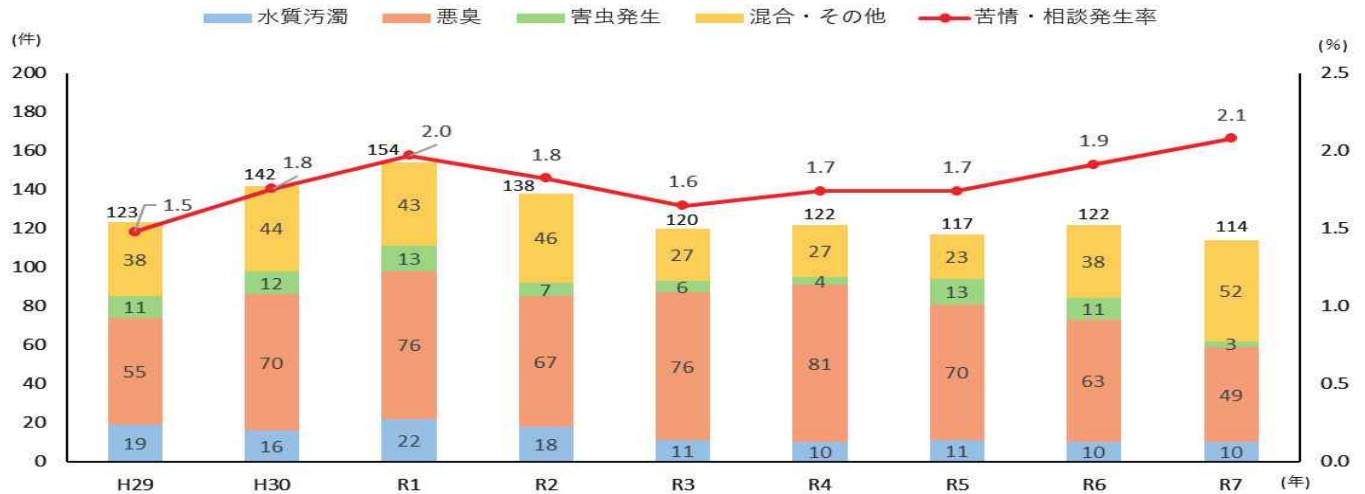
資料：「県畜産振興課調」

※H25・H27・H30・R2は調査未実施のためデータなし

2 畜産環境苦情・相談件数

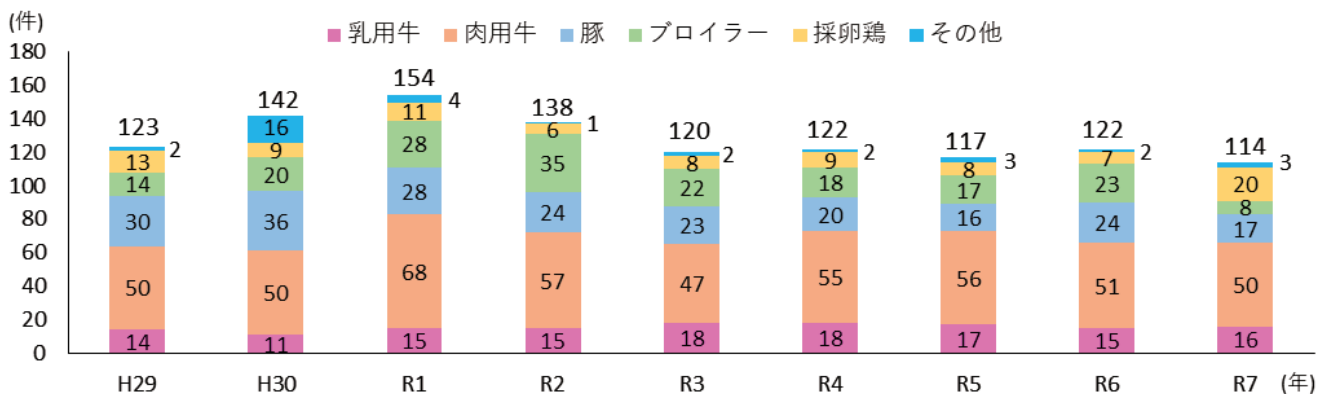
混合・その他が約46%、次いで悪臭関係が約43%、水質汚濁が約9%である。全農家に対する苦情・相談発生率は、昨年と比較すると増加している。畜種別にみると、肉用牛に関するものが最も多い。

(1) 種類別件数の推移



資料：「県畜産振興課調」、「畜産統計」

(2) 畜種別件数の推移



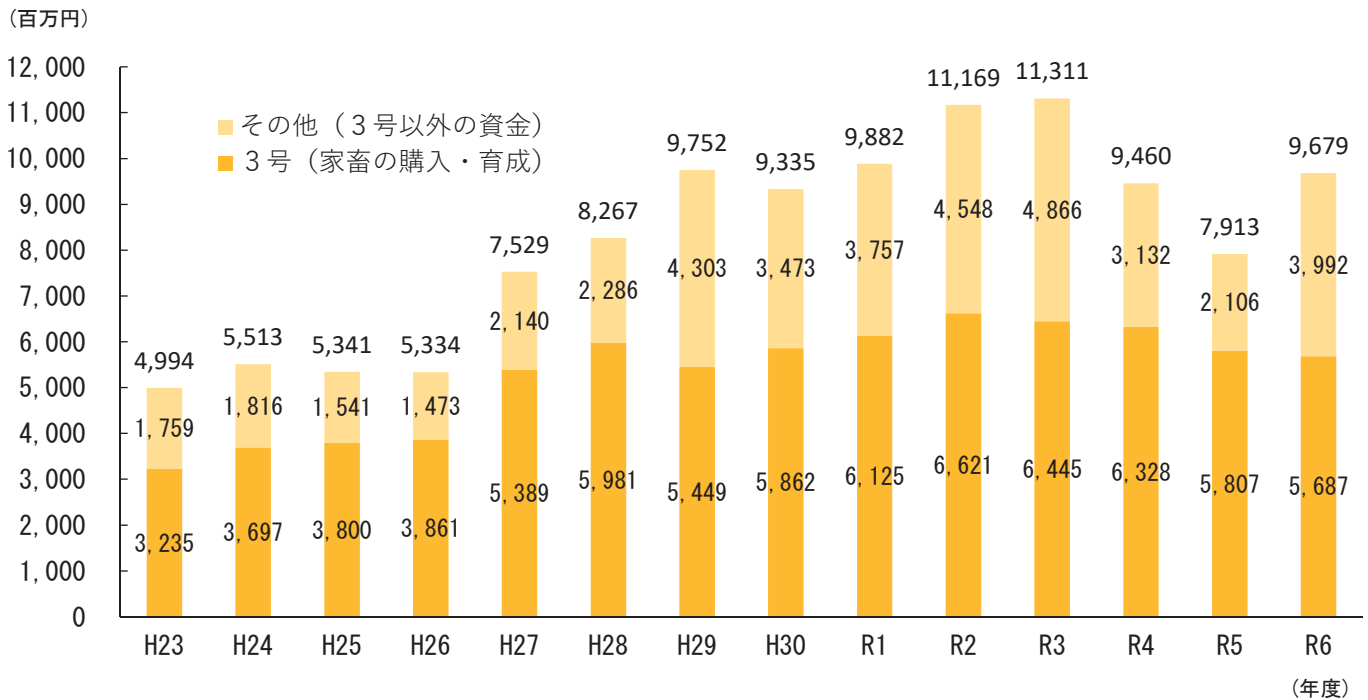
資料：「県畜産振興課調」

Ⅸ 畜産金融

畜産経営に関する資金融資（利子補給承認実績）

1 農業近代化資金

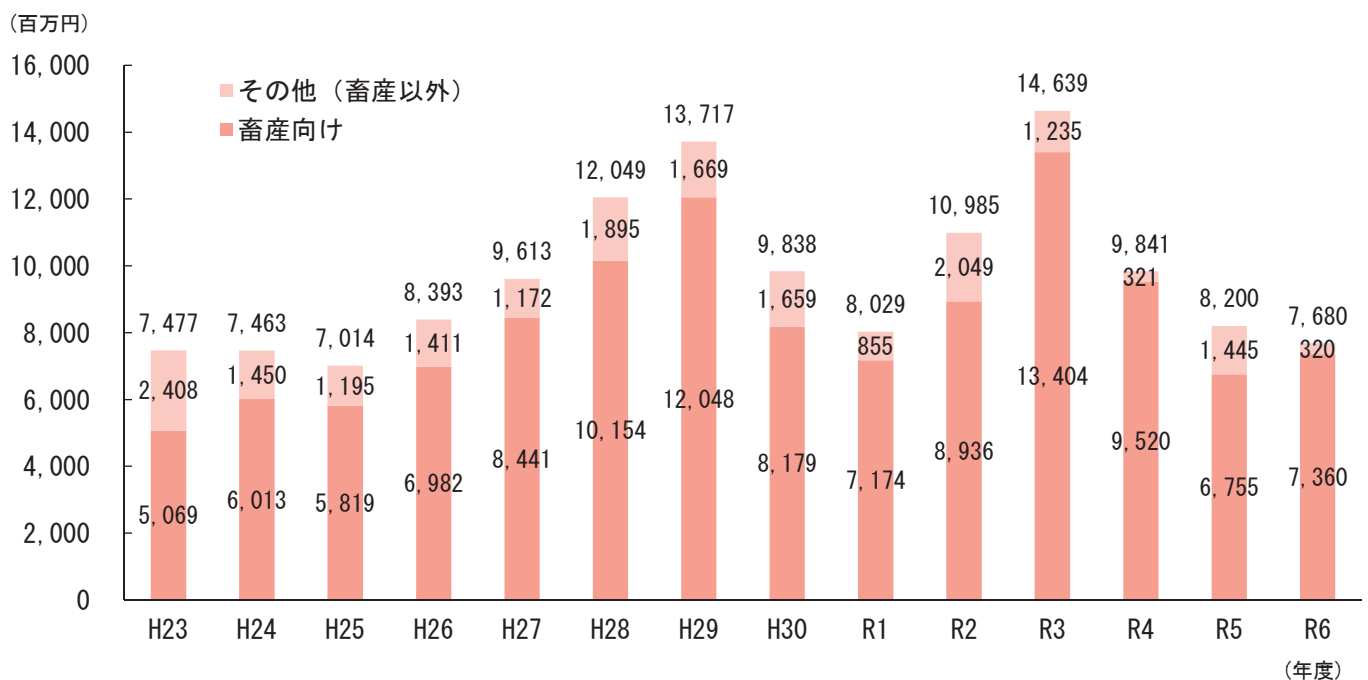
令和6年度は、主に肥育素牛の導入に利用される3号資金（家畜の購入・育成に係る資金）が約57億円となっており、融資額全体の約6割を占めている。



資料：「県農業普及技術課調」

2 スーパーL資金（農業経営基盤強化資金）

全体の融資額は令和4年度から減少傾向にあるが、令和6年度は、大型の設備投資を行う経営体があったこと等から、畜産向けの融資額は増加した。



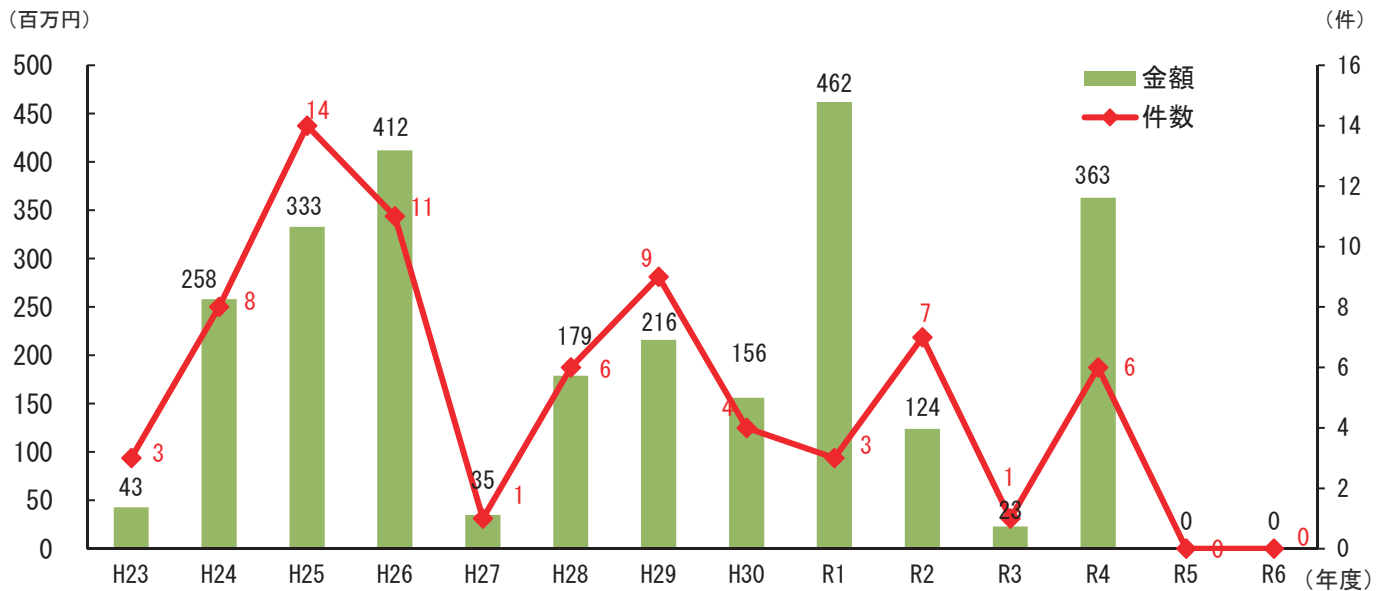
資料：「日本政策金融公庫宮崎支店調」

3 畜産特別資金

平成22年度は口蹄疫の影響で金額及び件数が増加し、平成25年度及び平成26年度は一括借換えが可能な資金の貸付実施により金額及び件数が増加した。

令和4年度は、国際情勢や円安等の影響により、配合飼料価格等の高騰が続いたことから、貸付件数が増加したものの、近年は10件以下で推移している。

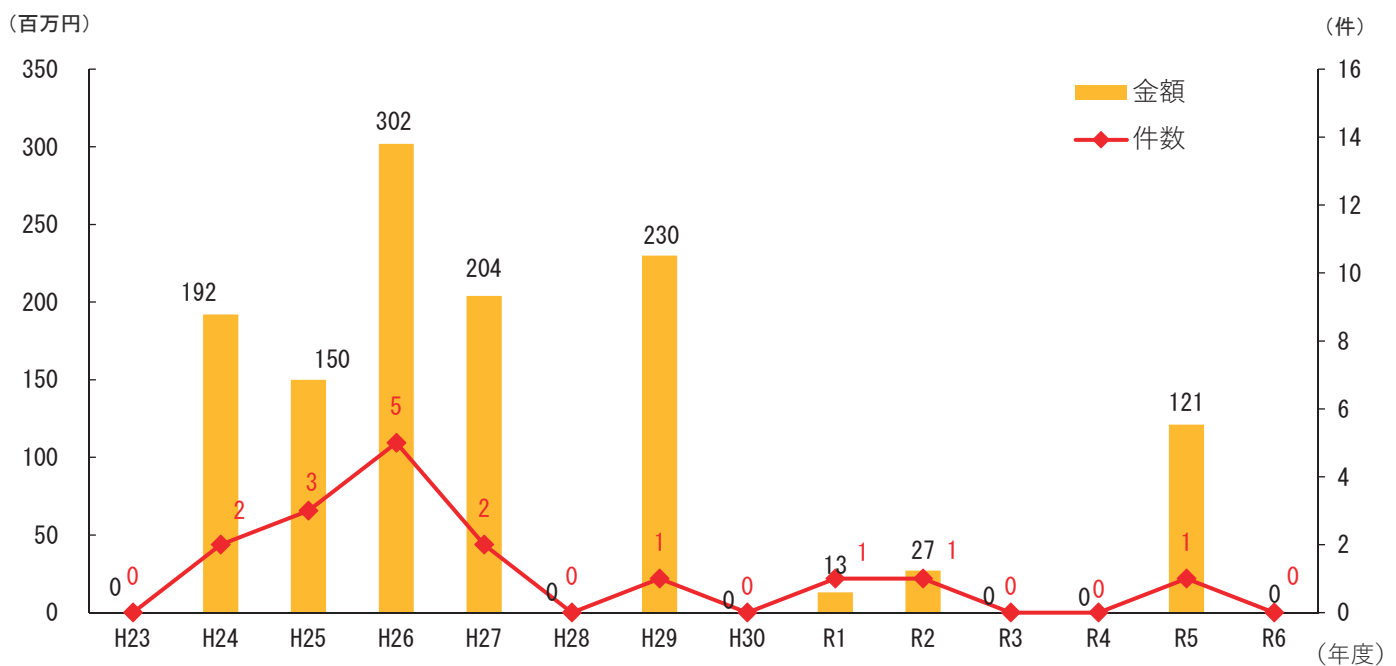
(1) 大家畜



※平成22年度は畜産経営維持緊急支援資金含む
 ※平成25・26・27年度は畜産経営改善緊急支援資金含む

資料：「県畜産振興課調」

(2) 養豚



※平成22年度は畜産経営維持緊急支援資金含む
 ※平成25・26年度は畜産経営改善緊急支援資金含む

資料：「県畜産振興課調」

X 試験研究

令和8年度 畜産試験場実施試験課題一覧

【肉用牛部】	
(1)	競争力を高める肥育牛生産体系の開発に関する研究(2025～2028)
(2)	持続的な繁殖経営のための飼養管理技術の検討(2025～2027)
(3)	宮崎牛の「おいしさ」探求試験(2025～2027)
(4)	ゲノミック評価を用いた交配予測ツールの開発及び交配予測ツールを活用した肉用牛の産肉能力の検証(2026～2028)
【酪農飼料部】	
(1)	乳用牛における暑熱対策技術の確立(2026～2028)
(2)	搾乳ロボットを活用した乳用牛の暑熱ストレスと環境負荷低減技術の実証(2024～2026)
(3)	新たな高栄養飼料作物の生産技術の開発(2024～2026)
(4)	子実用トウモロコシ栽培におけるドローンを用いた殺虫作業効果の検証(2025～2026)
(5)	飼料作物の優良品種選定試験(1982～)
(6)	粗飼料分析指導事業(1985～)
【家畜バイテク部】	
(1)	経産受卵牛の子宮内環境改善による受胎率向上試験(2025～2027)
(2)	黒毛和種供胚牛の採胚成績向上(2024～2026)
(3)	簡便かつ効率的な乳用牛における暑熱対策技術の開発(2025～2026)
(4)	体外胚生産における媒精時間短縮の検討(2026～2027)
【川南支場 養豚科】	
(1)	省力的で生産性の高い養豚経営に向けた技術開発・実証試験(2024～2026)
【川南支場 養鶏科】	
(1)	みやざき地頭鶏の新たな生産技術の開発(2025～2029)
(2)	みやざき地頭鶏種鶏群素ひな供給能力向上(2024～2028)
【川南支場 環境衛生科】	
(1)	持続可能な畜産環境対策技術確立試験(2026～2028)
(2)	IoTとBODバイオセンサーを活用した省力・省エネ型の畜産排水処理(2025～2026)



【宮崎牛の「おいしさ」探求試験】

新しい装置により枝肉切開面の画像を解析し、脂肪割合やサシの形状等を評価することで、宮崎牛の新たな「おいしさ」評価技術の確立を目指しています。(肉用牛部(3))



【新たな高栄養飼料作物の生産技術の開発】

栄養価の高い粗飼料生産を目指し、飼料用ダイズとテフグラスの混播による高タンパク飼料の栽培に取り組んでいます。(酪農飼料部(3))



【簡便かつ効率的な乳用牛における暑熱対策技術の開発】

暑熱期の冷水給与が搾乳牛に及ぼす影響を調査し、より効果的な暑熱対策について検討しています。（家畜バイオテク部（3））



【省力的で生産性の高い養豚経営に向けた技術開発・実証試験】

豚の効率的な生産を目指して、豚の健康管理を省力化するための装置を大学等と連携して開発しています。（川南支場養豚科（1））



【みやざき地頭鶏種鶏群素ひな供給能力向上】

高能力な種鶏を供給するために、既存系統の維持・増殖・改良を行うとともに能力の高い新たな種鶏系統の作出を行っています。（川南支場養鶏科（2））



【IoTとBODバイオセンサーを活用した省力・省エネ型の畜産排水処理】

養豚排水処理における「BODシステム」及び「スマート汚泥管理システム」を活用した高度な処理方法や省力化の実証を行っています。（川南支場環境衛生科（2））

【温暖化対策トピックス】

近年の温暖化に伴う、夏季の記録的な暑さによる生産性の低下や計画的飼料生産の難しさ等が大きな課題となってきました。

そこで、温暖化対策試験の一例を紹介します。

- ◆ 新たな品種の活用（極早生品種による作期分散）
- ◆ 畜舎環境の改善や畜体散水による冷却
- ◆ 添加剤（甘味料）による生産性の改善
- ◆ 体内環境の改善



【新たな品種の活用】



【遮熱シートの活用】



【甘味料の給与】



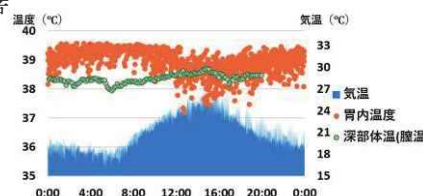
【クーリングパッドの活用】



【環境制御可能な畜舎】



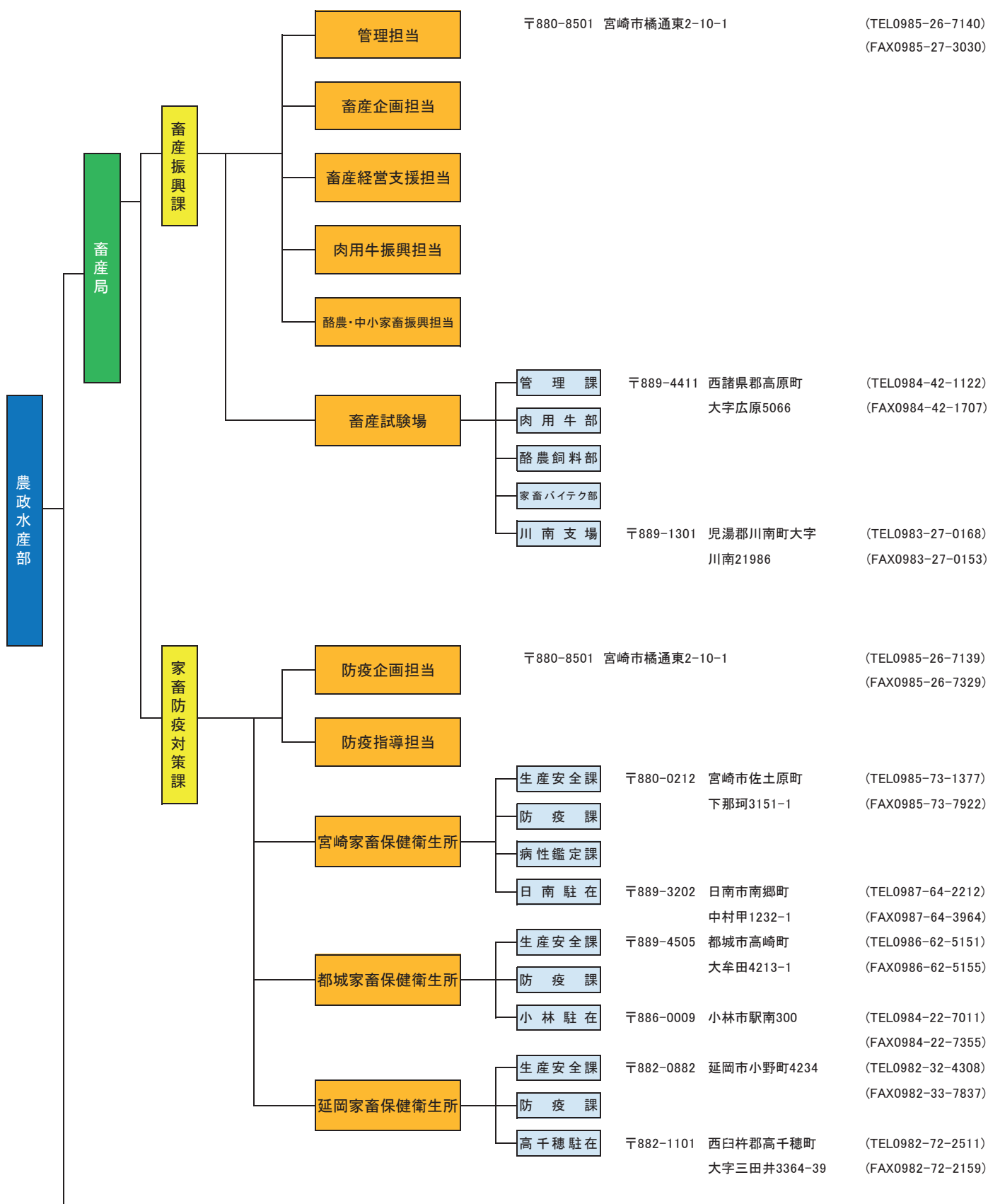
【体内環境測定機器】

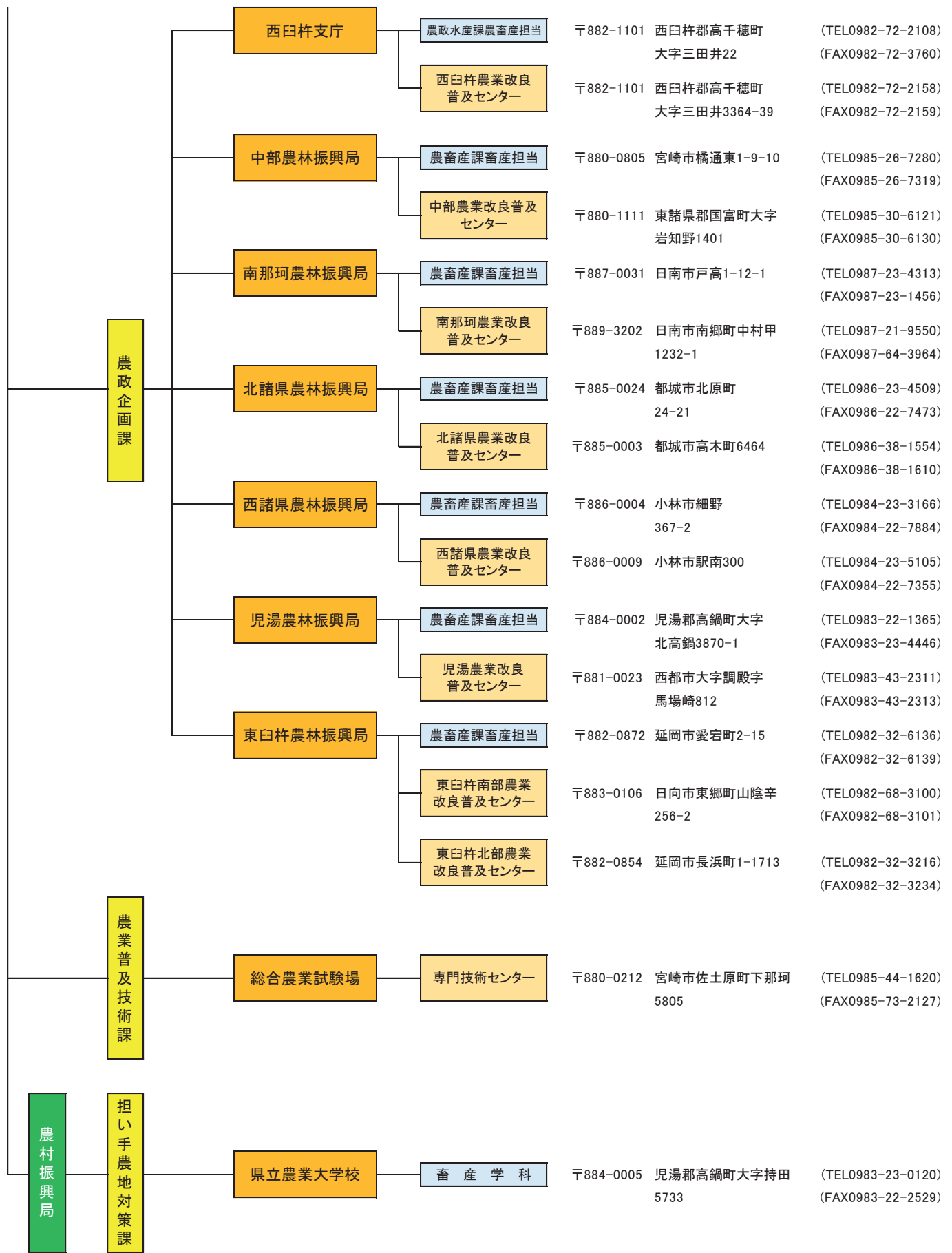


【体内環境のモニタリング】

XI 資料編

1 県の畜産関係組織図（令和8年4月現在）





2 県内畜産関係団体（令和8年4月現在）

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
(公 社) 宮 崎 県 畜 産 協 会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-41-9300	0985-24-3772
(公 社) 全 国 和 牛 登 録 協 会 宮 崎 県 支 部	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-24-2211	0985-24-0963
(一 社) 宮 崎 県 獣 医 師 会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-24-7532	0985-24-5995
(一 社) 宮 崎 県 養 鶏 協 会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-29-4375	0985-29-5418
(一 社) 宮 崎 県 家 畜 改 良 事 業 団	884-0005	児湯郡高鍋町大字持田5734	0983-22-3020	0983-22-3016
(公 社) 宮 崎 県 農 業 振 興 公 社	880-0913	宮崎市恒久1丁目7番地14	0985-51-2011	0985-51-8006
(一 社) 宮 崎 県 配 合 飼 料 価 格 安 定 基 金 協 会	880-0901	宮崎市東大淀1丁目1番地41ナップビル 4階	0985-52-2359	0985-52-6594
全 国 共 済 農 業 協 同 組 合 連 合 会 宮 崎 県 本 部	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2202	0985-31-5821
宮 崎 県 農 業 共 済 組 合	880-0877	宮崎市宮脇町118	0985-27-4288	0985-23-9636
宮 崎 県 農 業 共 済 組 合 生 産 獣 医 療 セ ン タ ー	889-1406	児湯郡新富町大字新田18802-3	0983-35-1116	0983-35-1137
宮 崎 県 農 業 経 営 体 支 援 セ ン タ ー	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2125	0985-31-5761
宮 崎 県 養 蜂 組 合	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産協会内	0985-41-9302	0985-24-3772
(一 社) 宮 崎 県 レ イ ヤ ー 協 会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-41-8855	0985-41-8850
み や ざ き 地 頭 鶏 事 業 協 同 組 合	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-77-5566	0985-77-5567
宮 崎 県 食 肉 事 業 協 同 組 合	880-0834	宮崎市新別府町雀田1185番地 中央卸売市場内	0985-24-8022	0985-28-8429
宮 崎 県 家 畜 商 業 協 同 組 合 (都 城 一 般 家 畜 市 場)	885-0004	都城市都北町7294番地	0986-38-0020	0986-38-4796
宮 崎 県 農 業 信 用 基 金 協 会	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2241	0985-31-5837
日 本 政 策 金 融 公 庫 宮 崎 支 店 農 林 水 産 事 業	880-0805	宮崎市橘通東3丁目6番地30	0985-29-6811	0985-28-3387
宮 崎 県 農 業 会 議	880-0913	宮崎市恒久1丁目7番地14	0985-73-9211	0985-52-1102
宮 崎 県 農 業 再 生 協 議 会	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1 県中央会農政課内	0985-31-2030	0985-31-5727
宮 崎 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会	884-0005	児湯郡高鍋町大字持田5734番地 家畜改良事業団内	0983-22-3020	0983-22-3016
宮 崎 県 乳 業 協 会	885-0073	都城市姫城町32街区3号 南日本酪農共同(株)内	0986-23-3457	0986-25-6033
宮 崎 県 牛 乳 普 及 協 会	880-8556	宮崎市霧島1丁目1番地1 県経済連内	0985-31-2128	0985-31-5761
宮 崎 県 農 業 協 同 組 合 霧 島 集 乳 事 業 所	889-4412	西諸県郡高原町大字西麓3241番地	0984-25-6700	0984-25-6701
(独) 家 畜 改 良 セ ン タ ー 宮 崎 牧 場	886-0004	小林市細野5157番地29	0984-23-3500	0984-24-0953
(一 社) 宮 崎 県 農 業 法 人 経 営 者 協 会	880-0913	宮崎市恒久1丁目7番地14	0985-73-9211	0985-52-1102
宮 崎 県 農 業 協 同 組 合 本 店 酪 農 飼 料 部	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2128	0985-31-5765
宮 崎 県 農 業 協 同 組 合 本 店 肉 用 牛 部	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2256	0985-31-5780
宮 崎 県 農 業 協 同 組 合 本 店 養 豚 部	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2233	0985-31-5711
宮 崎 県 農 業 協 同 組 合 宮 崎 中 央 地 区 本 部 畜 産 部	880-2231	宮崎市大字系原305	0985-47-3730	0985-48-6571
宮 崎 県 農 業 協 同 組 合 綾 町 地 区 本 部 経 済 部 畜 産 課	880-1303	東諸県郡綾町大字南俣480番地1	0985-77-3328	0985-77-4200

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
宮崎県農業協同組合 はまゆう地区本部 畜産部	889-3532	串間市大字大平5677番地	0987-74-2000	0987-74-2001
宮崎県農業協同組合 串間市大東地区本部 営農部	889-3531	串間市大字奈留5237番地1	0987-74-2564	0987-74-2565
宮崎県農業協同組合 都城地区本部 畜産部	885-0003	都城市高木町6222番地1	0986-38-8781	0986-22-9840
宮崎県農業協同組合 こばやし地区本部 畜産部	886-8520	小林市細野1321番地	0984-23-1316	0984-23-7876
宮崎県農業協同組合 えびの市地区本部 畜産課	889-4311	えびの市大字大明司1061番地1	0984-33-5747	0984-33-5752
宮崎県農業協同組合 西都地区本部 畜産課	881-8567	西都市大字右松2071番地	0983-43-3113	0983-43-3320
宮崎県農業協同組合 児湯地区本部 畜産部	889-1406	児湯郡新富町大字新田16395	0983-35-1133	0983-35-1178
宮崎県農業協同組合 尾鈴地区本部 畜産部	889-1301	児湯郡川南町大字川南13658番地1	0983-27-1600	0983-27-5226
宮崎県農業協同組合 日向地区本部 畜産課	883-0033	日向市塩見11974番地1	0982-52-6217	0982-53-2320
宮崎県農業協同組合 延岡地区本部 畜産振興課	882-0033	延岡市川原崎町281番地1	0982-23-1893	0982-23-1861
宮崎県農業協同組合 高千穂地区本部 畜産部	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井883番地1	0982-72-2470	0982-72-5974
宮 崎 中 央 家 畜 市 場	880-2101	宮崎市大字跡江字土手外198	0985-47-3730	0985-47-4705
南 那 珂 地 域 家 畜 市 場	889-3532	串間市大字大平5677	0987-74-2000	0987-74-2001
都 城 地 域 家 畜 市 場	885-0004	都城市都北町7242	0986-38-1518	0986-38-4499
小 林 地 域 家 畜 市 場	886-0005	小林市南西方1112番地	0984-23-4128	0986-24-0045
児 湯 地 域 家 畜 市 場	889-1406	児湯郡新富町大字新田字北畦原21696-1	0983-35-1231	0983-35-1233
延 岡 家 畜 市 場	889-0514	延岡市櫛津町3060	0982-37-3200	0982-37-3205
高 千 穂 家 畜 市 場	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井883-1	0982-72-2470	0982-72-5974
宮崎県乳用牛肥育事業農業協同組合	880-0833	宮崎市昭栄町53番地	0985-26-2324	0985-23-7351
串 間 酪 農 業 協 同 組 合	888-0004	串間市大字串間811番地	0987-72-3048	0987-72-4291
宮 崎 県 南 部 酪 農 業 協 同 組 合	885-0061	都城市下長飯町2351番地2	0986-23-3455	0986-23-3499
霧 島 ビ ー フ 農 業 協 同 組 合	886-0005	小林市南西方8088	0984-24-0015	0984-24-0035
児 湯 養 鶏 農 業 協 同 組 合	889-1401	児湯郡新富町大字日置2930番地	0983-33-2141	0983-33-1583
宮 崎 環 境 保 全 農 業 協 同 組 合	889-1301	児湯郡川南町大字川南4591番地4	0983-27-5860	0983-27-5897
(株) ミ ヤ チ ク	889-4505	都城市高崎町大牟田4251番地3	0986-62-2901	0986-62-5529
(株) ミ ヤ チ ク 都 農 工 場	889-1201	児湯郡都農町大字川北15530	0983-25-1188	0983-25-0165
(株) S E ミ ー ト 宮 崎	881-0001	西都市岡富1500	0983-43-2900	0983-32-0429
南 日 本 酪 農 協 同 (株)	885-0073	都城市姫城町32街区3号	0986-23-3456	0986-26-3457
宮 崎 く み あ い チ キ ン フ ー ズ (株)	880-0943	宮崎市生目台西3丁目2-2	0985-89-6160	0985-89-6165
南 国 興 産 (株)	885-1311	都城市高城町有水1941番地	0986-53-1041	0986-53-1850
宮 崎 県 指 定 種 豚 場 協 会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産協会内	0985-41-9302	0985-24-3772
宮 崎 県 コ ン ト ラ ク タ ー 等 協 議 会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産協会内	0985-41-9303	0985-24-3772

3 統計表

(1) 肉用牛の飼養戸数・頭数（令和7年2月1日現在）

（単位：戸、頭）

全国農業地域 都道府県	飼養戸数		乳用種 の戸 いる 数	飼 養 用 頭 数							乳 用 種		1戸当たり 飼養頭数
	飼養戸数	順位		合 計		肉 用 種			合 計		交 雑 種		
				合 計	順位	合 計	子取り用 めす牛	肥育用牛	育 成 牛	合 計			
全 国	34,000	-	3,860	2,595,000	-	1,851,000	611,400	833,600	406,200	743,800	559,400	76.3	
（全国農業地域）													
北 海 道	2,030	-	800	544,700	-	211,200	68,800	69,500	72,900	333,500	193,400	268.3	
都 府 県	32,000	-	3,060	2,050,000	-	1,640,000	542,600	764,100	333,400	410,300	366,000	64.1	
東 北	8,110	-	577	318,500	-	264,300	90,200	118,400	55,700	54,200	44,300	39.3	
北 陸	289	-	93	20,500	-	13,000	2,900	8,130	1,960	7,540	6,930	70.9	
関 東・東 山	2,260	-	730	279,000	-	156,900	33,300	98,700	25,000	122,100	105,100	123.5	
東 海	934	-	330	123,400	-	79,000	13,900	57,600	7,490	44,400	41,900	132.1	
近 畿	1,210	-	109	91,700	-	79,000	21,900	47,400	9,720	12,600	12,200	75.8	
中 国	1,810	-	232	127,000	-	79,200	27,300	38,600	13,400	47,800	42,800	70.2	
四 国	530	-	175	58,700	-	30,700	7,610	19,900	3,180	28,000	26,800	110.8	
九 州	14,800	-	739	956,300	-	863,400	304,100	368,600	190,800	92,900	85,300	64.6	
沖 縄	2,060	-	71	75,300	-	74,600	41,500	6,850	26,200	790	710	36.6	
（都道府県）													
北 海 道	2,030	6	800	544,700	1	211,200	68,800	69,500	72,900	333,500	193,400	268.3	
青 森	651	13	123	51,700	12	31,400	12,700	13,200	5,570	20,300	13,500	79.4	
岩 手	2,910	3	153	81,800	7	67,000	27,000	20,800	19,100	14,800	13,100	28.1	
宮 城	2,180	4	121	76,100	8	66,600	23,800	27,400	15,400	9,480	8,510	34.9	
秋 田	529	15	47	17,600	32	16,300	5,860	6,430	3,990	1,370	1,260	33.3	
山 形	501	16	38	43,300	17	41,700	8,040	30,900	2,740	1,690	1,610	86.4	
福 島	1,330	9	95	47,900	16	41,300	12,800	19,700	8,860	6,620	6,260	36.0	
茨 城	384	20	89	51,000	13	32,600	4,180	25,500	2,930	18,400	13,600	132.8	
栃 木	715	12	163	83,500	6	46,400	12,900	22,100	11,500	37,100	31,600	116.8	
群 馬	433	18	191	55,100	11	33,000	7,400	20,900	4,710	22,100	21,300	127.3	
埼 玉	105	35	51	17,300	33	12,000	2,200	8,740	1,100	5,280	3,300	164.8	
千 葉	210	27	114	40,600	19	11,800	2,200	7,140	2,470	28,800	25,600	193.3	
東 京	19	46	2	580	47	510	150	290	70	70	50	30.5	
神 奈 川	46	41	25	4,710	40	2,180	340	1,630	220	2,530	2,490	102.4	
新 潟	164	28	41	11,500	35	6,120	1,500	3,800	830	5,400	4,900	70.1	
富 山	32	45	16	3,820	41	2,430	730	1,340	360	1,380	1,300	119.4	
石 川	57	39	23	3,360	43	3,100	480	2,030	590	260	240	58.9	
福 井	36	44	13	1,830	45	1,340	190	960	190	490	480	50.8	
山 梨	56	40	23	5,150	38	2,500	780	1,390	340	2,650	2,510	92.0	
長 野	292	25	72	21,000	30	15,800	3,160	11,000	1,660	5,120	4,720	71.9	
岐 阜	398	19	45	33,000	21	31,100	8,090	18,000	5,000	1,870	1,830	82.9	
静 岡	96	36	52	19,000	31	7,540	1,070	6,030	430	11,500	11,300	197.9	
愛 知	306	23	210	40,900	18	13,400	3,310	8,810	1,230	27,600	25,400	133.7	
三 重	134	32	23	30,500	23	27,000	1,430	24,700	820	3,550	3,410	227.6	
滋 賀	82	37	20	22,300	26	19,100	2,100	16,600	430	3,210	3,080	272.0	
京 都	61	38	9	5,070	39	4,660	660	3,560	440	410	380	83.1	
大 阪	9	47	2	760	46	590	80	510	-	170	160	84.4	
兵 庫	976	10	46	57,200	10	49,200	18,000	23,000	8,210	8,010	7,780	58.6	
奈 良	37	43	20	3,560	42	2,980	400	2,270	310	580	560	96.2	
和 歌 山	42	42	12	2,680	44	2,450	690	1,440	330	230	230	63.8	
鳥 取	219	26	48	21,500	28	13,300	4,690	7,020	1,630	8,180	5,390	98.2	
島 根	591	14	40	31,600	22	25,000	9,140	11,300	4,600	6,540	6,280	53.5	
岡 山	338	22	79	33,800	20	16,200	5,240	8,270	2,670	17,600	16,300	100.0	
広 島	366	21	38	26,300	24	14,300	4,340	7,290	2,640	12,000	11,700	71.9	
山 口	297	24	27	13,800	34	10,400	3,840	4,690	1,840	3,380	3,070	46.5	
徳 島	157	29	66	21,900	27	10,500	2,390	7,070	1,020	11,400	11,000	139.5	
香 川	139	31	58	21,200	29	9,150	1,680	6,600	870	12,100	12,000	152.5	
愛 媛	128	33	36	9,540	36	5,930	1,600	3,570	760	3,620	2,900	74.5	
高 知	106	34	15	6,050	37	5,110	1,940	2,640	530	940	910	57.1	
福 岡	157	29	48	22,700	25	14,900	2,780	11,500	670	7,810	6,500	144.6	
佐 賀	478	17	24	50,800	14	49,400	9,640	35,200	4,550	1,430	1,390	106.3	
長 崎	1,830	8	73	91,100	5	76,800	29,500	25,800	21,500	14,300	13,700	49.8	
熊 本	1,900	7	229	133,200	4	111,100	43,200	41,700	26,300	22,100	20,600	70.1	
大 分	897	11	75	49,800	15	40,700	17,200	14,200	9,270	9,070	7,470	55.5	
宮 崎	4,000	2	155	248,400	3	220,600	80,900	83,900	55,900	27,800	25,600	62.1	
鹿 児 島	5,530	1	135	360,400	2	349,900	120,800	156,400	72,700	10,400	10,000	65.2	
沖 縄	2,060	5	71	75,300	9	74,600	41,500	6,850	26,200	790	710	36.6	

※「X」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
「-」：事実のないもの

資料：農林水産省「畜産統計」

(2) 乳用牛の飼養戸数・頭数（令和7年2月1日現在）

（単位：戸、頭）

全国農業地域 都道府県	飼養戸数		飼 養 頭 数 (め す)									1戸当たり 飼養頭数
	飼養戸数	順位	合 計		成 畜 (2 歳 以 上)				2 歳 未 満 (未 経 産 牛)	未 経 産 牛 計		
			合 計	順位	産 牛							
					小 計	搾 乳 牛	乾 乳 牛	未 経 産 牛				
全 国	11,300	-	1,293,000	-	881,400	820,100	696,700	123,400	61,200	411,600	472,800	114.4
(全国農業地域)												
北 海 道	4,970	-	816,800	-	505,200	470,500	397,500	72,900	34,700	311,600	346,300	164.3
都 府 県	6,350	-	476,200	-	376,200	349,700	299,200	50,500	26,500	100,000	126,600	75.0
東 北	1,550	-	87,500	-	64,800	59,500	50,900	8,630	5,270	22,800	28,000	56.5
北 陸	204	-	10,400	-	8,190	7,720	6,620	1,100	470	2,160	2,630	51.0
関 東・東 山	1,960	-	157,200	-	126,700	118,200	100,600	17,500	8,550	30,500	39,000	80.2
東 海	436	-	42,100	-	34,600	32,700	28,300	4,380	1,920	7,510	9,430	96.6
近 畿	310	-	21,700	-	17,900	16,700	14,400	2,330	1,180	3,800	4,970	70.0
中 国	483	-	44,200	-	35,100	33,100	28,400	4,700	2,060	9,090	11,100	91.5
四 国	227	-	15,300	-	12,600	11,800	10,200	1,640	730	2,770	3,500	67.4
九 州	1,120	-	94,200	-	73,400	67,200	57,500	9,750	6,110	20,800	26,900	84.1
沖 縄	65	-	3,570	-	2,920	2,660	2,250	410	260	650	910	54.9
(都道府県)												
北 海 道	4,970	1	816,800	1	505,200	470,500	397,500	72,900	34,700	311,600	346,300	164.3
青 森	126	18	11,500	16	8,650	8,020	6,770	1,240	640	2,840	3,480	91.3
岩 手	650	2	37,600	4	25,700	23,300	19,900	3,300	2,480	11,800	14,300	57.8
宮 城	349	5	14,900	10	11,800	10,800	9,250	1,520	1,000	3,100	4,100	42.7
秋 田	64	32	3,330	34	2,640	2,460	2,130	330	180	690	870	52.0
山 形	166	15	9,950	20	8,310	7,800	6,660	1,140	510	1,640	2,150	59.9
福 島	193	10	10,400	19	7,710	7,230	6,130	1,100	470	2,650	3,120	53.9
茨 城	236	8	22,900	7	19,600	18,300	15,500	2,880	1,240	3,370	4,610	97.0
栃 木	531	3	51,400	2	42,100	39,200	33,800	5,410	2,930	9,310	12,200	96.8
群 馬	342	6	31,000	5	23,700	22,100	18,800	3,270	1,600	7,320	8,920	90.6
埼 玉	120	21	5,810	25	4,400	4,040	3,470	570	360	1,410	1,770	48.4
千 葉	342	6	25,200	6	20,600	19,400	16,300	3,020	1,180	4,600	5,790	73.7
東 京	40	37	1,330	44	1,040	960	820	140	80	290	380	33.3
神 奈 川	106	22	3,790	31	3,110	2,850	2,380	470	260	680	940	35.8
新 潟	122	20	4,650	29	3,810	3,550	3,070	480	260	850	1,110	38.1
富 山	31	40	2,120	42	1,720	1,610	1,380	240	100	410	510	68.4
石 川	32	39	2,640	38	1,990	1,930	1,640	290	60	650	710	82.5
福 井	19	46	940	46	680	640	540	100	40	260	300	49.5
山 梨	40	37	2,990	37	2,280	2,100	1,750	350	180	700	890	74.8
長 野	203	9	12,700	11	9,960	9,250	7,820	1,420	710	2,780	3,490	62.6
岐 阜	78	27	4,860	28	3,540	3,300	2,870	430	240	1,320	1,560	62.3
静 岡	146	16	12,400	12	10,400	9,710	8,390	1,320	720	1,990	2,710	84.9
愛 知	186	12	17,800	8	14,700	14,000	12,100	1,890	730	3,060	3,790	95.7
三 重	26	44	7,040	24	5,890	5,670	4,930	740	230	1,140	1,370	270.8
滋 賀	29	41	2,310	41	1,810	1,700	1,480	210	110	500	610	79.7
京 都	42	35	3,630	32	3,030	2,840	2,480	370	190	610	790	86.4
大 阪	21	45	1,080	45	920	880	740	140	40	150	200	51.4
兵 庫	184	13	11,600	15	9,350	8,660	7,500	1,160	690	2,260	2,950	63.0
奈 良	29	41	2,590	39	2,340	2,210	1,820	390	130	250	380	89.3
和 歌 山	5	47	510	47	470	460	390	70	20	30	50	102.0
鳥 取	94	25	8,520	22	6,660	6,400	5,520	880	270	1,850	2,120	90.6
島 根	69	29	10,500	18	8,460	7,950	6,770	1,180	520	2,030	2,540	152.2
岡 山	170	14	15,100	9	12,100	11,500	9,850	1,630	640	2,940	3,580	88.8
広 島	103	24	7,810	23	5,950	5,420	4,660	770	530	1,850	2,380	75.8
山 口	47	34	2,350	40	1,930	1,830	1,570	260	100	420	520	50.0
徳 島	66	30	3,030	36	2,600	2,450	2,130	320	150	430	580	45.9
香 川	50	33	4,980	27	4,150	3,970	3,390	580	180	830	1,000	99.6
愛 媛	70	28	4,280	30	3,310	3,050	2,630	420	260	980	1,230	61.1
高 知	41	36	3,050	35	2,510	2,370	2,050	320	140	540	690	74.4
福 岡	144	17	9,530	21	7,310	6,780	5,820	960	530	2,220	2,750	66.2
佐 賀	28	43	1,740	43	1,500	1,440	1,250	190	60	240	300	62.1
長 崎	104	23	5,360	26	4,750	4,440	3,820	620	310	610	920	51.5
熊 本	438	4	41,900	3	32,400	29,700	25,500	4,220	2,700	9,470	12,200	95.7
大 分	94	25	11,900	14	8,800	7,770	6,550	1,220	1,030	3,110	4,140	126.6
宮 崎	187	11	12,400	12	9,760	8,960	7,630	1,330	810	2,680	3,490	66.3
鹿 児 島	124	19	11,300	17	8,840	8,170	6,950	1,220	680	2,490	3,170	91.1
沖 縄	65	31	3,570	33	2,920	2,660	2,250	410	260	650	910	54.9

※「χ」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
「-」：事実のないもの

資料：「農林水産省：畜産統計」

(3) 豚の飼養戸数・頭数 (令和6年2月1日現在)

(単位：戸、頭)

全国農業地域 都道府県	飼養戸数			飼		養			頭		数	
	飼養戸数	順位	子取り用めす豚のいる戸数	合計	順位	子取り用めす豚	種おす豚	肥育豚	その他	1戸当たり飼養頭数	1戸当たり飼養頭数(子取り用めす豚)	
全 国	3,130	-	2,390	8,798,000	-	758,300	24,800	7,362,000	653,100	2,811	317	
(全国農業地域)												
北 海 道	186	-	163	752,200	-	66,200	1,880	625,400	58,700	4,044	406	
都 府 県	2,950	-	2,230	8,045,000	-	692,100	22,900	6,736,000	594,400	2,727	310	
東 北	389	-	301	1,554,000	-	136,500	3,720	1,285,000	129,200	3,995	454	
北 陸	97	-	78	171,300	-	15,400	660	137,100	18,100	1,766	197	
関 東・東 山	837	-	635	2,149,000	-	176,400	6,050	1,931,000	35,800	2,568	278	
東 海	273	-	225	574,600	-	48,300	2,260	506,800	17,300	2,105	215	
近 畿	45	-	29	40,500	-	2,000	120	35,100	3,320	900	69	
中 国	68	-	52	326,300	-	26,900	750	278,200	20,500	4,799	517	
四 国	120	-	92	291,700	-	24,900	800	235,500	30,500	2,431	271	
九 州	945	-	690	2,753,000	-	246,000	7,640	2,172,000	327,500	2,913	357	
沖 縄	174	-	125	184,500	-	15,800	890	155,500	12,200	1,060	126	
(都道府県)												
北 海 道	186	5	163	752,200	2	66,200	1,880	625,400	58,700	4,044	406	
青 森	48	21	34	334,800	9	23,400	430	297,600	13,400	6,975	688	
岩 手	83	11	65	459,100	6	43,500	1,460	385,600	28,500	5,531	669	
宮 城	88	10	69	180,000	16	18,100	740	146,600	14,500	2,046	262	
秋 田	67	15	54	308,500	11	29,200	520	238,200	40,600	4,605	541	
山 形	54	19	40	159,900	17	13,200	290	135,600	10,900	2,961	330	
福 島	49	20	39	111,600	21	9,130	290	80,900	21,200	2,278	234	
茨 城	208	4	156	424,000	7	34,700	1,780	385,200	2,320	2,039	222	
栃 木	82	12	69	324,900	10	26,400	680	290,700	7,140	3,962	383	
群 馬	163	7	137	610,800	4	51,300	1,550	544,700	13,300	3,747	375	
埼 玉	57	18	48	75,600	26	5,470	300	67,600	2,250	1,326	114	
千 葉	216	3	147	580,700	5	46,500	1,130	527,400	5,680	2,688	316	
東 京	10	39	5	2,030	44	110	30	1,540	350	203	22	
神 奈 川	41	23	32	67,200	28	5,720	280	60,600	630	1,639	179	
新 潟	71	13	59	133,400	20	12,200	470	107,900	12,800	1,879	207	
富 山	12	37	7	19,700	38	1,380	110	14,000	4,170	1,642	197	
石 川	11	38	10	15,800	39	1,620	80	13,000	1,180	1,436	162	
福 井	3	46	2	2,390	43	x	0	2,190	-	797	x	
山 梨	14	35	9	11,000	41	970	90	9,610	320	786	108	
長 野	46	22	32	53,000	30	5,270	210	43,700	3,850	1,152	165	
岐 阜	26	28	18	91,300	24	6,010	140	84,400	760	3,512	334	
静 岡	69	14	57	97,100	23	10,100	770	75,200	11,000	1,407	177	
愛 知	138	8	117	287,400	12	25,600	1,160	258,900	1,730	2,083	219	
三 重	40	24	33	98,900	22	6,580	190	88,300	3,800	2,473	199	
滋 賀	3	46	-	1,480	46	-	-	1,480	-	493	nc	
京 都	9	40	6	12,600	40	980	60	11,000	590	1,400	163	
大 阪	5	43	2	2,030	44	x	10	1,910	-	406	x	
兵 庫	16	33	11	20,000	37	550	20	16,700	2,730	1,250	50	
奈 良	7	41	6	3,190	42	250	20	2,920	0	456	42	
和 歌 山	5	43	4	1,140	47	110	10	1,020	-	228	28	
鳥 取	14	35	13	61,800	29	5,570	90	49,900	6,230	4,414	429	
島 根	5	43	5	39,200	33	3,690	80	35,500	-	7,840	738	
岡 山	19	31	12	45,600	31	3,930	270	41,300	160	2,400	328	
広 島	24	29	17	147,600	19	11,200	180	124,600	11,600	6,150	659	
山 口	6	42	5	32,100	34	2,480	130	27,000	2,500	5,350	496	
徳 島	18	32	16	45,300	32	3,660	130	38,400	3,130	2,517	229	
香 川	20	30	15	27,900	35	2,140	140	21,400	4,210	1,395	143	
愛 媛	67	15	49	196,500	13	17,000	460	156,200	22,900	2,933	347	
高 知	15	34	12	21,900	36	2,090	80	19,500	240	1,460	174	
福 岡	39	25	22	79,800	25	7,640	140	64,300	7,670	2,046	347	
佐 賀	28	27	25	69,500	27	6,100	220	61,500	1,760	2,482	244	
長 崎	67	15	58	181,200	15	15,500	460	153,700	11,500	2,705	267	
熊 本	126	9	98	347,900	8	28,600	1,060	293,100	25,100	2,761	292	
大 分	37	26	27	153,200	18	13,500	410	136,600	2,720	4,141	500	
宮 崎	261	2	170	721,900	3	62,400	1,650	607,000	50,900	2,766	367	
鹿 児 島	387	1	290	1,200,000	1	112,300	3,690	856,200	227,900	3,101	387	
沖 縄	174	6	125	184,500	14	15,800	890	155,500	12,200	1,060	126	

※「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
「-」：事実のないもの

資料：「農林水産省：畜産統計」

(4) 採卵鶏の飼養戸数・羽数（令和6年2月1日現在）

（単位：戸，千羽）

全国農業地域 都道府県	飼養戸数 種鶏のみの 飼養者を除く	順位	飼養羽数（種鶏を除く）		1戸当たり 成鶏めす 飼養羽数		
			合計	順位		ひな （6か月未満）	成鶏めす （6か月以上）
全 国	1,640	-	168,599	-	38,870	129,729	79.1
（全国農業地域）							
北海道	56	-	5,670	-	1,146	4,524	80.8
都 府 県	1,580	-	162,929	-	37,724	125,205	79.2
東 北	141	-	23,516	-	5,801	17,715	125.6
北 陸	64	-	6,170	-	1,590	4,580	71.6
関 東 ・ 東 山	404	-	47,968	-	11,014	36,954	91.5
東 海	257	-	23,875	-	4,356	19,519	75.9
近 畿	136	-	8,009	-	802	7,207	53.0
中 国	123	-	22,075	-	6,705	15,370	125.0
四 国	94	-	8,284	-	2,041	6,243	66.4
九 州	328	-	21,601	-	5,060	16,541	50.4
沖 縄	34	-	1,431	-	355	1,076	31.6
（都道府県）							
北海道	56	7	5,670	11	1,146	4,524	80.8
青 森	24	27	6,540	8	1,638	4,902	204.3
岩 手	19	30	4,991	16	1,412	3,579	188.4
宮 城	33	24	3,964	19	529	3,435	104.1
秋 田	15	34	2,374	24	275	2,099	139.9
山 形	13	41	427	39	52	375	28.8
福 島	37	20	5,220	14	1,895	3,325	89.9
茨 城	78	4	12,109	2	1,887	10,222	131.1
栃 木	43	13	6,177	9	969	5,208	121.1
群 馬	46	12	9,602	5	3,310	6,292	136.8
埼 玉	63	5	3,651	20	1,605	2,046	32.5
千 葉	88	3	14,129	1	2,943	11,186	127.1
東 京	14	37	66	46	11	55	3.9
神 奈 川	38	18	1,041	30	16	1,025	27.0
新 潟	32	25	4,021	18	1,418	2,603	81.3
富 山	14	37	719	35	107	612	43.7
石 川	6	47	690	36	63	627	104.5
福 井	12	43	740	34	2	738	61.5
山 梨	17	32	505	38	62	443	26.1
長 野	17	32	688	37	211	477	28.1
岐 阜	42	16	5,428	13	886	4,542	108.1
静 岡	43	13	4,691	17	906	3,785	88.0
愛 知	109	1	8,037	7	1,419	6,618	60.7
三 重	63	5	5,719	10	1,145	4,574	72.6
滋 賀	15	34	242	44	17	225	15.0
京 都	25	26	1,515	28	20	1,495	59.8
大 阪	12	43	49	47	7	42	3.5
兵 庫	43	13	5,654	12	733	4,921	114.4
奈 良	23	29	284	40	20	264	11.5
和 歌 山	18	31	265	42	5	260	14.4
鳥 取	8	46	242	44	12	230	28.8
島 根	14	37	934	31	173	761	54.4
岡 山	48	10	10,036	4	2,947	7,089	147.7
広 島	40	17	9,208	6	3,075	6,133	153.3
山 口	13	41	1,655	27	498	1,157	89.0
徳 島	14	37	831	33	190	641	45.8
香 川	36	21	5,037	15	1,316	3,721	103.4
愛 媛	35	22	2,144	25	509	1,635	46.7
高 知	9	45	272	41	26	246	27.3
福 岡	54	8	2,852	22	436	2,416	44.7
佐 賀	24	27	251	43	18	233	9.7
長 崎	51	9	1,826	26	278	1,548	30.4
熊 本	38	18	2,466	23	451	2,015	53.0
大 分	15	34	912	32	46	866	57.7
宮 崎	48	10	3,098	21	716	2,382	49.6
鹿 児 島	98	2	10,196	3	3,115	7,081	72.3
沖 縄	34	23	1,431	29	355	1,076	31.6

資料：「農林水産省：畜産統計」

(5) ブロイラーの飼養・出荷の戸数・羽数（令和6年2月1日現在）

（単位：戸、千羽）

全国農業地域 都道府県	飼養戸数		飼養羽数		出荷戸数		出荷羽数		1戸当たりの 飼養羽数	1戸当たりの 出荷羽数
		順位		順位		順位		順位		
全 国	2,050	-	144,859	-	2,100	-	731,929	-	70.7	348.5
（全国農業地域）										
北 海 道	8	-	5,531	-	8	-	39,181	-	691.4	4897.6
都 府 県	2,040	-	139,328	-	2,100	-	692,748	-	68.3	329.9
東 北	441	-	34,526	-	454	-	179,829	-	78.3	396.1
北 陸	13	-	1,292	-	13	-	7,450	-	99.4	573.1
関 東・東 山	121	-	6,207	-	123	-	28,234	-	51.3	229.5
東 海	49	-	3,510	-	53	-	17,280	-	71.6	326
近 畿	62	-	3,249	-	62	-	16,579	-	52.4	267.4
中 国	63	-	8,512	-	66	-	48,269	-	135.1	731.3
四 国	195	-	7,328	-	195	-	30,830	-	37.6	158.1
九 州	1,080	-	74,080	-	1,110	-	360,575	-	68.6	324.8
沖 縄	15	-	624	-	15	-	3,702	-	41.6	246.8
（都道府県）										
北 海 道	8	32	5,531	5	8	32	39,181	5	691.4	4897.6
青 森	59	6	7,639	4	59	7	40,421	4	129.5	685.1
岩 手	301	3	23,604	3	314	3	122,334	3	78.4	389.6
宮 城	37	10	1,990	14	37	10	11,096	13	53.8	299.9
秋 田	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
山 形	13	25	542	31	13	25	3,159	29	41.7	243
福 島	31	13	751	26	31	13	2,819	30	24.2	90.9
茨 城	36	11	1,350	19	36	11	5,757	20	37.5	159.9
栃 木	8	32	x	-	8	32	x	-	x	x
群 馬	26	16	1,587	17	26	16	7,780	17	61.0	299.2
埼 玉	1	40	x	-	1	40	x	-	x	x
千 葉	24	17	1,935	15	24	18	8,653	15	80.6	360.5
東 京	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
神 奈 川	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
新 潟	10	30	1,201	20	10	30	7,082	19	120.1	708.2
富 山	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
石 川	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
福 井	3	38	91	37	3	38	368	37	30.3	122.7
山 梨	8	32	392	34	8	32	1,684	35	49.0	210.5
長 野	18	20	696	27	20	21	3,275	28	38.7	163.8
岐 阜	11	27	939	25	12	26	3,915	24	85.4	326.3
静 岡	18	20	947	24	21	20	5,322	22	52.6	253.4
愛 知	12	26	962	22	12	26	5,431	21	80.2	452.6
三 重	8	32	662	28	8	32	2,612	31	82.8	326.5
滋 賀	2	39	x	-	2	39	x	-	x	x
京 都	11	27	535	32	11	28	2,515	32	48.6	228.6
大 阪	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
兵 庫	32	12	2,412	12	32	12	12,985	12	75.4	405.8
奈 良	1	40	x	-	1	40	x	-	x	x
和 歌 山	16	23	231	36	16	23	766	36	14.4	47.9
鳥 取	11	27	3,151	10	11	28	17,945	6	286.5	1631.4
島 根	4	37	377	35	4	37	2,226	34	94	556.5
岡 山	18	20	2,840	11	18	22	16,762	9	157.8	931.2
広 島	8	32	647	29	8	32	3,813	26	81	476.6
山 口	22	18	1,497	18	25	17	7,523	18	68.0	300.9
徳 島	134	4	3,855	7	134	4	15,380	11	28.8	114.8
香 川	30	14	2,119	13	30	14	9,318	14	70.6	310.6
愛 媛	22	18	957	23	22	19	3,829	25	43.5	174
高 知	9	31	397	33	9	31	2,303	33	44.1	255.9
福 岡	30	14	1,168	21	30	14	4,807	23	38.9	160.2
佐 賀	62	5	3,929	6	62	6	17,366	8	63.4	280.1
長 崎	48	8	3,297	9	48	8	15,512	10	68.7	323.2
熊 本	56	7	3,746	8	64	5	17,922	7	66.9	280
大 分	42	9	1,782	16	46	9	8,351	16	42.4	181.5
宮 崎	442	1	28,155	2	462	1	136,921	2	63.7	296.4
鹿 児 島	402	2	32,003	1	402	2	159,696	1	79.6	397.3
沖 縄	15	24	624	30	15	24	3,702	27	41.6	246.8

※「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
「-」：事実のないもの
「nc」：計算不能

資料：「農林水産省：畜産統計」

(6) 宮崎県家畜飼養戸数・頭羽数の推移（毎年2月1日時点）

（単位：戸、頭、千羽）

年次	肉用牛			乳用牛		豚		採卵鶏 (種鶏を除く)		ブロイラー	
	飼養戸数	飼養頭数	繁殖雌牛	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養羽数
S60	31,700	213,500	-	1,110	31,100	5,370	586,800	5,710	4,790	735	22,111
H2	24,400	219,000	-	920	29,800	3,510	757,800	5,060	6,020	753	27,409
H7	18,900	248,300	95,100	720	26,800	1,540	760,400	250	6,604	520	18,358
H12	14,300	246,800	92,900	580	23,200	940	791,600	120	4,540	443	16,774
H13	13,400	254,000	96,800	550	22,200	820	835,300	120	4,381	424	16,651
H14	12,500	255,900	94,600	530	21,900	810	854,100	110	4,225	420	17,365
H15	12,100	266,900	99,300	520	21,900	750	849,400	110	4,171	402	17,158
H16	11,600	267,000	97,900	499	21,100	730	863,600	105	4,064	407	17,944
H17	11,200	268,200	98,400	481	20,700	-	-	-	-	403	18,169
H18	10,600	270,900	98,800	465	20,000	662	903,400	84	4,012	394	18,437
H19	10,300	277,800	102,900	434	19,200	650	901,100	83	4,007	385	18,086
H20	10,200	295,400	104,700	400	17,600	645	900,600	87	3,835	383	17,867
H21	10,100	297,900	105,300	374	16,700	623	914,500	83	3,970	384	18,388
H22	9,550	293,200	101,600	353	16,000	-	-	-	-	-	-
H23	8,410	239,700	83,900	331	13,800	466	766,200	70	3,305	-	-
H24	8,200	251,200	79,400	316	15,200	555	885,300	76	3,502	-	-
H25	7,730	250,100	78,800	301	15,500	538	838,300	73	3,698	467	26,277
H26	7,300	250,000	77,000	292	15,100	532	838,800	77	3,900	483	28,188
H27	6,980	249,000	75,800	280	14,500	-	-	-	-	-	-
H28	6,500	243,600	78,800	262	13,800	482	835,400	77	3,832	473	27,438
H29	6,280	243,800	80,600	252	13,700	453	846,700	77	4,108	467	27,684
H30	6,120	245,000	83,200	241	13,600	449	822,200	72	4,253	466	28,424
H31	5,810	250,300	85,700	234	13,700	441	835,700	65	4,451	465	28,236
R2	5,360	244,100	82,900	229	13,600	-	-	-	-	-	-
R3	5,150	250,000	83,800	215	13,600	404	796,900	54	3,816	443	28,012
R4	4,940	254,500	85,200	209	13,600	335	764,200	54	2,768	446	27,599
R5	4,700	260,200	86,000	204	13,400	295	818,200	54	2,790	462	28,254
R6	4,390	258,200	84,600	200	13,000	261	721,900	48	3,098	442	28,155
R7	4,000	248,400	80,900	187	12,400	-	-	-	-	-	-

※「-」：事実のないもの

※ 飼養頭数について、令和2年から調査方法が変更になったため、以前の数値とは連動しない。

資料：「農林水産省：畜産統計」

(7) 市町村別家畜飼養頭羽数

①肉用牛・乳用牛（令和7年2月1日現在）

（単位：戸、頭）

市町村名	肉用牛								乳用牛					
	農場数	合計	肉用種計				乳用種計		農場数	合計	経産牛			育成牛
			繁殖牛	育成牛	肥育牛	交雑種	小計	搾乳牛			乾乳牛			
宮崎市	350	15,480	14,900	7,360	5,050	2,490	580	440	3	440	290	260	30	150
国富町	131	7,040	7,040	3,520	2,310	1,210	—	—	—	—	—	—	—	—
綾町	54	3,080	2,490	1,250	880	360	590	580	—	—	—	—	—	—
中部	535	25,600	24,430	12,130	8,240	4,060	1,170	1,020	3	440	290	260	30	150
日南市	82	9,120	8,910	2,820	1,790	4,300	210	50	—	—	—	—	—	—
串間市	162	10,100	10,080	4,560	2,610	2,910	20	0	12	640	430	370	60	210
南那珂	244	19,220	18,990	7,380	4,400	7,210	230	50	12	640	430	370	60	210
都城市	939	61,800	58,210	20,150	13,700	24,360	3,590	3,210	86	6,240	4,520	3,850	670	1,720
三股町	105	5,780	5,760	1,870	1,130	2,760	20	10	7	210	160	130	30	50
北諸県	1,044	67,580	63,970	22,020	14,830	27,120	3,610	3,220	93	6,450	4,680	3,980	700	1,770
小林市	676	38,030	32,250	11,510	8,120	12,620	5,780	5,550	22	1,060	730	610	120	330
えびの市	252	23,280	11,470	3,560	2,300	5,610	11,810	10,830	9	570	400	350	50	170
高原町	295	11,340	11,240	4,480	3,000	3,760	100	50	8	510	320	270	50	190
西諸県	1,223	72,650	54,960	19,550	13,420	21,990	17,690	16,430	39	2,140	1,450	1,230	220	690
西都市	152	14,160	12,130	2,650	2,130	7,350	2,030	2,010	6	990	870	730	140	120
高鍋町	50	7,090	5,850	1,030	1,180	3,640	1,240	1,170	2	×	×	×	0	×
新富町	112	9,610	8,810	2,570	1,750	4,490	800	700	6	810	530	450	70	280
西米良村	3	70	70	40	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—
木城町	35	3,970	3,920	1,370	990	1,560	50	40	1	×	×	×	×	×
川南町	119	8,540	7,840	2,570	2,300	2,970	700	680	10	790	570	490	80	220
都農町	79	3,280	3,280	1,680	1,160	440	—	—	—	—	—	—	—	—
児湯	550	46,720	41,900	11,910	9,540	20,450	4,820	4,600	25	×	×	×	×	×
延岡市	150	3,930	3,650	1,250	920	1,480	280	280	2	×	×	×	×	0
日向市	98	1,880	1,880	1,010	680	190	—	—	—	—	—	—	—	—
門川町	10	370	370	220	150	0	—	—	—	—	—	—	—	—
諸塚村	16	290	290	180	110	—	—	—	—	—	—	—	—	—
椎葉村	56	1,110	1,110	550	340	220	—	—	—	—	—	—	—	—
美郷町	55	1,350	1,350	790	490	70	—	—	—	—	—	—	—	—
東臼杵	385	8,930	8,650	4,000	2,690	1,960	280	280	2	×	×	×	×	0
高千穂町	376	5,940	5,940	2,830	2,000	1,110	—	—	—	—	—	—	—	—
日之影町	93	1,080	1,080	630	450	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五ヶ瀬町	59	780	780	450	330	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西臼杵	528	7,800	7,800	3,910	2,780	1,110	—	—	—	—	—	—	—	—
宮崎県	4,509	248,400	220,600	80,900	55,900	83,900	27,800	25,600	174	12,400	8,960	7,630	1,330	3,490

※「×」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

「—」：事実のないもの

「0」：1～4頭又は千羽を四捨五入したもの

注：四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

資料：「農林水産省：畜産統計」
「県畜産振興課調」

②豚・鶏（令和6年2月1日現在）

（単位：戸、頭、千羽）

市町村名	豚						鶏				
	農場数	合計	子取り用 めす豚	種おす豚	肥育豚	その他	農場数	合計	採卵鶏 (ひな十歳鶏めす)	ブロイラー	その他
宮崎市	10	4,760	830	30	3,800	100	42	754	20	567	167
国富町	8	8,150	840	20	6,370	920	11	308	2	297	9
綾町	8	20,700	2,560	70	16,130	1,940	4	92	0	88	4
中部	26	33,610	4,230	120	26,300	2,960	57	1,153	22	952	179
日南市	17	49,550	4,690	100	41,280	3,480	51	825	-	520	305
串間市	5	1,940	220	10	1,570	140	9	249	-	235	14
南那珂	22	51,490	4,910	110	42,850	3,620	60	1,074	-	755	319
都城市	130	339,520	28,750	550	286,550	23,670	230	8,438	392	7,795	251
三股町	5	1,090	410	10	520	150	24	413	34	267	112
北諸県	135	340,610	29,160	560	287,070	23,820	254	8,851	426	8,062	363
小林市	52	57,290	3,460	130	51,720	1,980	76	3,715	5	3,486	224
えびの市	31	49,600	4,220	400	39,490	5,490	25	1,237	82	1,058	97
高原町	10	12,880	1,580	20	9,690	1,590	23	746	17	709	20
西諸県	93	119,770	9,260	550	100,900	9,060	124	5,698	104	5,253	341
西都市	5	14,670	2,080	20	11,330	1,240	27	951	-	888	63
高鍋町	7	16,050	1,040	30	14,190	790	31	1,377	308	1,069	-
新富町	1	χ	χ	χ	χ	χ	33	1,417	1,137	264	16
西米良村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木城町	9	14,400	1,270	30	12,380	720	12	516	-	509	7
川南町	49	106,700	7,630	160	92,600	6,310	63	2,867	845	1,838	184
都農町	8	12,210	1,660	20	9,770	760	50	1,823	-	1,823	-
児湯	79	χ	χ	χ	χ	χ	216	8,951	2,290	6,391	270
延岡市	7	5,230	350	30	4,770	80	27	512	6	451	55
日向市	4	4,190	370	10	3,550	260	118	4,513	250	3,973	290
門川町	2	χ	-	-	χ	-	32	963	0	963	-
諸塚村	-	-	-	-	-	-	2	χ	-	-	χ
椎葉村	2	χ	-	χ	-	χ	-	-	-	-	-
美郷町	2	χ	-	-	χ	-	18	948	-	943	5
東臼杵	17	10,610	720	χ	χ	χ	197	χ	256	6,330	χ
高千穂町	-	-	-	-	-	-	19	χ	0	χ	-
日之影町	-	-	-	-	-	-	1	χ	-	χ	χ
五ヶ瀬町	1	χ	χ	-	χ	-	-	-	-	-	-
西臼杵	1	χ	χ	-	χ	-	20	χ	0	χ	χ
宮崎県	373	721,900	62,400	1,650	607,000	50,900	928	33,079	3,098	28,155	1,826

※「χ」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

「-」：事実のないもの

「0」：1～4頭又は千羽を四捨五入したもの

注：四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

資料：「農林水産省：畜産統計」
「県畜産振興課調」

(8) 都道府県別農業産出額 (令和6年)

(単位: 億円、%)

全国農業地域 都道府県	畜産										耕種 ②	加工 農産物 ③	計		畜産 シェア	
	小計 ①	順位	肉用牛	乳用牛	生乳	豚	鶏	鶏卵	ブロイラー	その他 畜産物			④= ①+②+③	順位	①/④	順位
全 国	36,932	-	7,860	9,767	8,944	7,629	10,655	5,852	4,259	1,021	70,703	565	108,200	-	34.1	-
(農業地域)																
北海道	8,399	-	1,247	5,313	4,790	647	398	236	160	793	6,418	-	14,817	-	56.7	-
都府県	28,533	-	6,613	4,454	4,154	6,982	10,257	5,616	4,099	228	64,285	565	93,383	-	30.6	-
東 北	5,109	-	1,015	685	653	1,368	2,007	896	1,009	32	13,226	20	18,355	-	27.8	-
北 陸	687	-	84	96	94	152	352	260	42	1	4,451	7	5,145	-	13.4	-
関東・東海	6,270	-	955	1,548	1,440	2,017	1,710	1,466	165	40	17,308	166	23,744	-	26.4	-
東 山	2,594	-	469	447	420	552	1,048	886	107	77	5,891	131	8,616	-	30.1	-
近 畿	1,041	-	292	232	218	40	463	332	97	11	4,546	72	5,659	-	18.4	-
中 国	2,253	-	407	439	418	305	1,088	734	310	12	3,602	3	5,858	-	38.5	-
四 国	1,075	-	181	159	149	237	491	272	181	8	3,572	2	4,649	-	23.1	-
九 州	9,139	-	3,064	814	734	2,183	3,036	726	2,165	41	11,144	162	20,445	-	44.7	-
沖 縄	367	-	147	31	30	126	60	42	17	4	542	1	910	-	40.3	-
(都道府県)																
北海道	8,399	1	1,247	5,313	4,790	647	398	236	160	793	6,418	-	14,817	1	56.7	4
青森	1,083	10	171	95	90	313	493	251	223	10	3,036	0	4,119	5	26.3	24
岩手	1,864	4	253	268	257	415	917	187	691	11	1,405	0	3,269	10	57.0	3
宮城	774	13	241	127	122	151	254	180	62	1	1,720	1	2,495	17	31.0	20
秋田	438	24	57	27	26	245	104	90	-	5	2,134	0	2,572	16	17.0	32
山形	440	23	156	85	80	159	37	18	18	3	2,583	2	3,025	13	14.5	35
福島	510	19	137	83	78	85	202	170	15	2	2,348	17	2,875	14	17.7	31
茨城	1,286	9	206	250	240	415	413	366	34	1	4,075	133	5,494	3	23.4	27
栃木	1,399	6	268	509	471	334	285	271	x	3	2,042	7	3,448	9	40.6	10
群馬	1,327	8	189	277	253	515	331	268	48	15	1,540	1	2,868	15	46.3	5
埼玉	250	34	53	56	52	65	73	72	x	2	1,678	1	1,929	20	13.0	37
千葉	1,464	5	134	269	251	568	483	397	53	10	3,066	2	4,532	4	32.3	19
東京都	17	47	2	11	10	2	3	2	-	1	208	0	225	47	7.6	43
神奈川県	160	36	18	33	31	61	47	47	-	1	582	2	744	42	21.5	29
新潟	471	21	45	51	49	115	259	170	40	1	2,630	2	3,103	12	15.2	34
富山	78	41	13	17	17	20	27	27	-	0	750	3	831	39	9.4	41
石川	78	41	18	20	20	14	25	25	-	0	538	1	617	43	12.6	39
福井	60	44	8	8	8	3	41	38	2	0	533	1	594	44	10.1	40
山梨	87	40	17	26	24	10	33	23	10	1	1,205	6	1,298	29	6.7	45
長野	280	33	68	117	108	47	42	20	20	6	2,912	14	3,206	11	8.7	42
岐阜	459	22	126	44	42	91	196	143	25	2	912	2	1,373	26	33.4	16
静岡県	605	16	91	122	116	73	280	239	32	40	1,691	100	2,396	18	25.3	26
愛知	985	11	131	196	182	287	335	289	34	35	2,555	10	3,550	8	27.7	21
三重	545	18	121	85	80	101	237	215	16	0	733	19	1,297	30	42.0	6
滋賀	114	38	74	26	25	2	9	8	x	3	723	2	839	38	13.6	36
京都	156	37	14	41	38	13	87	66	16	1	635	61	852	37	18.3	30
大阪	18	46	2	12	12	2	1	1	-	-	339	-	357	46	5.0	46
兵庫	656	14	185	115	106	19	335	232	77	2	1,194	0	1,850	22	35.5	14
奈良	61	43	9	32	31	3	15	14	x	1	405	9	475	45	12.8	38
和歌山	36	45	8	6	6	1	16	11	4	4	1,250	0	1,286	31	2.8	47
鳥取	328	29	71	87	83	49	119	8	111	0	537	0	865	36	37.9	13
島根	292	30	94	107	102	35	52	37	14	4	476	2	770	41	37.9	12
岡山	780	12	113	151	145	41	473	335	116	1	1,107	0	1,887	21	41.3	8
広島	633	15	82	72	69	151	326	289	24	3	906	0	1,539	24	41.1	9
山口	220	35	47	22	19	29	118	65	45	4	576	1	797	40	27.6	22
徳島	282	32	76	33	30	45	127	27	93	2	809	1	1,092	33	25.8	25
香川	412	25	67	58	54	25	263	179	54	0	581	0	993	34	41.5	7
愛媛	290	31	24	41	39	144	75	55	20	5	1,047	0	1,337	28	21.7	28
高知	91	39	14	27	26	23	26	11	14	1	1,135	1	1,227	32	7.4	44
福岡	373	26	77	82	74	59	149	88	27	7	1,917	11	2,301	19	16.2	33
佐賀	368	27	188	17	16	55	105	9	94	2	999	4	1,371	27	26.8	23
長崎	601	17	249	55	49	147	149	63	85	1	1,142	2	1,745	23	34.4	15
熊本	1,347	7	420	371	332	294	232	103	102	28	2,752	18	4,117	6	32.7	17
大分	484	20	141	94	87	136	113	49	47	1	1,008	5	1,497	25	32.3	18
宮崎	2,344	3	797	98	88	580	868	82	756	1	1,343	38	3,725	7	62.9	2
鹿児島	3,622	2	1,192	97	88	912	1,420	332	1,054	1	1,983	84	5,689	2	63.7	1
沖縄	367	28	147	31	30	126	60	42	17	4	542	1	910	35	40.3	11

※「x」: 個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
「-」: 事実のないもの

資料: 「農林水産省: 生産農業所得統計」

(9) 市町村別農業産出額 (令和5年)

(単位：億円)

市町村名	畜産									耕種	加工農産物	計
	小計	肉用牛	乳用牛	豚		鶏		その他畜産物				
				生乳	鶏卵	ブロイラー						
宮崎市	65.3	34.3	4.1	3.6	4.2	22.7	9.0	13.7	—	252.7	0.5	318.5
国富町	32.1	18.4	1.2	χ	10.5	2.0	χ	χ	—	45.3	0.3	77.7
綾町	17.8	7.0	—	—	10.8	—	—	—	—	30.0	—	47.7
中部	115.2	59.7	5.3	χ	25.5	24.7	χ	χ	0.0	328.0	0.8	443.9
日南市	66.7	27.7	0.2	χ	24.1	14.7	1.3	13.4	0.1	62.0	0.1	128.8
串間市	36.4	24.5	4.9	4.5	χ	5.4	—	5.4	χ	43.7	0.6	80.7
南那珂	103.1	52.2	5.1	χ	χ	20.1	1.3	18.8	χ	105.7	0.7	209.5
都城市	844.7	205.9	45.2	41.5	326.6	266.9	71.2	195.7	0.1	134.9	1.5	981.0
三股町	41.3	17.8	2.3	2.2	4.3	16.9	χ	12.0	—	13.2	—	54.6
北諸県	886.0	223.7	47.5	43.7	330.9	283.8	χ	207.7	0.1	148.1	1.5	1,035.6
小林市	223.5	122.2	12.0	10.9	18.3	70.2	0.1	70.1	0.8	108.8	0.8	333.1
えびの市	169.6	78.8	4.7	4.1	44.1	42.0	3.7	38.3	—	45.1	—	214.7
高原町	40.1	31.4	3.3	3.0	0.7	4.6	χ	4.3	—	11.8	0.1	52.0
西諸県	433.2	232.4	20.0	18.0	63.1	116.8	χ	112.7	0.8	165.7	0.9	599.8
西都市	52.7	35.4	1.8	1.7	χ	13.0	χ	12.8	χ	134.2	0.4	187.3
高鍋町	61.6	31.4	—	—	14.0	16.1	χ	13.7	—	21.4	0.5	83.4
新富町	70.0	26.7	5.1	4.7	—	38.2	31.0	7.1	—	44.9	0.6	115.4
西米良村	0.4	0.4	—	—	—	—	—	—	—	3.0	—	3.4
木城町	41.2	17.5	0.9	χ	10.5	12.2	χ	12.1	—	11.0	0.1	52.2
川南町	183.1	18.5	6.8	6.3	107.6	50.3	20.4	29.9	—	67.2	0.9	251.2
都農町	63.1	10.8	—	—	8.5	43.8	—	43.8	—	40.5	0.2	103.8
児湯	472.1	140.7	14.6	χ	χ	173.6	χ	119.4	χ	322.2	2.7	796.7
延岡市	33.9	12.7	0.8	0.7	4.1	16.3	0.9	15.4	—	39.9	0.2	73.9
日向市	285.2	5.8	0.3	0.2	5.2	274.0	20.1	253.8	—	23.8	—	309.1
門川町	36.3	0.8	—	—	χ	35.2	—	35.2	χ	8.3	—	44.6
諸塚村	2.0	1.9	—	—	—	0.1	—	χ	—	1.3	—	3.3
椎葉村	3.8	3.7	0.1	χ	—	—	—	—	—	1.8	—	5.6
美郷町	29.7	4.4	—	—	χ	23.9	—	23.9	χ	18.8	0.1	48.5
東臼杵	390.9	29.3	1.2	χ	χ	349.5	21.0	χ	χ	93.9	0.3	485.0
高千穂町	45.0	20.8	—	—	—	24.2	—	24.2	—	17.0	0.2	62.3
日之影町	4.0	4.0	—	—	—	—	—	—	—	7.9	0.1	12.0
五ヶ瀬町	2.8	2.7	—	—	—	—	—	—	—	8.9	0.4	12.1
西臼杵	51.8	27.5	—	—	—	24.2	—	24.2	—	33.8	0.7	86.4
宮崎県	2,483	765	94	86	600	1,023	166	827	1	1,197	39	3,720

※「χ」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

「—」：事実のないもの及び0.5億円未満のもの

注：小数点以下は四捨五入するものとする。

四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

資料：「農林水産省：生産農業所得統計」

飼料価格及び物価高騰等の影響に対する支援 ～令和7年度中の取組～(R8繰越含む)

畜種	事業名		事業内容		予算額【千円】
全畜種 共通	R7年2月 R8年2月 補正	畜産飼料高騰対策緊急支援事業 畜産セーフティネット対策緊急強化事業	負担 軽減	【R7のみ】 ・国産粗飼料購入費の一部を支援 (上限3,500円/t) ・配合飼料価格安定制度に加入する 畜産農家に対して、積立金相当額の 一部を支援 (上限600円/t)	(7年度分) 411,030 (8年度分) 1,142,600
	R7年2月 補正	みやざきの分業型畜産支援事業	負担 軽減	預託施設における預託料上昇分の一 部を支援 (繁殖センター等 81.5円/頭・日) (キャトルセンター等 54.5円/頭・日) (酪農公社等 87.5円/頭・日)	(7年度分) 47,566
	R8年2月 補正	畜産生産ランクアップ緊急支援事業	負担 軽減 ・ 体質 強化	畜産農家に対して、生産性向上等を 図るために必要な資機材費用の一部 を支援 (1/2以内、上限150万円)	(8年度分) 150,000
肉用牛	R7年2月 補正	県産牛肉需要拡大加速化事業	消費 拡大	県産牛肉の消費拡大等の取組や輸出 拡大を支援	(7年度分) 48,225
	R8年2月 補正	肥育牛生産基盤維持緊急対策事業	体質 強化 消費 拡大	コスト削減に取り組む肥育農家に対 し、奨励金を交付 国内外における県産牛肉の販路・消 費拡大を促進	(8年度分) 200,920
酪農	R7年2月 R8年2月 補正	酪農経営体質強化緊急支援事業	負担 軽減 ・ 体質 強化	【R7,R8】 生乳出荷量増加に伴う生産費の一部 を支援(50円/kg以内) 【R8】 乳用後継牛預託に係る預託料の一部 を支援(87.5円/頭・日以内)	(7年度分) 40,572 (8年度分) 47,643
中小 家畜	R8年2月 補正	中小家畜燃料高騰対策緊急支援事業	負担 軽減	養豚農家及び養鶏農家に対して、 ガス料金の値上げ相当分を支援 (繁殖母豚 816円/頭以内) (ブロイラー 2円/羽以内) (採卵鶏 1円/羽以内) (みやざき地頭鶏 10円/羽以内)	(8年度分) 112,861

平成以降の畜産の動き



平成 元年	4月	消費税3%導入
平成 2年	3月	宮崎ハマユウポーク普及促進協議会設立
	8月	アメリカへ牛肉輸出開始
平成 3年	4月	牛肉・オレンジの輸入自由化
平成 4年	9月	豚オーエスキー病発生
平成 6年		香港へ牛肉輸出開始
平成 7年	1月	阪神大震災発生
平成 8年	12月	「みやざき地鶏」普及促進協議会設立
平成 9年	4月	消費税5%に引上げ
平成11年	2月	シンガポールへ牛肉輸出開始
平成12年	3月	宮崎市で口蹄疫発生(国内92年ぶり)
平成13年	9月	我が国初のBSE発生で全国的に牛肉離れ
平成16年	10月	「みやざき地鶏」から「みやざき地頭鶏」への名称変更
平成19年	2月	「宮崎牛」地域団体商標取得
	3月	「みやざき地頭鶏」ブランド認定
	10月	全国和牛能力共進会(鳥取大会)で日本一獲得
平成20年	12月	みやざき地頭鶏事業協同組合設立
平成22年	4月	口蹄疫発生(20日) 29万7808頭の牛や豚が犠牲に
	8月	「口蹄疫からの再生・復興方針」策定
	8月	口蹄疫終息宣言(27日)
平成23年	1月	鳥インフルエンザ13件約101万羽殺処分(3月まで)
	3月	東日本大震災発生
平成24年	7月	宮崎ハマユウポーク普及促進協議会から「宮崎ブランドポーク普及促進協議会」へ名称変更
	10月	全国和牛能力共進会(長崎大会)で「日本一」連覇
平成25年	3月	「宮崎県畜産新生プラン」策定
	10月	「宮崎ブランドポーク」ブランド認定
	10月	豚流行性下痢(PED)続発
平成26年	4月	消費税8%に引上げ
	12月	鳥インフルエンザ2件約4万6千羽殺処分
平成28年	4月	熊本地震発生
	8月	「宮崎県畜産新生推進プラン」策定
	12月	鳥インフルエンザ2件約2万3千羽殺処分(1月まで)
平成29年	3月	豚オーエスキー病清浄化
	9月	全国和牛能力共進会(宮城大会)で史上初の3大会連続の内閣総理大臣賞受賞
	9月	台湾への牛肉輸出開始
	12月	宮崎牛GI認証取得
平成30年	2月	米国アカデミー賞授賞式後のパーティーで「宮崎牛」採用
	12月	TPPイレブン 発効
平成31年	2月	日欧EPA 発効
	2月	米国アカデミー賞のパーティーで2年連続「宮崎牛」採用
令和元年	8月	EUへの牛肉輸出開始
	10月	消費税10%に引上げ
令和2年	1月	日米貿易協定発効
	2月	米国アカデミー賞のパーティーで3年連続「宮崎牛」採用
	2月	国内外で新型コロナウイルスの感染が拡大
	8月	口蹄疫終息10年
令和3年	12月	鳥インフルエンザ12件約92万羽殺処分(2月まで)
	5月	畜舎特例法公布
	8月	新型コロナウイルス 県内で緊急事態宣言へと変更
令和4年	9月	「みやざき畜産共創プラン」策定
	10月	全国和牛能力共進会(鹿児島大会)で史上初の4大会連続の内閣総理大臣賞受賞
	11月	鳥インフルエンザ3件約41万羽殺処分(2月まで)
令和5年	11月	「宮崎ブランドポーク」ブランド認定10周年
	5月	新型コロナウイルス感染症 5類感染症へ移行
	9月	宮崎県で豚熱ワクチンの初回接種開始(27日~)
令和6年	10月	インボイス制度開始
	1月	能登半島地震発生
	10月	10月10日を「宮崎ブランドポークの日」に制定
令和7年	12月	鳥インフルエンザ2件約5万7千羽殺処分(1月まで)
	1月	(株)SEミート宮崎からイスラム圏(カタール国)への牛肉輸出開始
	4月	県内の野生イノシシで豚熱の感染を確認
	8月	口蹄疫終息15年 意見交換会を開催
11月	鳥インフルエンザ2件約5万4千羽殺処分(1月まで)	



畜舎特例法の対象に保管庫が追加されます

「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行規則」及び「農林水産省関係畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行規則」が改正され、令和5年4月1日より新たに保管庫等が畜舎特例法の対象となります。

保管庫等の整備に当たり畜舎特例法を活用することで、**建築コストの削減**や**行政手続の負担軽減**を図ることが可能となります。



対象となる畜舎

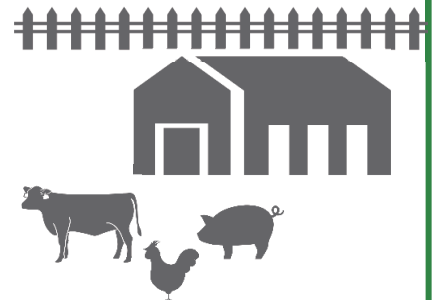
- **畜舎**※1（搾乳施設を含む）又は**堆肥舎**※2
- 畜舎又は堆肥舎に付随する※3 **保管庫（倉庫又は車庫）**
- 畜産経営に必要な**貯水施設等**※4
- 高さ8 mを超える**発酵槽等**※2

※ 市街化区域外・用途地域外の地域に建築

※ 高さ16m以下の平屋で居住のための居室を有さないもの

※ 建築士が設計したもの

※ 新築、増築、改築及び構造に変更を及ぼす行為を行う際に申請可能



※1 ①ペットの飼育施設、②競走馬・乗用馬の厩舎及び堆肥舎は、畜舎特例法の対象外です。

※2 家畜排せつ物の処理又は保管のためのものが対象となります。家畜排せつ物以外の物を処理等するものは畜舎特例法の対象外です。

※3 「付随する」とは、畜舎・堆肥舎と①同一敷地内、②隣接する敷地内、③近接する敷地内に建築等するものであって、畜舎・堆肥舎と一体的に利用することをいいます。

※4 搾乳施設の洗浄のために使用する水を貯水するための施設、畜舎で使用する井戸水を浄化するための浄化設備を備える施設等がこれに当たります。

畜舎特例法のメリット

- **建築確認が不要になります**

- **構造等に関する技術基準が緩和されます**

利用基準を遵守することにより、構造等に関する技術基準の一部が建築基準法より緩和されます。これにより、建築基準法で建てる畜舎に比べてコストを抑えることができます。

- **一棟あたりの床面積3,000㎡以下は技術基準の審査等が不要になります**

床面積が3,000㎡以下の畜舎・堆肥舎は、敷地、構造、設備に関する技術基準についての審査が不要となります。

- **木造の畜舎の間を渡り廊下でつなぐことで3,000㎡を超えられるようになります**

木造の畜舎を渡り廊下で隔て、隔てられた畜舎の床面積をそれぞれ3,000㎡以下とし、その畜舎同士の間畜舎の高さ分の距離を確保し、一定の利用基準※5を遵守することで、合計3,000㎡を超えることが可能となります。※6

- **周囲の建物との間に6 m以上の距離を確保し、一定の利用基準※7を遵守することで、建築基準法の防火基準よりも緩和された基準で倉庫や車庫を建てるができます※8。**

（注意）畜産経営に関係のないものを保管したり、用途変更することはできません。

- **工事完了時は届出で済みます**

工事完了時は完了検査は不要で、届出のみで済みます。

※5 定期的な消火訓練、火を使用する設備等の周辺や渡り廊下に可燃物を存置しないことについて記録を作成し、少なくとも1年間保存する必要があります。

※6 ただし、渡り廊下でつなぐことで3,000㎡を超える場合には技術基準の審査は必要となります。

※7 消火器の設置や施設内での火気使用の禁止、避難経路の十分な採光の確保等の追加の利用基準を遵守する必要があります。

※8 床面積3,000㎡以下の倉庫、床面積500㎡以下の車庫に限ります。

農林水産省

畜舎特例法の基準

畜舎の構造、防火等に関する**技術基準**と、
畜舎の利用方法に関する**利用基準**の両方を守る必要があります。

A 構造畜舎等

技術
基準

中規模の地震動（震度 5 強程度）に対して、損傷が生じないような構造等の基準

利用
基準

○ A・B 構造畜舎等共通

- ・ 夜間（夜10時から朝4時）に畜舎内で睡眠しない
- ・ 避難経路の確保
- ・ A 又は B 構造畜舎等であることの表示

B 構造畜舎等

技術
基準

中規模の地震動に対して、損傷が生ずる可能性があるが、倒壊しないような構造等の基準

○ B 構造畜舎等のみ

- ・ 下記表の滞在者数・時間以下にする
- ・ 定期的な避難訓練に関する記録保存

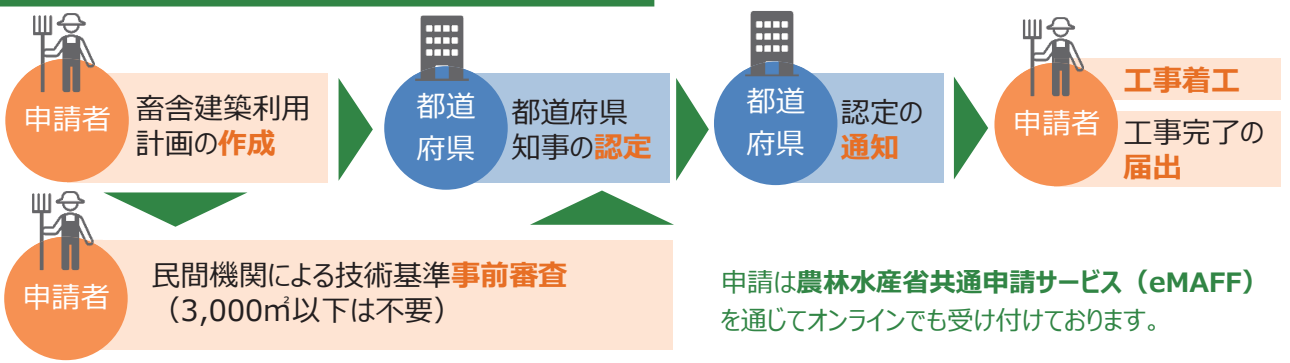
面積	延べ滞在時間	最大滞在者数
0㎡～1,000㎡	8時間・人	4人
1,000㎡超～2,000㎡	16時間・人	8人
2,000㎡超～3,000㎡	24時間・人	12人
3,000㎡超～	32時間・人	16人

倉庫・車庫の防火基準を緩和する場合

以下の追加の利用基準を遵守する必要があります。

- 床面積が500㎡以内ごとに1以上の避難口を特定する
- 災害時の避難に支障を生じさせないよう、必要な採光を行う
- 火気を使用しない
- 消火器を備えるとともに、定期的な点検等により当該消火器の維持管理を適切に行う
- 倉庫には畜産業用物資以外のもの、車庫には畜産業用車両等以外のものを保管しない
- 畜産業用物資及び畜産業用車両を同一の畜舎等に保管する場合は、これらを間仕切壁又は戸によって隔てて保管する

畜舎特例法による具体的な手続例



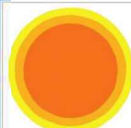
詳しい内容については、建築予定の都道府県の畜産担当課
又は農林水産省畜産局企画課（03-3502-5992）へお問い合わせください。



畜舎特例法

検索

農林水産省HP「畜舎等の建築等について」もご確認ください！
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/_tiku_manage/chikusya.html



日本の
ひなた
宮崎県



宮崎県 農林水産業ナビ

ひなたMAFiN

Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation

マフィン

農林水産業関連の役立つ情報を配信！！

補助金 制度資金

補助事業や支援策の
最新情報を発信！物
価高騰対策特設ペー
ジも掲載！

防疫情報

病気の発生情報から
防止策まで、幅広く
サポートする防疫情
報をお届け！

イベント・研修

新規就農者向けから
消費者向けまで、魅
力的なイベントや研
修を多数ご案内！

この他にも、様々な情報が満載です！
詳しくは、ひなたMAFiNのHP、SNS、メールマガジンをご確認ください！

ホームページは
こちら⇒



メルマガ・SNSは
こちら⇒



お問い合わせ先：宮崎県農政水産部 農政企画課
農政計画担当（TEL：0985-26-7426）

写真提供の御協力：NOSAI宮崎

令和7年度の畜産トピックス Part2

○第16回全日本ホルスタイン共進会 北海道大会

第16回全日本ホルスタイン共進会が北海道安平町で10年ぶりに開催され、県内各地域から予選会で選抜された代表牛7頭が出場しました。

5年前に開催予定であった都城大会のコロナ禍による中止を乗り越え、本県は全20部門のうち3部門で1等賞に入賞しました。



○宮崎ブランドポークとキリン一番搾りの夜会

宮崎ブランドポークのPR及び消費拡大を図るため、「宮崎ブランドポークの日」である10月10日に、とんかつ・しゃぶしゃぶミヤチクにてイベントを開催しました。

人気アナウンサーの登場やプレゼント抽選会もあり、会場は大いに盛り上がりました。



○アニマルウェルフェアシンポジウム

家畜が快適に過ごせる飼養環境をつくることで、健全な飼育のもと安全・安心な畜産物を提供するための取り組みのひとつであるアニマルウェルフェアの理解を深めるため、シンポジウムが開催されました。



○アラブ首長国連邦で 宮崎牛レセプションを開催

アラブ首長国連邦向けの牛肉輸出解禁に合わせ、現地のバイヤーや飲食店関係者、メディアを招へいた100名規模の宮崎牛レセプションを開催しました。

和牛に対する現地の需要は高く、さっそく商談が行われるなど、非常に意義のあるイベントとなりました。





「“おいしさ日本一” 宮崎牛」ロゴマーク



「宮崎ブランドポーク」ロゴマーク



「みやざき地頭鶏」認証マーク



「宮崎産牛乳」ロゴマーク



宮崎の畜産

2026年版

令和8年4月発行

編集発行 宮崎県農政水産部畜産局

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号

TEL (0985) 26-7140

FAX (0985) 27-3030